

MATLAB® & Simulink®

インストール ガイド

Release 2011b

MATLAB®

MathWorks へのお問い合わせ



www.mathworks.co.jp
[comp.soft-sys.matlab](mailto:comp.soft-sys.matlab@mathworks.com)
www.mathworks.co.jp/contact_TS.html



support@mathworks.com
support@mathworks.com
doc@mathworks.co.jp
service@mathworks.co.jp
service@mathworks.co.jp



TEL: 03-6367-6700 (大代表)



FAX: 03-6367-6710



The MathWorks GK
〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目15-1
赤坂ガーデンシティ

世界各地のオフィスへのお問い合わせ情報は、MathWorks Web サイトをご覧ください。

インストール ガイド

© COPYRIGHT 1996–2011 by The MathWorks, Inc.

The software described in this document is furnished under a license agreement. The software may be used or copied only under the terms of the license agreement. No part of this manual may be photocopied or reproduced in any form without prior written consent from The MathWorks, Inc.

FEDERAL ACQUISITION: This provision applies to all acquisitions of the Program and Documentation by, for, or through the federal government of the United States. By accepting delivery of the Program or Documentation, the government hereby agrees that this software or documentation qualifies as commercial computer software or commercial computer software documentation as such terms are used or defined in FAR 12.212, DFARS Part 227.72, and DFARS 252.227-7014. Accordingly, the terms and conditions of this Agreement and only those rights specified in this Agreement, shall pertain to and govern the use, modification, reproduction, release, performance, display, and disclosure of the Program and Documentation by the federal government (or other entity acquiring for or through the federal government) and shall supersede any conflicting contractual terms or conditions. If this License fails to meet the government's needs or is inconsistent in any respect with federal procurement law, the government agrees to return the Program and Documentation, unused, to The MathWorks, Inc.

商標

MATLAB and Simulink are registered trademarks of The MathWorks, Inc. See www.mathworks.com/trademarks for a list of additional trademarks. Other product or brand names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

特許

MathWorks products are protected by one or more U.S. patents. Please see www.mathworks.com/patents for more information.

改訂履歴

1996 年 12 月
1997 年 5 月
1998 年 3 月
1999 年 1 月
1999 年 11 月
2000 年 11 月
2001 年 6 月
2002 年 7 月

第 1 版
第 2 版
第 3 版
第 4 版
第 5 版
第 6 版
第 7 版
第 8 版

2004 年 6 月
2004 年 10 月
2005 年 3 月
2005 年 9 月
2006 年 3 月
2006 年 9 月
2007 年 3 月
2007 年 9 月
2008 年 3 月
2008 年 10 月
2009 年 3 月
2009 年 9 月
2010 年 3 月
2010 年 9 月

第 9 版
第 10 版
第 11 版
第 12 版
第 13 版
第 14 版
オンラインのみ
オンラインのみ
オンラインのみ
オンラインのみ
オンラインのみ
オンラインのみ
オンラインのみ
オンラインのみ

2011 年 4 月
2011 年 9 月

オンラインのみ
オンラインのみ

MATLAB 5.0 新版 (Release 8)
MATLAB 5.1 改訂版 (Release 9)
MATLAB 5.2 改訂版 (Release 10)
MATLAB 5.3 改訂版 (Release 11)
MATLAB 5.3.1 改訂版 (Release 11.1)
MATLAB 6.0 改訂版 (Release 12)
MATLAB 6.1 改訂版 (Release 12.1)
MATLAB 6.5 改訂版 (Release 13)『インストール ガイド Windows
版』と名称変更
MATLAB 7.0 改訂版 (Release 14)
MATLAB 7.0.1 改訂版 (Release 14SP1)
MATLAB 7.0.4 改訂版 (Release 14SP2)
MATLAB 7.1 改訂版 (Release 14SP3)
MATLAB 7.2 改訂版 (Release 2006a)
MATLAB 7.3 改訂版 (Release 2006b)
MATLAB 7.4 改訂版 (Release 2007a)
MATLAB 7.5 改訂版 (Release 2007b)
MATLAB 7.6 改訂版 (Release 2008a)
MATLAB 7.7 改訂版 (Release 2008b)
MATLAB 7.8 改訂版 (Release 2009a)
MATLAB 7.9 改訂版 (Release 2009b)
MATLAB 7.10 改訂版 (Release 2010a)
MATLAB 7.11 改訂版 (Release 2010b)『インストール ガイド』と
名称変更
MATLAB 7.12 改訂版 (Release 2011a)
MATLAB 7.13 改訂版 (Release 2010b)

標準インストールとアクティベーションの手順

1

MathWorks ソフトウェアのインストール	1-2
インストール前の準備	1-2
ステップ 1: インストーラーの起動	1-4
ステップ 2: インターネットを使用してインストールするかどうかの 選択	1-6
ステップ 3: ソフトウェア ライセンス 許諾書の確認	1-9
ステップ 4: MathWorks アカウントへのログイン	1-10
ステップ 5: インストールするライセンスの選択	1-14
ステップ 6: インストール タイプの選択	1-17
ステップ 7: インストール フォルダーの指定	1-18
ステップ 8: インストールする製品の指定 (カスタム インストール のみ)	1-19
ステップ 9: インストール オプションの選択 (カスタム インストー ルのみ)	1-22
ステップ 10: 選択内容の確認	1-24
ステップ 11: インストールの完了	1-25
 インストールのアクティベーション	1-27
ステップ 1: アクティベーション アプリケーションの起動	1-27
ステップ 2: 自動アクティベーションまたは手動アクティベーション の選択	1-28
ステップ 3: MathWorks アカウントへのログイン	1-30
ステップ 4: アクティベートするライセンスの選択	1-33
ステップ 5: アクティベーション タイプの選択	1-35
ステップ 6: ユーザー名の指定	1-36
ステップ 7: アクティベーション情報の確認	1-37
ステップ 8: アクティベーションの完了	1-38
 インターネット接続なしのインストールとアクティベーション	1-40
インストール前の準備	1-40
ステップ 1: インストーラーの起動	1-42
ステップ 2: インターネットを使用しないインストールの選択 ...	1-43
ステップ 3: ライセンス 許諾書の確認	1-44
ステップ 4: ファイル インストール キーの指定	1-44
ステップ 5: インストール タイプの選択	1-47

ステップ 6: インストール フォルダの指定	1-48
ステップ 7: インストールする製品の指定 (カスタム インストールのみ)	1-49
ステップ 8: インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ)	1-50
ステップ 9: 選択内容の確認とファイルのコピーの開始	1-51
ステップ 10: インストールの完了	1-52
ステップ 11: インストールのアクティベーション	1-53
ステップ 12: ライセンス ファイルのパスの指定	1-54
ステップ 13: アクティベーションの完了	1-57
インストール後の作業	1-58
MATLAB ソフトウェアの起動	1-58
ライセンスの更新	1-59
MATLAB 起動フォルダの設定	1-59
MATLAB 環境オプションの設定	1-59
MATLAB ソフトウェアに関する情報ソース	1-59
MathWorks 製品の削除 (アンインストール)	1-61
Windows システム上の製品の削除	1-61
Linux システム上の製品のアンインストール	1-64
Macintosh システム上の製品のアンインストール	1-64
ライセンスのアクティベーションの停止	1-66
システム要件	1-72

ネットワーク ライセンス オプションのインストール

2

ネットワークの設定	2-2
サーバーへのライセンス マネージャーのインストール	2-4
インストール前の準備	2-4
ステップ 1: インストーラーの起動	2-7
ステップ 2: インターネットを使用してインストールするかどうかの選択	2-8
ステップ 3: ソフトウェア ライセンス 許諾書の確認	2-10

ステップ 4: MathWorks アカウントへのログイン	2-11
ステップ 5: インストールするライセンスの選択	2-14
ステップ 6: カスタム インストールの選択	2-15
ステップ 7: MATLAB をインストールするフォルダーの指定	2-16
ステップ 8: インストールする製品の指定	2-17
ステップ 9: ライセンス ファイルの場所の指定	2-19
ステップ 10: ライセンス マネージャーの設定	2-20
ステップ 11: 選択内容の確認	2-22
ステップ 12: インストールの完了	2-25
 製品とライセンス情報のクライアントへの提供	 2-26
 ネットワーク設定におけるクライアント システムへの MathWorks ソ フトウェアのインストール	 2-27
インストール前の準備	2-27
ステップ 1: インストーラーの起動	2-29
ステップ 2: インターネットを使用してインストールするかどうかの 選択	2-31
ステップ 3: ソフトウェア ライセンス 許諾書の確認	2-33
ステップ 4: MathWorks アカウントへのログイン	2-34
ステップ 5: インストールするライセンスの選択	2-37
ステップ 6: インストールのタイプの指定	2-39
ステップ 7: MATLAB をインストールするフォルダーの指定	2-40
ステップ 8: インストールする製品の指定	2-41
ステップ 9: ライセンス ファイルの場所の指定	2-42
ステップ 10: インストール オプションの選択 (カスタム インストー ルのみ)	2-43
ステップ 11: 選択内容の確認	2-45
ステップ 12: インストールの完了	2-48
 インストール後の作業	 2-49
ライセンス マネージャーの起動	2-49
Linux システムでの起動スクリプトの編集	2-51
Macintosh システムで自動的に起動させるためのライセンス マ ネージャーの設定	2-53
ライセンス マネージャーの管理	2-54
 非対話モードのインストール (サイレント インストール)	 2-60
非対話モードのインストールを使用する状況	2-60
インストーラー プロパティ ファイルの使用	2-60
 アンインストール プログラムの非対話モードでの実行	 2-62

インストール中の問題	3-2
インストーラーが自動的に起動しない	3-2
アクティベーション オプションへのアクセス	3-2
製品の依存関係	3-5
インストール後の問題	3-6
ライセンス マネージャー デモンへのアクセスの許可	3-6
ライセンス ファイルについて	3-7

標準インストールとアクティベーションの手順

このトピックでは、次のオペレーティング システムのいずれかを実行しているコンピューターに MathWorks® 製品をインストールしてアクティベートする方法を説明します。

- ・ Microsoft® Windows® オペレーティング システム (32 ビットまたは 64 ビット)
- ・ Linux® オペレーティング システム (32 ビットまたは 64 ビット)
- ・ Mac OS® X オペレーティング システム

この手順は、インディビデュアル ライセンスまたはグループ ライセンスをおもちの場合に使用してください。ネットワーク ライセンス オプションの設定の詳細は、「ネットワーク ライセンス オプションのインストール」を参照してください。

- ・ MathWorks ソフトウェアのインストール (p. 1-2)
- ・ インストールのアクティベーション (p. 1-27)
- ・ インターネット接続なしのインストールとアクティベーション (p. 1-40)
- ・ インストール後の作業 (p. 1-58)
- ・ MathWorks 製品の削除 (アンインストール) (p. 1-61)
- ・ ライセンスのアクティベーションの停止 (p. 1-66)
- ・ システム要件 (p. 1-72)

MathWorks ソフトウェアのインストール

この節の内容...

インストール前の準備 (p. 1-2)

ステップ 1: インストーラーの起動 (p. 1-4)

ステップ 2: インターネットを使用してインストールするかどうかの選択 (p. 1-6)

ステップ 3: ソフトウェア ライセンス 許諾書の確認 (p. 1-9)

ステップ 4: MathWorks アカウントへのログイン (p. 1-10)

ステップ 5: インストールするライセンスの選択 (p. 1-14)

ステップ 6: インストール タイプの選択 (p. 1-17)

ステップ 7: インストール フォルダーの指定 (p. 1-18)

ステップ 8: インストールする製品の指定 (カスタム インストールのみ) (p. 1-19)

ステップ 9: インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ) (p. 1-22)

ステップ 10: 選択内容の確認 (p. 1-24)

ステップ 11: インストールの完了 (p. 1-25)

インストール前の準備

インストーラーを実行するには、次のものを準備する必要があります。

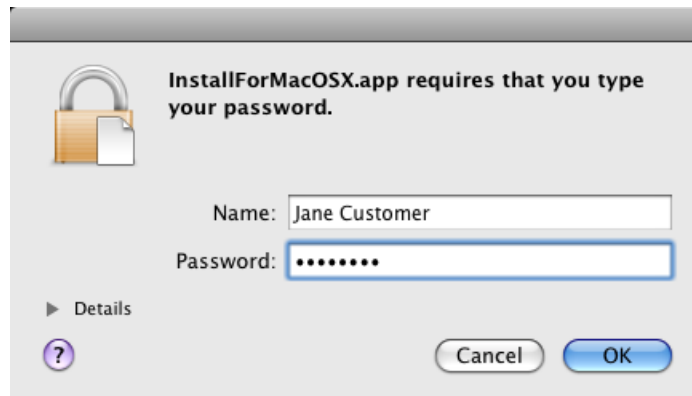
- ・ 電子メール アドレスと MathWorks アカウントのパスワード。これらは、インストール中にユーザー アカウントにログインするために必要になります。アカウントに複数のライセンスが関連付けられている場合は、どのライセンスをインストールするか確認しておきます。

MathWorks アカウントをおもちでない場合は、インストール中にアカウントを作成できます。アカウントを作成するには、“アクティベーション キー”が必要です。アクティベーション キーは、ライセンスを識別する固有のコードです。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。

- ・ インストールの実行に適した権限があることを確認してください。これに関する質問は、システム管理者に問い合わせてください。

メモ: 管理者アカウントまたはルート権限を使用してソフトウェアをインストールする場合、権限のあるユーザーに対してソフトウェアをアクティベートする必要は通常ありません。ソフトウェアをアクティベートするときは、ソフトウェアを使用する権限のないエンドユーザーを指定します。管理者権限またはルート権限をもつユーザーとして MATLAB を実行することは推奨しません。

- Windows — 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。インストーラーによってインストール中にシステム レジストリが変更されます。
- Linux — ルート パスワードを取得します。MATLAB® ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリックリンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスが必要です。
- Macintosh — 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは、Macintosh® システムの設定時に設定したユーザー アカウントで、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力しなければなりません。



- ・ インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応が示されない可能性もあります。

インストール中にインターネットに接続できない場合は、インターネット接続なしのインストールとアクティベーション (p. 1-40) を参照してください。ネットワーク サーバーまたはクライアントへのインストールを行う場合は、2 章、ネットワーク ライセンス オプションのインストールを参照してください。

既存のインストールをアップグレードする場合

MATLAB を最新リリースにアップグレードする場合は、新しいインストール フォルダーに新しいバージョンをインストールすることをお勧めします。これは、プレリリース バージョンのソフトウェアのインストールをアップグレードする場合も同様です。このリリースをインストールする前に既存の MATLAB を削除する必要はありません。各リリースは以前のリリースとは独立しており、同じシステムで複数のリリースを実行できます。

メモ: 既にインストールされている以前のリリースの上書きを選択すると、インストール フォルダーにあるすべての製品が削除され、現在のライセンスに含まれる製品のみがインストールされます。これによって、製品間の互換性に関する問題を回避できます。たとえば、既存のインストールに 10 製品が含まれていても、現在のライセンスにこのうちの 9 製品しか含まれていない場合は、MATLAB のインストールは現在のライセンスに含まれる 9 つの製品のみとなります。

ステップ 1: インストーラーの起動

インストーラーの起動に使用する方法は、プラットフォームによって異なります。

- ・ Windows — システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入するか、MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラー ファイルをダブルクリックします。インストーラーが自動的に起動します。
- ・ Macintosh — システムに接続されている DVD ドライブに MathWorks DVD を挿入するか、製品ファイルを MathWorks Web サイトからダウンロードします。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、アイコンをダブルクリックして DVD の内容を表示し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



InstallForMacOSX

- ・ Linux – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```

ダウンロードしたファイルからインストールする場合は、アーカイブ ファイルからインストーラーを抽出し、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。以下のように入力して、実行権限のあるシステムでマウントしてください。DVD ドライブの名前はお使いのシステムで異なる場合があります。

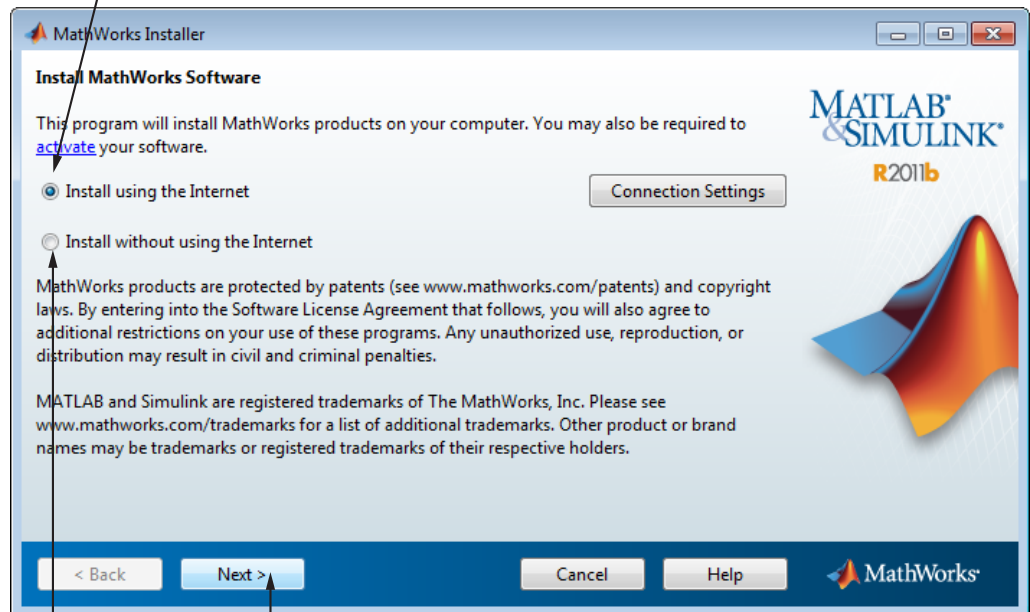
```
mount -o exec /media/cdrom0
```

ステップ 2: インターネットを使用してインストールするかどうかの選択

インターネット接続を使用してインストールするか、使用しないでインストールするかを選択します。インターネットに接続している場合は、既定の [インターネットを使ってインストール] オプションを選択した状態のままで、[次へ] をクリックします。インストール中には、MathWorks アカウントにログインし、インストールするライセンスを選択して、インストーラーの他のダイアログ ボックスの指示に従って作業を進めます。これが、最も簡単なインストール方法です。

インストール中にインターネットに接続していない場合は、[インターネットを使わずにインストール] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。

Select this option to install products (recommended).

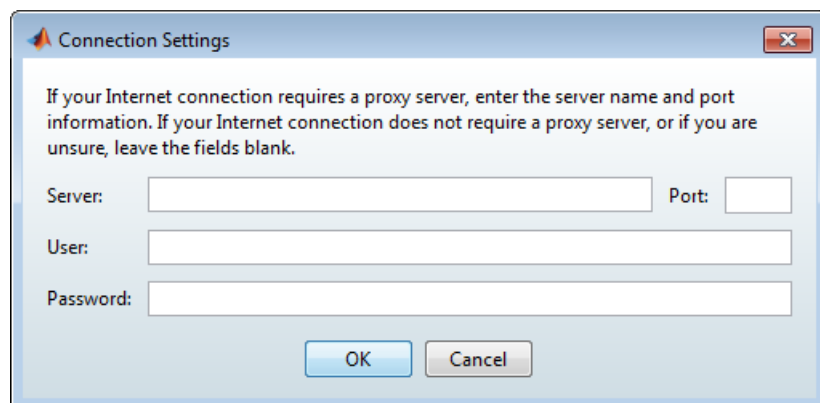


Select this option if you do not have an Internet connection.

Click Next.

メモ: Windows システムでは、インストーラーは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。プロキシ サーバーがログインを要求する場合、インストーラーは、ログイン情報の入力を指示するプロンプトを表示します。

インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックします。[接続設定] ダイアログ ボックスでは、サーバー名、ポート、パスワードを入力することができます。MathWorks では、基本認証とダイジェスト認証のプロキシ設定をサポートしています。

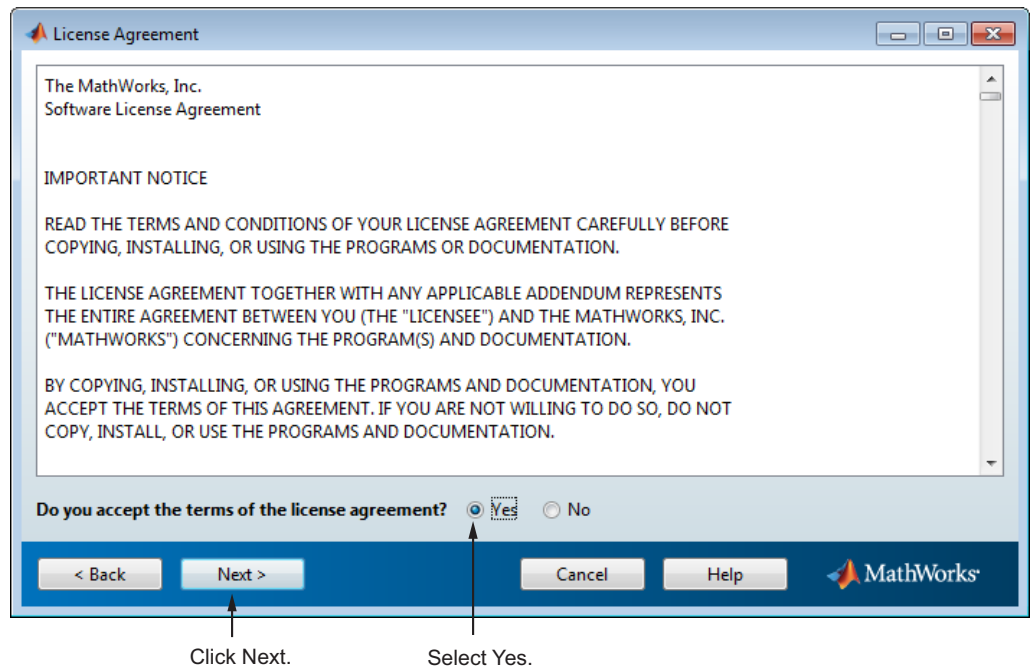


The image shows a Windows-style dialog box titled "Connection Settings". It contains a message: "If your Internet connection requires a proxy server, enter the server name and port information. If your Internet connection does not require a proxy server, or if you are unsure, leave the fields blank." Below the message are three input fields: "Server:" followed by a text box, "Port:" followed by a text box, "User:" followed by a text box, and "Password:" followed by a text box. At the bottom of the dialog are two buttons: "OK" and "Cancel".

ステップ 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して、[次へ] をクリックします。

ライセンス許諾書の内容は、インストール後にインストール フォルダーにある license.txt ファイルでも確認できます。



ステップ 4: MathWorks アカウントへのログイン

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ]をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。

MathWorks アカウントをおもちでない場合は、[MathWorks アカウントを作成する] オプションを選択して [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータを入力することができます。

ファイル インストール キーをおもちの場合は、[ファイル インストール キーを指定] オプションを選択して、キーを入力します。ファイル インストール キーでは、インストール可能な製品が識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからファイル インストール キーを取得できます。ファイル インストール キーを指定した場合、インストーラーではライセンスを選択するステップが省略されます。

If you have an account, enter your email address and password.

The image shows a Windows-style window titled "Provide Installation Information" for MATLAB & SIMULINK R2011b. The window has a blue header bar with the title and standard window controls. The main content area is white and contains the following elements:

- Section Header:** "Provide your installation information"
- Radio Buttons:**
 - ☒ Log in to my MathWorks Account:
 - ☐ I need to create an Account (requires an Activation Key)
 - ☐ Provide File Installation Key
- Form Fields:**
 - Under "Log in to my MathWorks Account:", there are two text boxes: "E-mail address:" (containing "jcustomer@mathworks.com") and "Password:" (containing seven dots). Below the password field is a blue link that says "Forgot your password?".
 - Under "Provide File Installation Key", there is a large empty text box.
- Text:** Below the "Provide File Installation Key" text box, it says: "You may have received a File Installation Key from the MathWorks Web site or from your license administrator."
- Buttons:** At the bottom of the window, there are four buttons: "< Back", "Next >", "Cancel", and "Help".
- Logo:** The MATLAB & SIMULINK R2011b logo is in the top right corner, and the MathWorks logo is in the bottom right corner.

If you need to create an account, select this option.

Click Next.

If you have a File Installation Key, enter it here.

MathWorks アカウントの作成

アカウントを作成するには、電子メール アドレス、姓、名、およびパスワードを入力します。新しく作成したアカウントにはライセンスが関連付けられていないため、アクティベーション キーも入力しなければなりません。アクティベーション キーによって、インストールするライセンスが識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからキーを取得できます。[次へ]をクリックし、この情報を MathWorks に送信してアカウントを作成します。

1 標準インストールとアクティベーションの手順

Enter your e-mail address. Create a password for your account.

Account Creation

Create a MathWorks Account (Step 1 of 2)

Upon successful creation of your account, an e-mail will be sent to you. In Step 2, you will need to verify the e-mail address you provide, before you can proceed.

E-mail address: jcustomer@mathworks.com

Retype E-mail address: jcustomer@mathworks.com

Password:

Retype Password:

First name: Jane

Last name: Customer

Activation Key: 55555-55555-55555-55555-55555

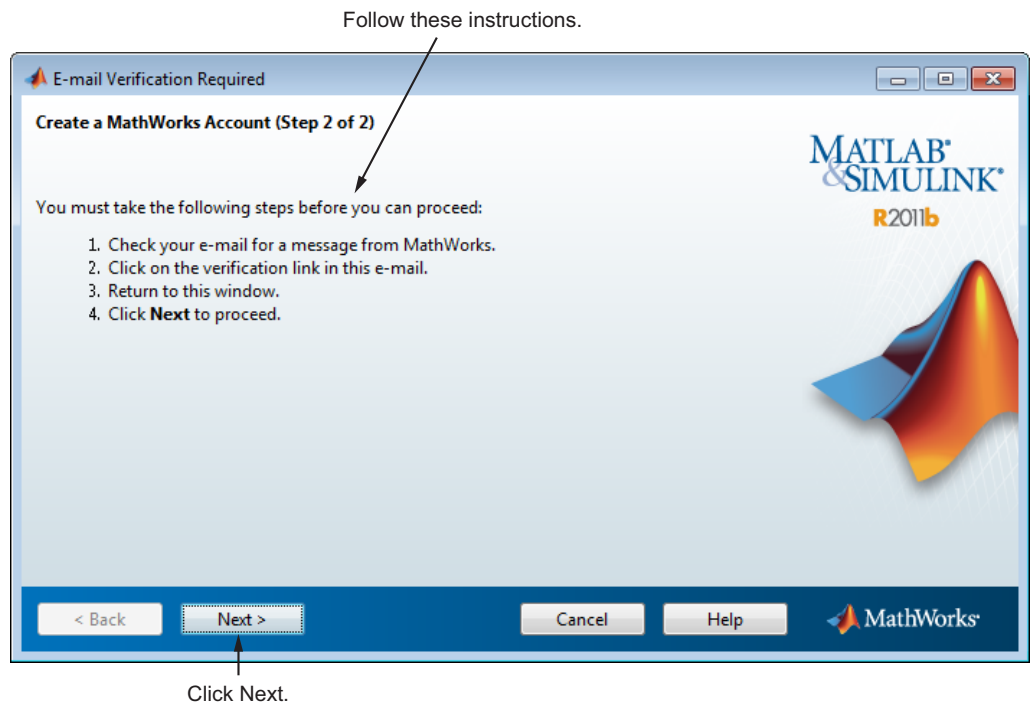
You may have received the Activation Key from the Administrator of the license.

[Privacy Policy](#)

< Back Next > Cancel Help MathWorks

Click Next. Enter Activation Key. Enter first name and last name.

メモ: 新しい MathWorks アカウントを作成したら、インストールを続行する前に、電子メール アドレスを確認しなければなりません。[電子メールの確認が必要] ダイアログ ボックスの [次へ] をクリックする前に、電子メール プログラムに移動して MathWorks から送信されたメッセージを開き、確認リンクをクリックします。次に、このダイアログ ボックスに戻り、[次へ] をクリックします。

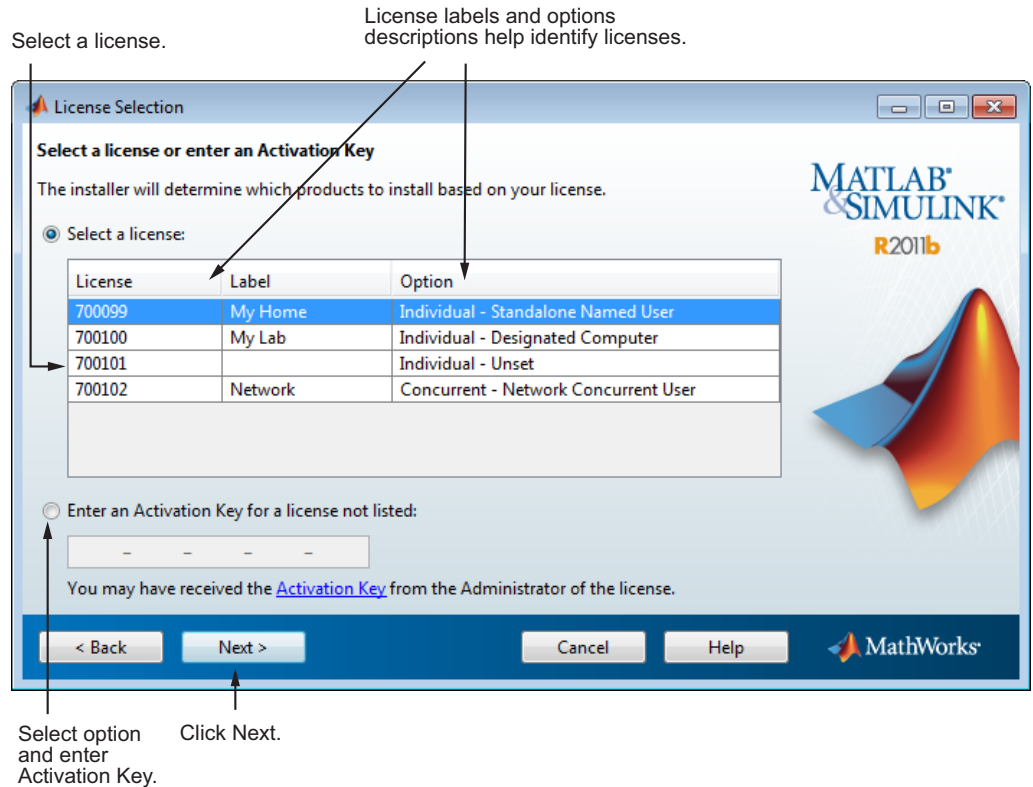


ステップ 5: インストールするライセンスの選択

MathWorks アカウントに関連付けされたライセンスの一覧からライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。この一覧には、ライセンスに関する以下の情報が含まれています。

- ・ ライセンス番号。
- ・ ライセンスの特定に役立つオプションの説明テキストラベル。ライセンスにラベルを付けるには、MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスします。詳細は、ライセンス センターのヘルプを参照してください。
- ・ ライセンス オプションとアクティベーション タイプを特定する情報。アクティベーション タイプがまだライセンスで設定されていない場合は、[Unset] と表示されます。

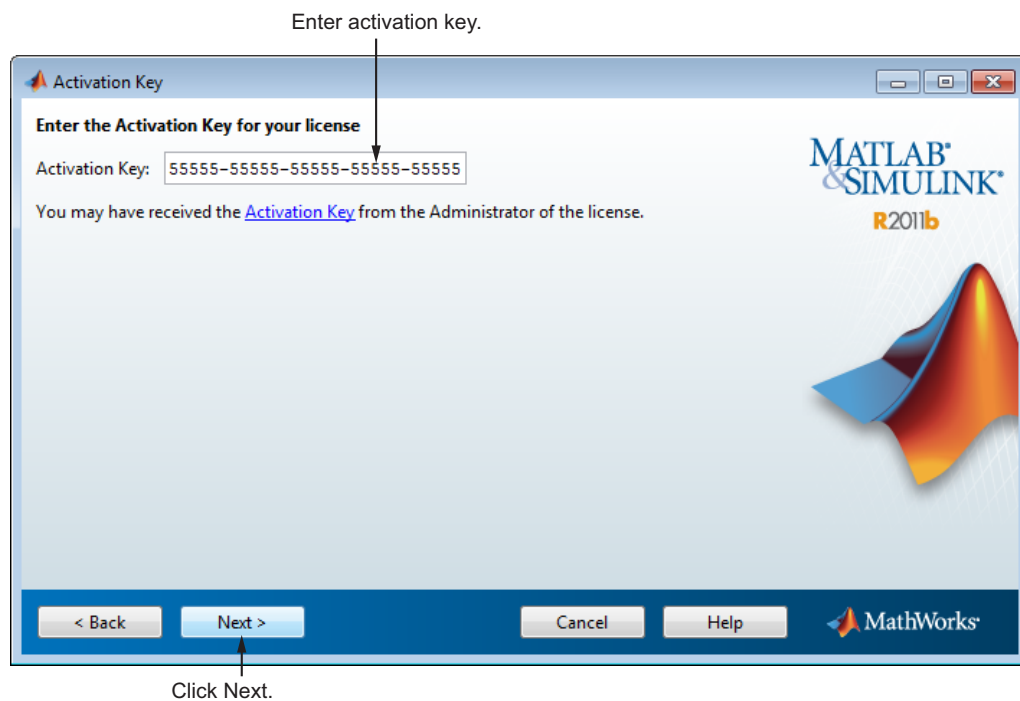
自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスの製品をインストールする場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションを選択し、アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。アクティベーション キーとはライセンスを識別する固有のコードで、ライセンスのアクティベーションを行うために使用します。またこのキーを使って、ライセンスを受けたエンドユーザーが MathWorks アカウントをライセンスに関連付けることができます。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。



アクティベーション キーの指定

アカウントにライセンスが関連付けられていない場合、または、選択したライセンスでアクティベーションを行う権限が無効になっている場合、インストーラーによって「アクティベーション キー」ダイアログ ボックスが表示されることがあります。要求されたアクティベーション キーを入力して、「次へ」をクリックします。アクティベーション キーはライセンス管理者から取得できます。

1 標準インストールとアクティベーションの手順

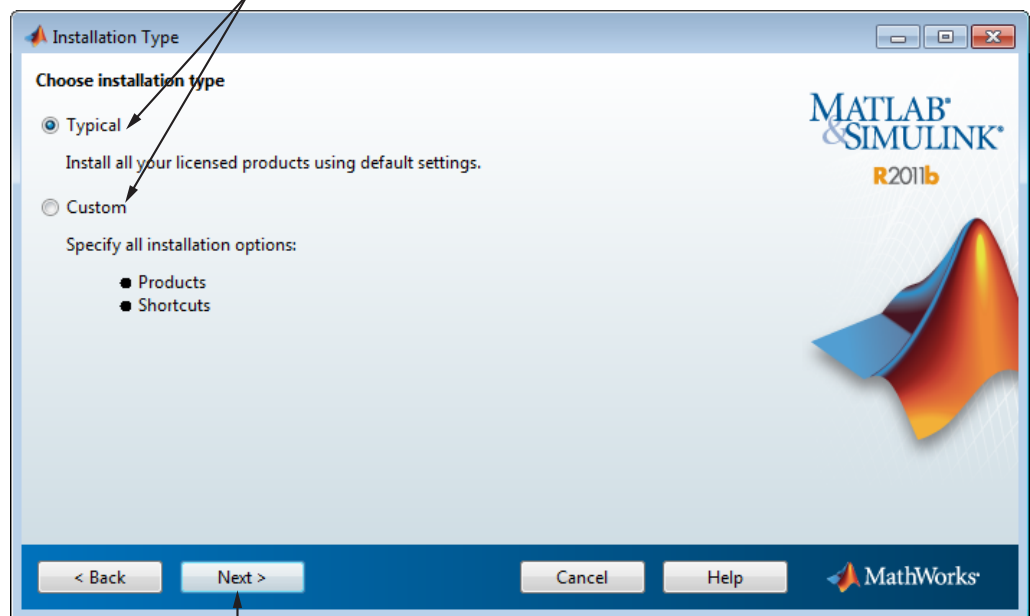


ステップ 6: インストール タイプの選択

[インストール タイプ] ダイアログ ボックスで、[標準] または [カスタム] のいずれを選択して、[次へ] をクリックします。

- ・ インディビデュアル ライセンスまたはグループ ライセンスをおもちで、インストールする製品を指定する必要がなく、インストール オプションにアクセスする必要がない場合は、[標準] を選択します。
- ・ インストールする製品の指定やインストール オプションへのアクセスが必要な場合、または、ライセンス マネージャーをインストールする必要がある（ネットワークライセンス オプションのみ）場合は、[カスタム] を選択します。

Select Typical or Custom.



Click Next.

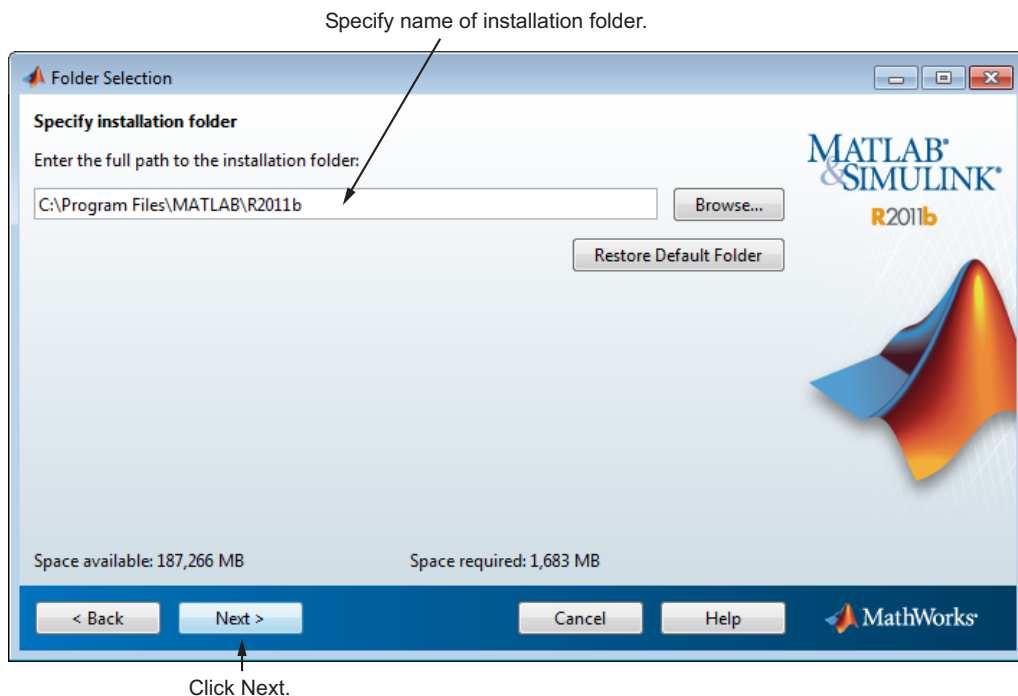
標準インストールを選択すると、インストーラーでは製品の選択とインストール オプションのステップが省略されます。

ステップ 7: インストール フォルダーの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストール フォルダーを受け入れるか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

Macintosh システムでは、インストーラーによって MATLAB アプリケーション パッケージ、MATLAB_R2011b.app が既定により Applications フォルダーに配置されます。

フォルダー名を指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。指定したフォルダー名に許可されていない文字が含まれている場合は、インストーラーによって通知されます。フォルダー名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダーに戻す] をクリックします。選択を行ったら、[次へ] をクリックします。



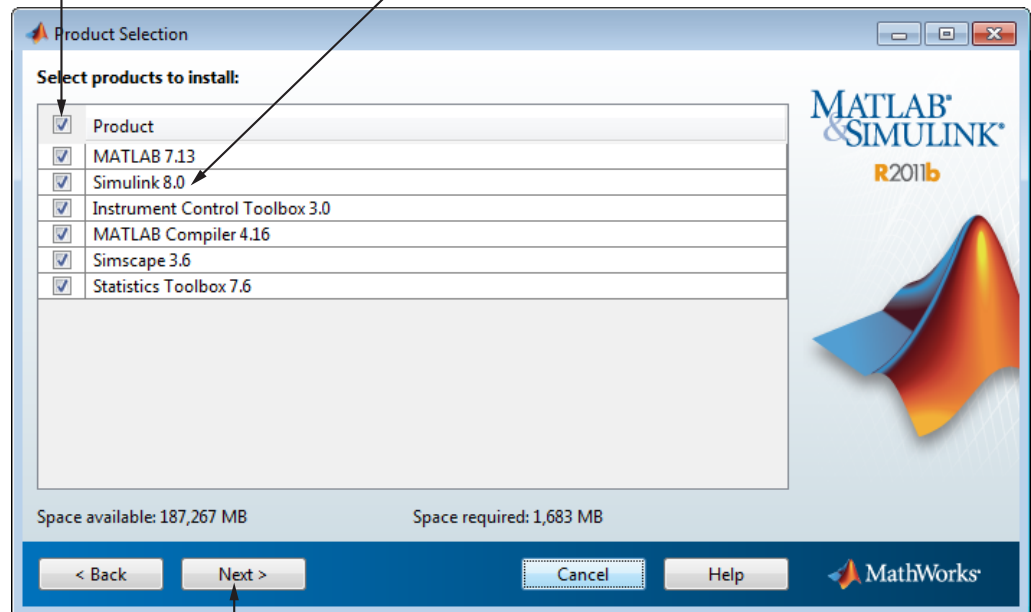
ステップ 8: インストールする製品の指定 (カスタム インストールのみ)

カスタム インストールを行う場合は、[製品選択] ダイアログ ボックスでインストールする製品を指定できます。このダイアログ ボックスには、選択したライセンス、あるいは指定したアクティベーション キーまたはファイル インストール キーに関連付けられているすべての製品が一覧表示されます。ダイアログ ボックスでは、すべての製品がインストールにあらかじめ選択された状態になっています。インストールしない製品がある場合は、製品名の横のチェック ボックスをオフにします。

インストールする製品を選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。選択した製品のいずれかが他の製品に依存しているかどうかはインストーラーによって確認されます。満たされない製品の依存が存在する場合は、警告が発せられます。選択した製品が、適切であるかどうかを検討します。

Click here to select or clear all product check boxes.

Select the products you want to install.

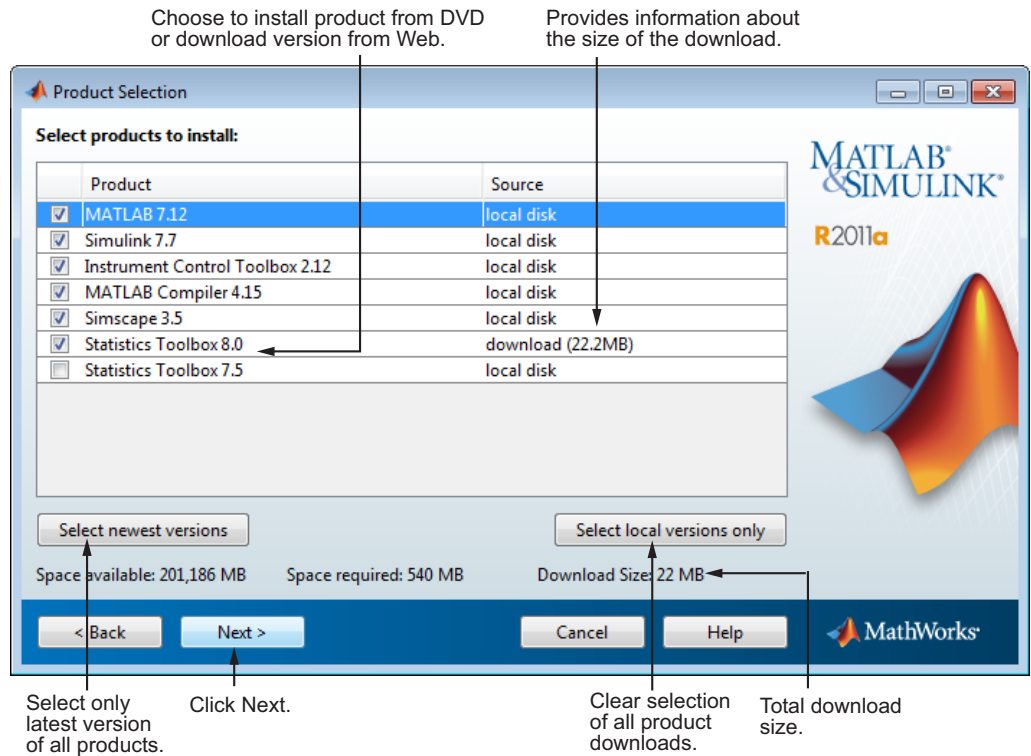


Click Next.

MathWorks の Web サイトで製品の新しいバージョンが利用可能かどうかを判別するようにインストーラーを設定した場合、インストーラーの製品一覧には新しいバージョンと、製品の DVD に収録されているバージョンの両方が表示されます。既定では、最新バージョンのインストールがあらかじめ選択されています。製品の更新を利用できる場合、[製品選択] ダイアログ ボックスには [ソース] 列が表示されます。この列では、製品を DVD からインストールか、ダウンロードする必要があるかが識別されます。製品をダウンロードする場合は、[ソース] 列にダウンロードするファイルのサイズに関する情報が含まれます。またダイアログ ボックスには、選択したすべての製品のダウンロードの合計サイズに関する情報も含まれます。

製品の更新をダウンロードしない場合は、[ローカル バージョンのみ選択] をクリックします。これによって、製品の一覧ですべての製品のダウンロードがオフになります。すべての製品の最新バージョンのみをインストールする場合は、[新しいバージョンを選択] をクリックします。

インストールする製品の選択が完了したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



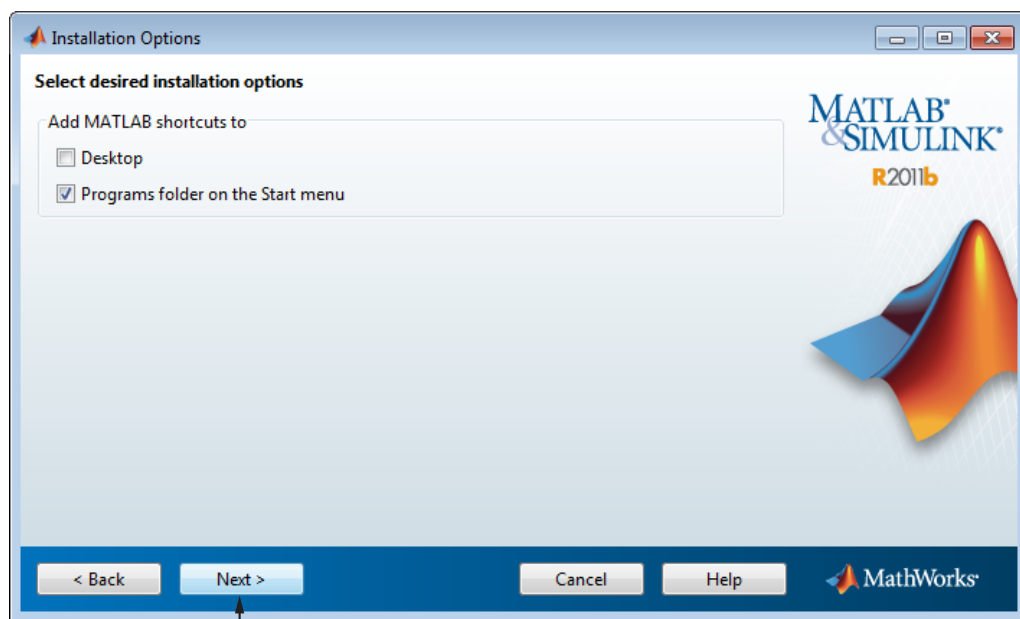
ステップ 9: インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ)

カスタム インストールでは、インストールするプラットフォームに応じて次のようないくつかのインストール オプションを指定できます。

Windows

Windows では、[インストール オプション] ダイアログ ボックスで、[スタート] メニューとデスクトップに MATLAB ソフトウェアの起動用ショートカットを配置するかどうかを選択できます。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



Click Next.

Linux

Linux システムでは、matlab および mex スクリプトへのシンボリックリンクを作成するかどうかを指定できます。書き込み権限があり、ユーザーのパスすべてに共通している、/usr/local/bin などのフォルダーを指定してください。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

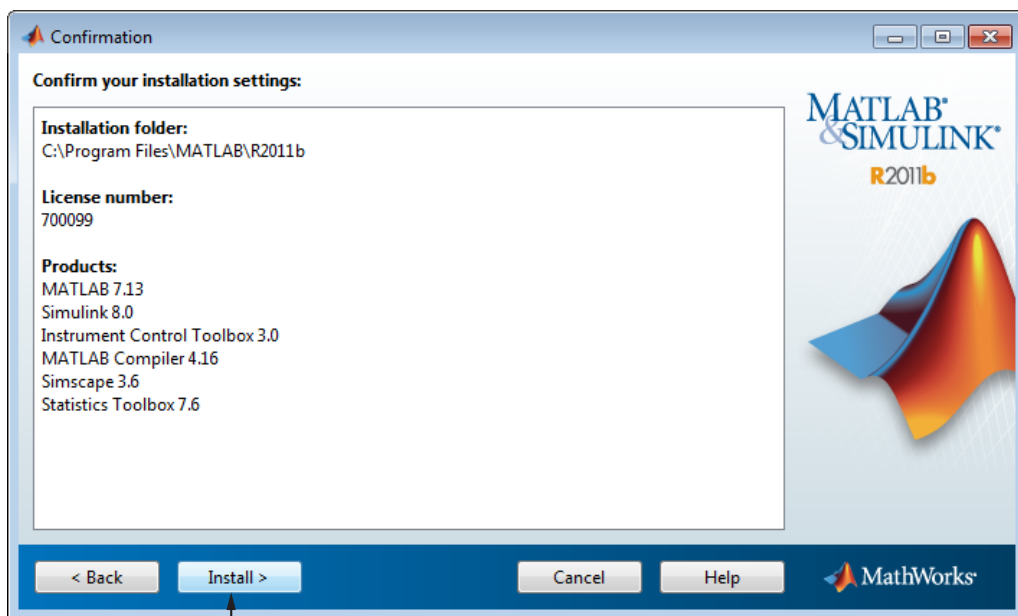
Select this option and specify
the location of symbolic links.



Click Next.

ステップ 10: 選択内容の確認

ファイルをハード ディスクにコピーする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには [インストール] をクリックします。



Click Install.

ファイルをハードドライブにコピーする際には、インストールの進捗状況を示すダイアログ ボックスが表示されます。

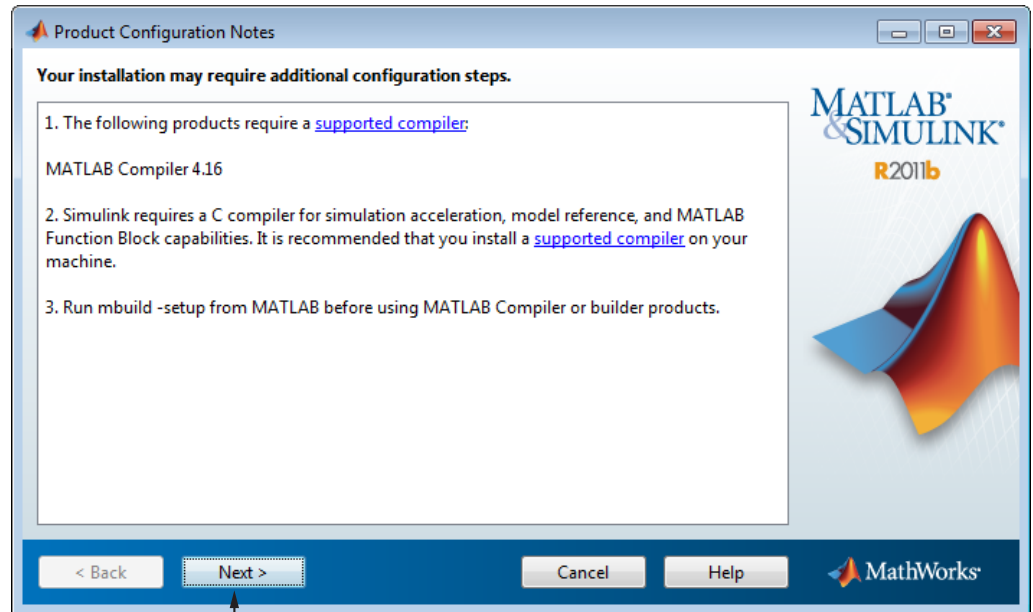
製品設定に関するメモの確認

インストーラーでは、インストールする製品によって次のような情報を含むダイアログ ボックスが表示されることがあります。

- ・ 製品の設定情報 — 一部の製品では追加の設定が必要になります。これらの製品をインストールした場合は、このダイアログ ボックスに設定コマンドの一覧が表示されます。これらのコマンドは、システムのクリップボードにコピーして、インストールの完了後に使用することができます。

- ・ 使用可能な製品の更新 – ライセンスで指定されている製品が DVD に含まれておらず、現在インターネットに接続していないか、製品の更新をダウンロードしないように選択した場合は、このダイアログ ボックスに該当する製品の一覧が表示されます。これらの製品は、インストール完了後に MathWorks Web サイトからダウンロードできます。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



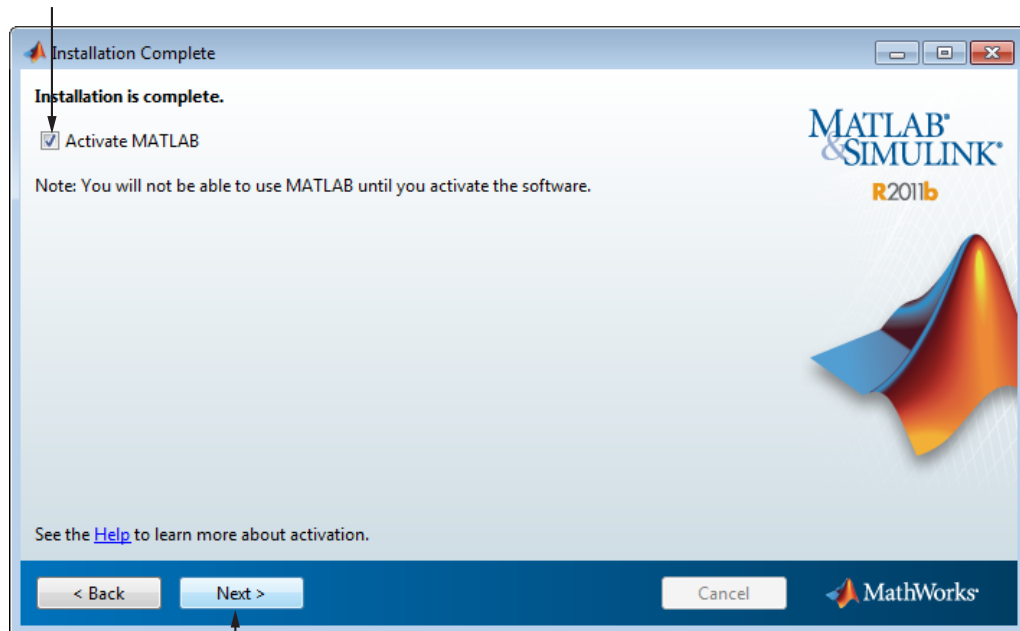
Click Next.

ステップ 11: インストールの完了

インストールが正常に完了すると、[インストールの完了] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスでは、インストールしたソフトウェアをアクティベートすることができます。インストールしたソフトウェアは、アクティベートするまで使用できません。MathWorks では、インストール後すぐにアクティベーションを行うことを推奨しています。インストール中に MathWorks アカウントにログインした場合は、ログイン セッションをアクティベーションでも引き続き使用できます。[次へ] をクリックして、アクティベーションに進みます。

アクティベーションを行わずにインストーラーを終了する場合は、[MATLAB のアクティベーション] オプションをオフにして [終了] をクリックします。この場合は、アクティベーション アプリケーションを使用して後からアクティベーションを行うことができます。

To activate your software, leave this selected.



Click Next to proceed to activation. If you cleared the check box, button label changes to Finish.

関連するトピック

アクティベーション プロセスのステップごとの説明は、インストールのアクティベーション (p. 1-27)を参照してください。

インストールのアクティベーション

この節の内容...

ステップ 1: アクティベーション アプリケーションの起動 (p. 1-27)

ステップ 2: 自動アクティベーションまたは手動アクティベーションの選択 (p. 1-28)

ステップ 3: MathWorks アカウントへのログイン (p. 1-30)

ステップ 4: アクティベートするライセンスの選択 (p. 1-33)

ステップ 5: アクティベーション タイプの選択 (p. 1-35)

ステップ 6: ユーザー名の指定 (p. 1-36)

ステップ 7: アクティベーション情報の確認 (p. 1-37)

ステップ 8: アクティベーションの完了 (p. 1-38)

ステップ 1: アクティベーション アプリケーションの起動

アクティベーション アプリケーションを起動するには、次のいずれかを実行します。

- ・ インストールの終了後、[インストールの完了] ダイアログ ボックスで、[MATLAB のアクティベーション] チェック ボックスをオンのままにしておきます。
- ・ アクティベーションが行われていない MATLAB を起動します。
- ・ MATLAB が起動している場合は、[ヘルプ]、[ライセンス]、[ソフトウェアのアクティベーションを行う] を選択します。
- ・ MATLAB インストール フォルダーに移動し、アクティベーション アプリケーションを開きます。

Windows — `matlabroot/bin/$ARCH` フォルダーにある `activate_matlab.exe` ファイルをダブルクリックします。この `matlabroot` は MATLAB のインストール先のフォルダーであり、`$ARCH` は、`matlabroot\bin\win32` などのプラットフォーム固有のサブフォルダーを表します。

Linux および Macintosh — `matlabroot/bin` フォルダーにある `activate_matlab.sh` スクリプトを実行します。

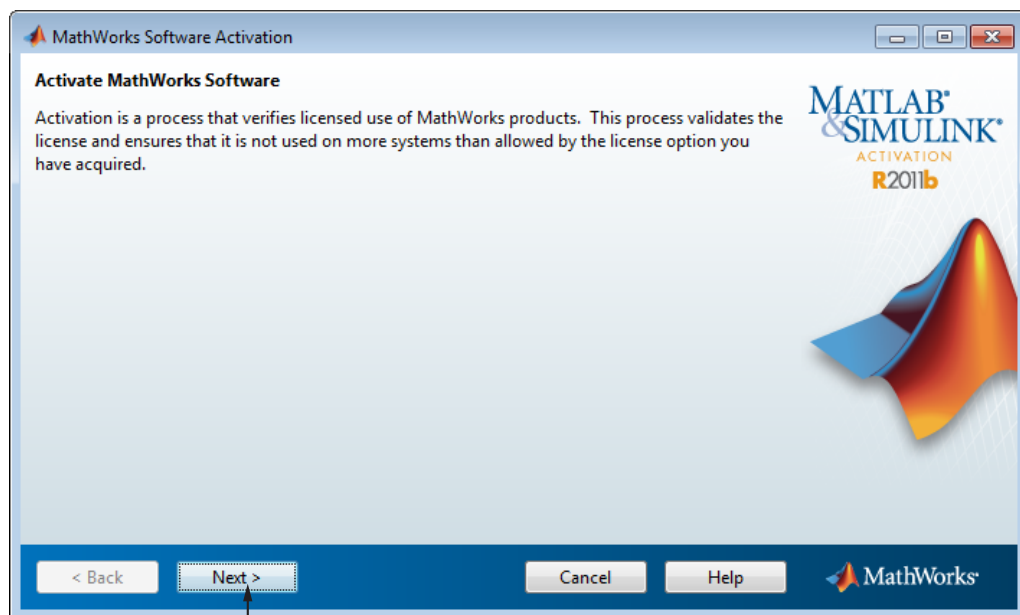
- ・ Macintosh — MATLAB アプリケーション パッケージに含まれているアクティベーション アプリケーション アイコンをダブルクリックします。MATLAB アプリケーション

ンパッケージの内容を表示するには、パッケージを右クリック（または Ctrl キーを押しながらクリック）し、[パッケージの内容を表示] を選択します。

ステップ 2: 自動アクティベーションまたは手動アクティベーションの選択

“アクティベーション”は、ライセンス許可を受けて MathWorks 製品を使用することを確認するプロセスです。このプロセスでは、ライセンスを検証して、ライセンス オプションで許可されている数を超えるコンピューターまたはユーザーによってソフトウェアが使用されないようにします。

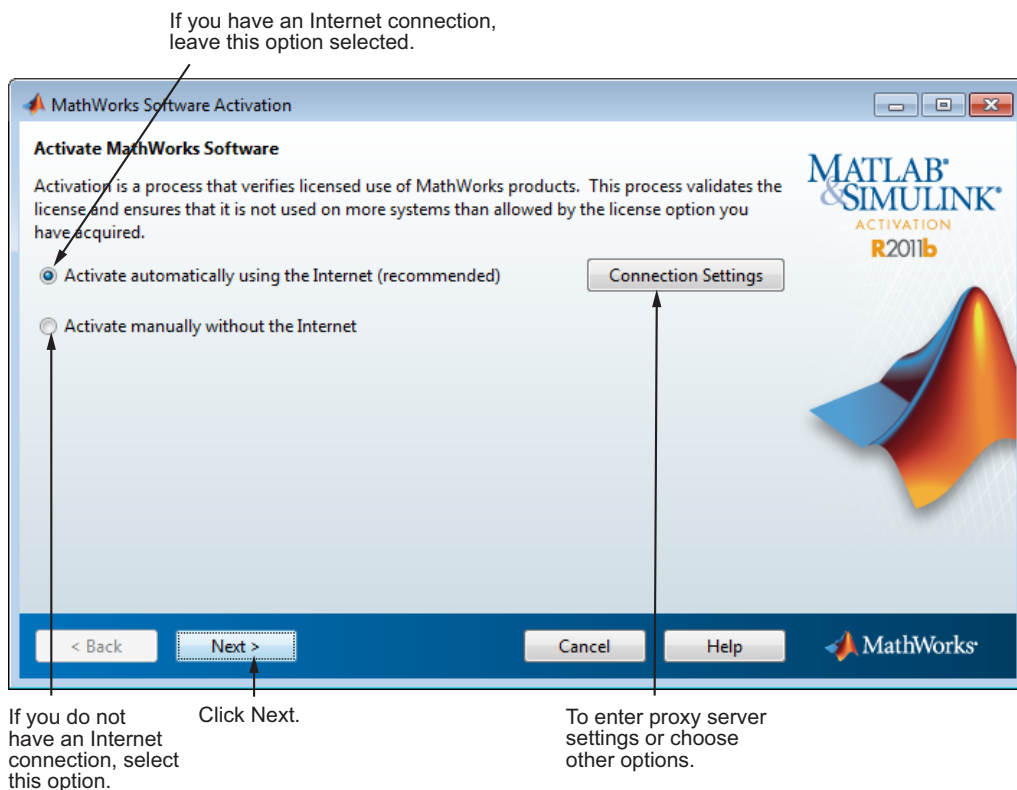
インストーラーによってアクティベーション アプリケーションを開始し、インストール中に MathWorks アカウントにログインした場合は、アクティベーション中も同じログイン セッションを引き続き使用できます。アクティベーションを続行するには [次へ] をクリックします。



Click Next.

インストール中に MathWorks アカウントにログインしなかった場合、または、アクティベーション アプリケーションを単独で起動した場合は、自動アクティベーションか手動アクティベーションを選択しなければなりません。インターネットに接続している

場合は、[インターネットを使って自動的にアクティベーションを行う] オプションを選択した状態のままにします。MathWorks では、自動的にアクティベーションを行うことを推奨しています。手動でアクティベーションを行うオプションは、インターネットに接続していない場合に便利です。手動でアクティベーションを行うには、ライセンス ファイルが必要になります。



プロキシ サーバーの指定

メモ: Windows システムでは、アクティベーション アプリケーションは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。

インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックします。[プロキシ設定] ダイアログ ボックスでは、サーバー名とポートの情報を入力し、他のアクティベーション オプションにアクセスすることができます。MathWorks では、基本認証、ダイジェスト認証など、いくつかの種類のプロキシ設定をサポートしています。詳細は、アクティベーション オプションへのアクセス (p. 3-2)を参照してください。

ステップ 3: MathWorks アカウントへのログイン

メモ: インストール中にアカウントにログインし、インストールの直後にアクティベーションを続けて行う場合、アクティベーション アプリケーションではこのステップが省略されます。

電子メール アドレスと MathWorks アカウントのパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。アクティベーション アプリケーションにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスが取得されます。

MathWorks アカウントを所有していない場合は、[アカウントを作成する] オプションを選択して [次へ] をクリックします。

既にライセンス ファイルをおもちの場合は、[ライセンス ファイルへのパスを指定] オプションを選択し、ファイルへの絶対パスを指定して、[次へ] をクリックします。ライセンス ファイルによって、実行できる製品が識別されます。このライセンス ファイルは、ライセンス管理者から受け取っている可能性があります。ライセンス ファイルを指定した後、アクティベーション アプリケーションではプロセスの後続の手順がすべて省略され、[アクティベーションの完了] ダイアログ ボックスが開きます。

If you have an account, enter your e-mail address and password.

The image shows the MATLAB & SIMULINK ACTIVATION R2011b window. The title bar reads "Log in or Provide License File". The main text says "Log in, create an account, or provide your license file" and "You can use your MathWorks Account to automatically retrieve your license file, or if you already have a license file, you can provide it here." There are three radio button options: "Log in to my MathWorks Account:" (selected), "I need to create an Account (requires an Activation Key)", and "Enter the full path to your license file, including the file name:". The first option has input fields for "E-mail Address:" (containing "jcustomer@mathworks.com") and "Password:" (containing "*****"), with a "Forgot your password?" link below. The second option has a "Next >" button. The third option has a text input field and a "Browse..." button. At the bottom are "< Back", "Next >", "Cancel", and "Help" buttons. The MathWorks logo is in the bottom right. Arrows point from the text instructions to the corresponding UI elements: the top instruction points to the login fields, the bottom-left instruction points to the "Next >" button, and the bottom-right instruction points to the license file path input field.

Log in or Provide License File

Log in, create an account, or provide your license file

You can use your MathWorks Account to automatically retrieve your license file, or if you already have a license file, you can provide it here.

☒ Log in to my MathWorks Account:

E-mail Address:

Password:

[Forgot your password?](#)

☐ I need to create an Account (requires an Activation Key)

☐ Enter the full path to your license file, including the file name:

MathWorks

If you need to create an account, Click Next. select this option.

If you have your License File, specify the full path here.

MathWorks アカウントの作成

アカウントを作成するには、電子メール アドレス、姓、名、およびパスワードを入力します。アクティベーション キーの入力も必要です。新しく作成したアカウントには、ライセンスが関連付けられていません。アクティベーション キーによって、アクティベーションを行うライセンスが識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからキーを取得できます。[次へ]をクリックして、アカウントを作成します。

Enter e-mail address. Create a password for your account.

Account Creation

Create a MathWorks Account (Step 1 of 2)

Upon successful creation of your account, an e-mail will be sent to you. In Step 2, you will need to verify the e-mail address you provide, before you can proceed.

E-mail Address: jcustomer@mathworks.com

Retype E-mail address: jcustomer@mathworks.com

Password:

Retype Password:

First name: Jane

Last name: Customer

Activation Key: 55555-55555-55555-55555-55555

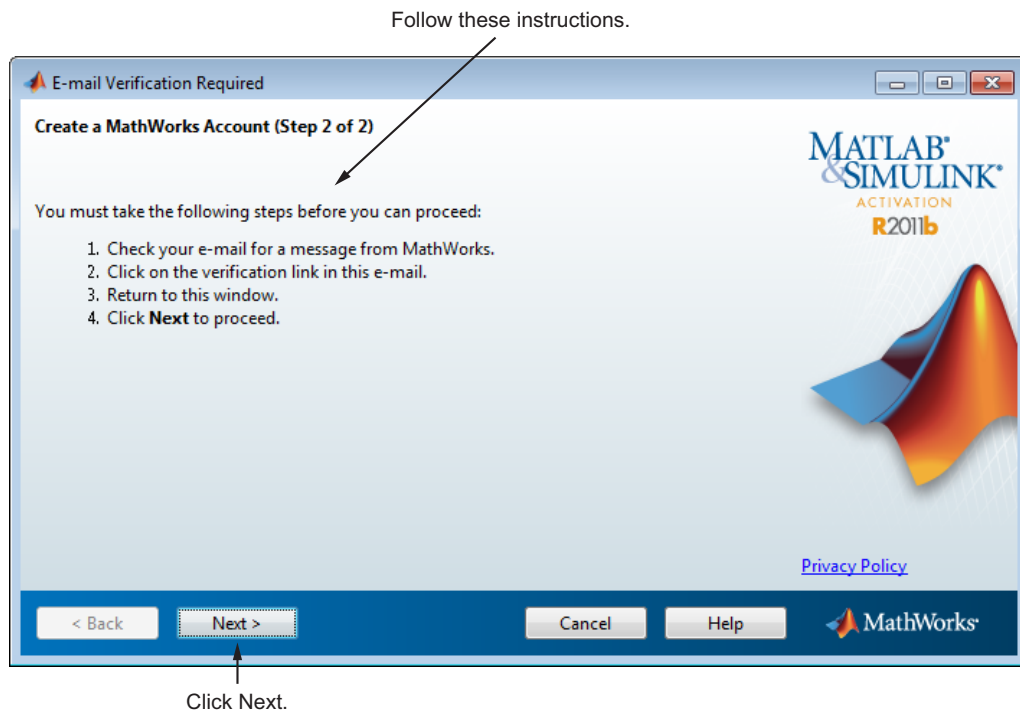
You may have received your Activation Key from the Administrator of the license.

[Privacy Policy](#)

< Back Next > Cancel Help MathWorks

Click Next. Enter Activation Key. Enter first and last name.

メモ: 新しい MathWorks アカウントを作成したら、アクティベーションを続行する前に、電子メール アドレスを確認しなければなりません。[電子メールの確認が必要] ダイアログ ボックスの [次へ] をクリックする前に、電子メール プログラムに移動して MathWorks から送信されたメッセージを開き、確認リンクをクリックします。次に、このダイアログ ボックスに戻り、[次へ] をクリックします。



ステップ 4: アクティベートするライセンスの選択

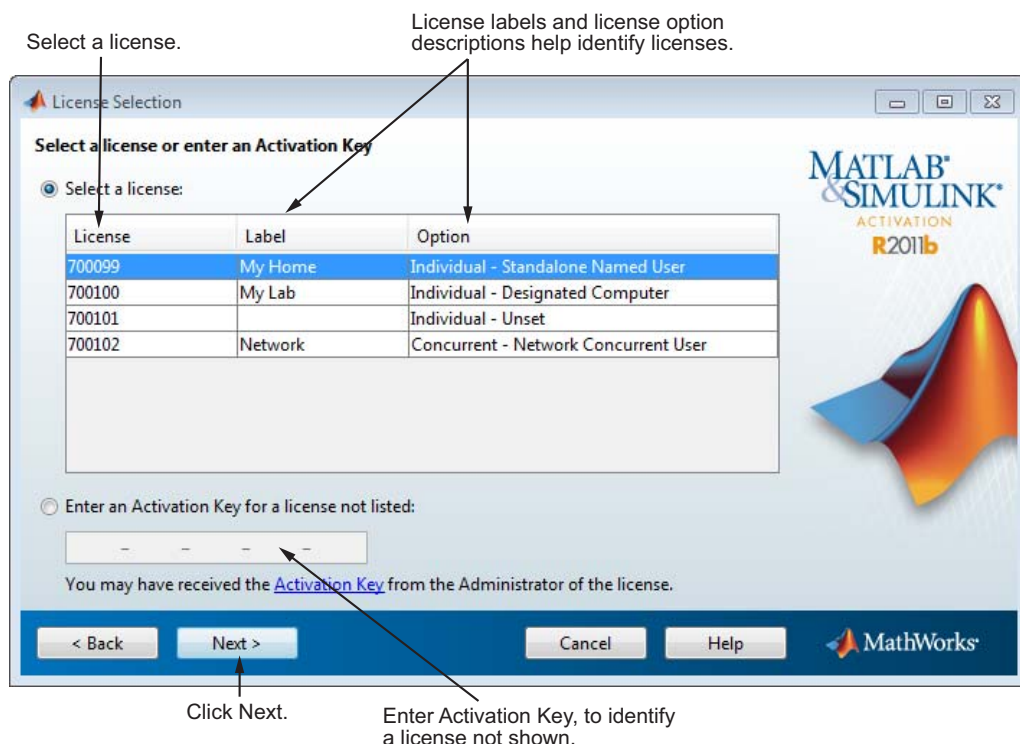
メモ: インストールの直後にアクティベーションを続けて行う場合、アクティベーションアプリケーションでは、インストールしたライセンスをアクティベートするものと仮定して、このステップが省略されます。同様に、前のステップで新規アカウントを作成してアクティベーション キーを指定した場合も、このステップが省略されます。

MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスの一覧からライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。この一覧には、次のようなライセンスに関する情報が含まれています。

- ・ ライセンス番号

- ・ ライセンスの特定に役立つ、ライセンスの内容を説明するオプションのテキストラベル。ライセンスにラベルを付けるには、MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスします。詳細は、ライセンス センターのヘルプを参照してください。
- ・ ライセンス オプションとアクティベーション タイプを識別する情報。ライセンスでまだアクティベーション タイプが設定されていない場合は、[Unset] と表示されます。

自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスの製品をインストールする場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションを選択し、アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。アクティベーション キーとはライセンスを識別する固有のコードで、このキーを使用して、ライセンスのアクティベーションを行ったり、ライセンスをアカウントに関連付けたりできます。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。

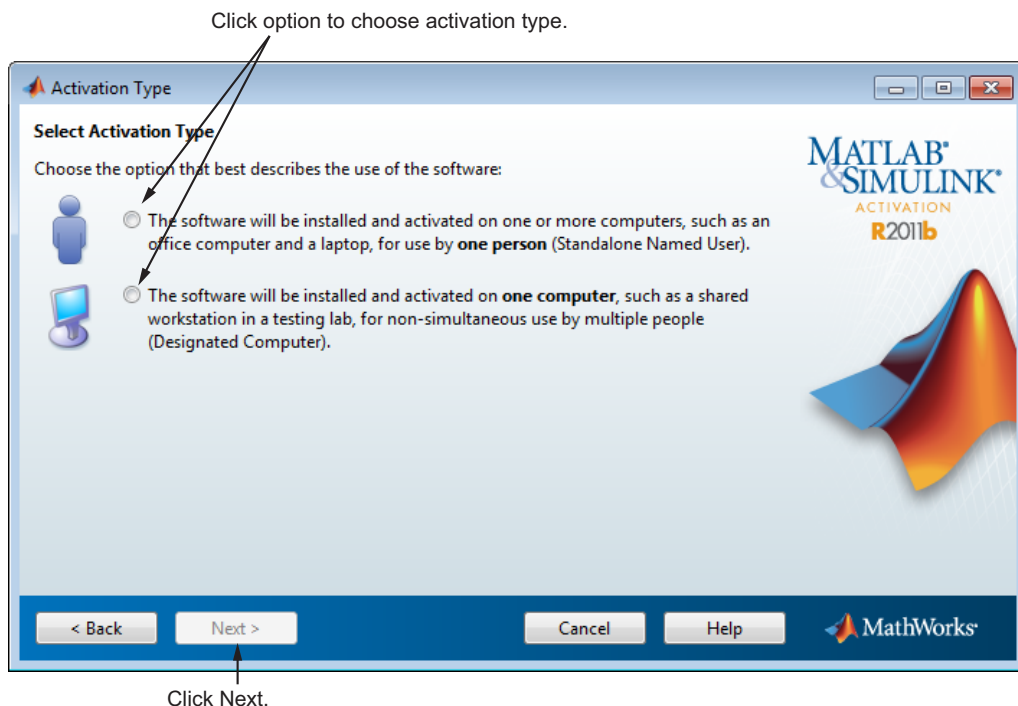


ステップ 5: アクティベーション タイプの選択

メモ: インストールしたライセンス、または前のステップで選択したライセンスにあらかじめアクティベーション タイプが設定されている場合は、このステップは省略されます。

ライセンスのアクティベーション タイプを選択します。ソフトウェアを自分のみで使用する場合は、[スタンドアロン ネームド ユーザー] オプションを選択します。同時には使用しないという条件で、複数のユーザーがインストールを共有する場合は、[コンピューター指定] オプションを選択します。

選択が完了したら、[次へ] をクリックしてアクティベーションを続行します。



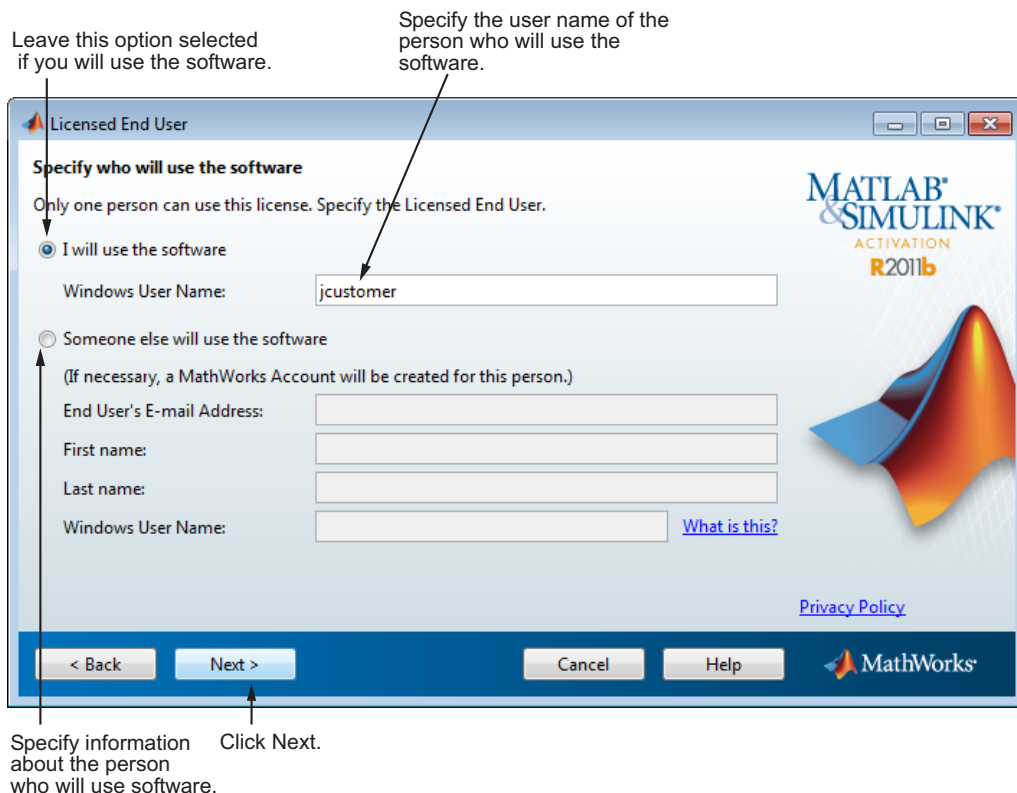
ステップ 6: ユーザー名の指定

メモ: ライセンスに対して、アクティベーション タイプとして [コンピューター指定] を選択した場合、このステップは省略されます。ユーザー名を指定する必要はありません。

スタンドアロン ネームド ユーザーのアクティベーション タイプを選択した場合は、ソフトウェアを使用するユーザーのオペレーティング システムにおけるユーザー名を指定しなければなりません。スタンドアロン ネームド ユーザーのアクティベーション タイプでは、ソフトウェアの使用が特定のコンピューター上の特定のユーザーに制限されます。MathWorks では、オペレーティング システム ユーザー名を使用してこのユーザーが識別されます。オペレーティング システム ユーザー名とは、ユーザーがコンピューターにアクセスするための ID で、コンピューターのログイン名とも呼ばれます。MathWorks ソフトウェアを使用するには、指定したユーザー名でコンピューターにログインしなければなりません。

既定では、アクティベーション アプリケーションによって、アプリケーションを実行中のユーザー名が自動的に記入されます。この既定値を受け入れるには、[私がソフトウェアを使用します] オプションを選択した状態で、[次へ] をクリックします。管理者アカウントを使用してソフトウェアをインストールした後、別のアカウントを使用してソフトウェアにアクセスする場合は、そのユーザー名をここで指定できます。

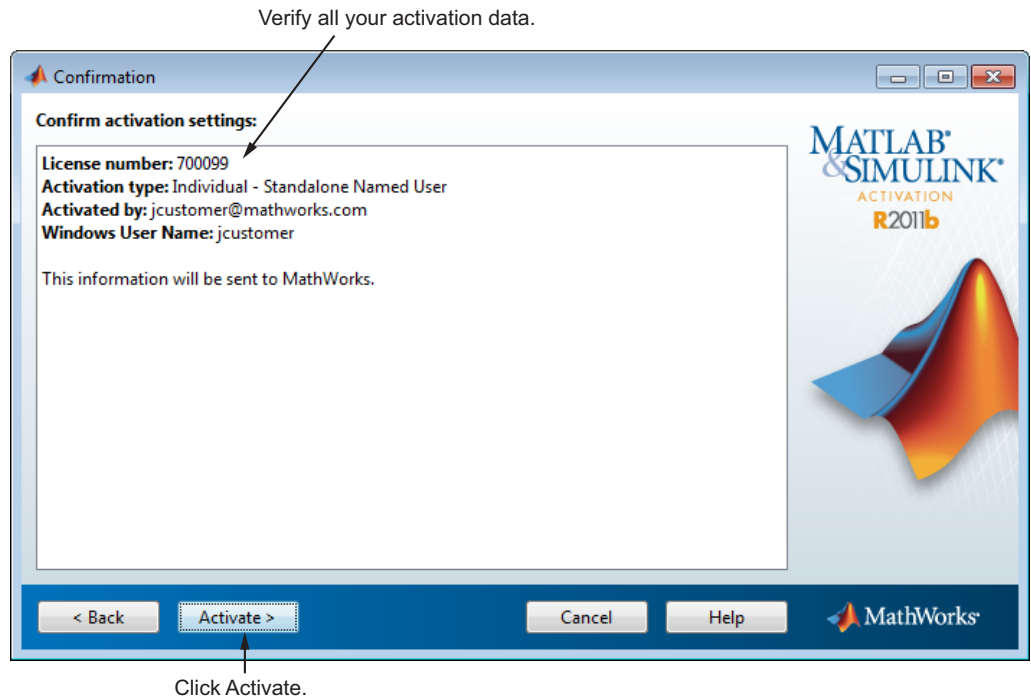
他のユーザーのためにライセンスのアクティベーションを行う場合は、[他の人がソフトウェアを使用します] オプションを選択し、対象のユーザーの電子メールアドレス、名前、およびオペレーティング システム ユーザー名を指定して、[次へ] をクリックします。アクティベーション アプリケーションによって、ユーザーの MathWorks アカウントが検索され、アカウントがない場合は新しいアカウントを作成します。このオプションは、他のユーザーのためにソフトウェアのアクティベーションを行うシステム管理者に便利です。



ステップ 7: アクティベーション情報の確認

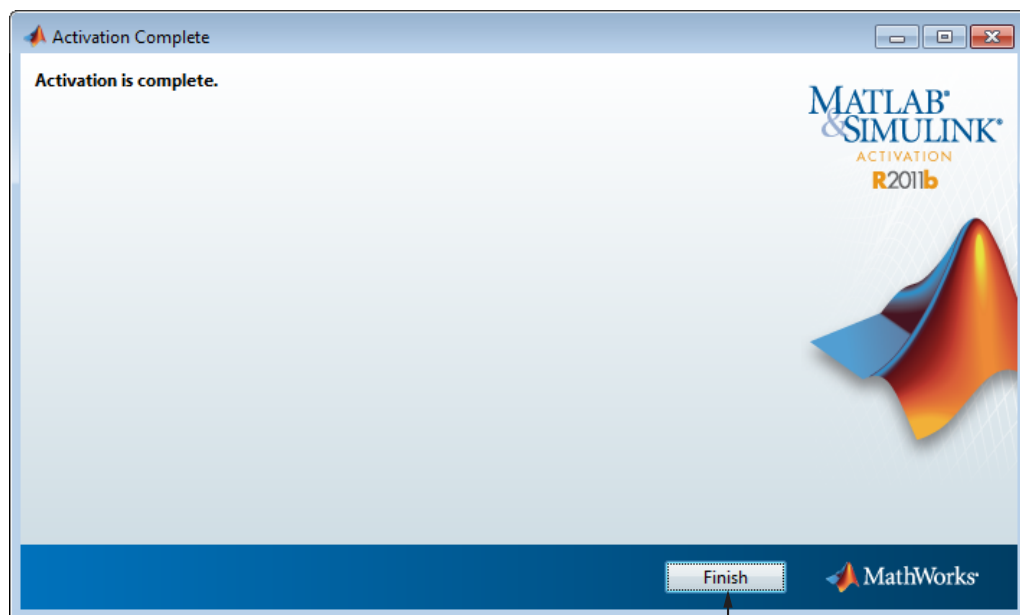
表示されている情報がすべて正しい場合は、[アクティベーション] をクリックします。

インストールのアクティベーションでは、MathWorks によってコンピューターにロックされた（アクティベーション タイプとして [スタンドアロン ネームド ユーザー] を選択した場合は特定のユーザーにロックされた）ライセンス ファイルが作成され、ユーザーのコンピューターにこのライセンス ファイルがコピーされます。このライセンス ファイルによって、コンピューターで MathWorks 製品を実行できるようになります。また、MathWorks システムではアクティベーションの記録が保持されます。



ステップ 8: アクティベーションの完了

インストールをアクティベートした後、[終了] をクリックしてアクティベーション プロセスを終了します。



Click Finish.

インターネット接続なしのインストールとアクティベーション

この節の内容...
インストール前の準備 (p. 1-40)
ステップ 1: インストーラーの起動 (p. 1-42)
ステップ 2: インターネットを使用しないインストールの選択 (p. 1-43)
ステップ 3: ライセンス許諾書の確認 (p. 1-44)
ステップ 4: ファイル インストール キーの指定 (p. 1-44)
ステップ 5: インストール タイプの選択 (p. 1-47)
ステップ 6: インストール フォルダーの指定 (p. 1-48)
ステップ 7: インストールする製品の指定 (カスタム インストールのみ) (p. 1-49)
ステップ 8: インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ) (p. 1-50)
ステップ 9: 選択内容の確認とファイルのコピーの開始 (p. 1-51)
ステップ 10: インストールの完了 (p. 1-52)
ステップ 11: インストールのアクティベーション (p. 1-53)
ステップ 12: ライセンス ファイルのパスの指定 (p. 1-54)
ステップ 13: アクティベーションの完了 (p. 1-57)

インストール前の準備

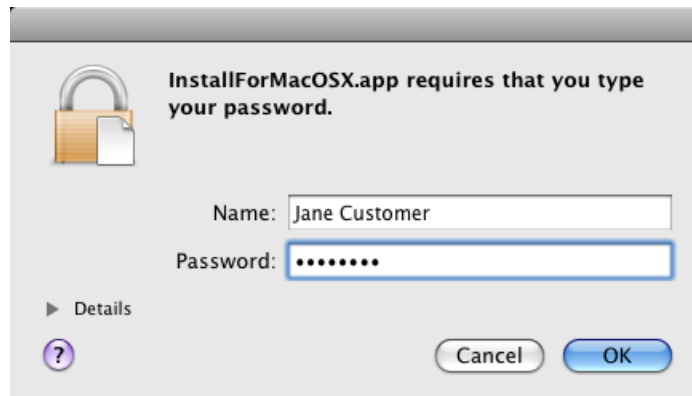
インストーラーを実行する前に、以下の準備を行います。

- ・ ファイル インストール キーとライセンス ファイルをお手元にご用意ください。これらは、ネットワーク接続なしにインストールとアクティベーションを実行する際に必要になります。

ファイル インストール キーでは、インストールできる製品が識別されます。ライセンス ファイルでは、実行できる製品が識別され、インストールがアクティベートされます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターから、ファイル インストール キーとライセンス ファイルを取得できます。
- ・ インストールの実行に適した権限があることを確認してください。これに関する質問は、システム管理者に問い合わせてください。

メモ: 管理者アカウントまたはルート権限を使用してソフトウェアをインストールする場合、権限のあるユーザーに対してソフトウェアをアクティベートする必要は通常ありません。ソフトウェアをアクティベートするときは、ソフトウェアを使用する権限のないエンドユーザーを指定します。管理者権限またはルート権限をもつユーザーとして MATLAB を実行することは推奨しません。

- Windows システム — 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。インストーラーによってインストール中にシステムレジストリが変更されます。
- Linux システム — ルート パスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリック リンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスが必要です。
- Macintosh システム — 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは、Macintosh システムの設定時に設定したユーザー アカウントで、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを以下に示す [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力しなければなりません。



- ・ インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。

インターネットに接続している場合は、MathWorks ソフトウェアのインストール (p. 1-2) の説明を参照してください。MathWorks では、インターネット接続を使用してインストールとアクティベーションを行うことを推奨しています。

この手順は、スタンドアロンまたはネットワーク ライセンス オプションをインストールする場合に使用できます。ネットワーク ライセンス オプションでこの方法を使用する場合は、ライセンス ファイルのパスを指定して、ライセンス マネージャーを設定するかどうかを選択しなければなりません。これらの追加ステップの詳細は、サーバーへのライセンス マネージャーのインストール (p. 2-4) を参照してください。

ステップ 1: インストーラーの起動

インストーラーの起動に使用する方法は、プラットフォームによって異なります。

- ・ Windows — システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入するか、MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラー ファイルをダブルクリックします。インストーラーが自動的に起動します。
- ・ Macintosh — システムに接続されている DVD ドライブに MathWorks DVD を挿入するか、製品ファイルを MathWorks Web サイトからダウンロードします。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、アイコンをダブルクリックして DVD の内容を表示し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



InstallForMacOSX

- ・ Linux — システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```

ダウンロードしたファイルからインストールする場合は、アーカイブ ファイルからインストーラーを抽出し、次のインストーラー コマンドを実行します。

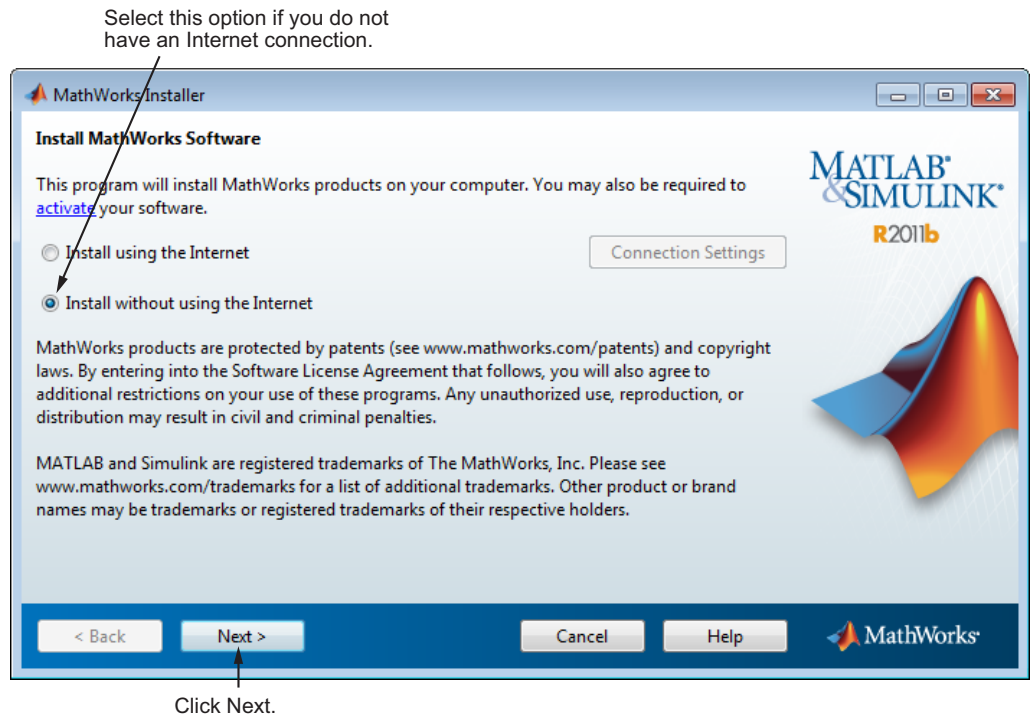
```
./install
```

システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。以下のように入力して、実行権限のあるシステムでマウントしてください。DVD ドライブの名前はお使いのシステムで異なる場合があります。

```
mount -o exec /media/cdrom0
```

ステップ 2: インターネットを使用しないインストールの選択

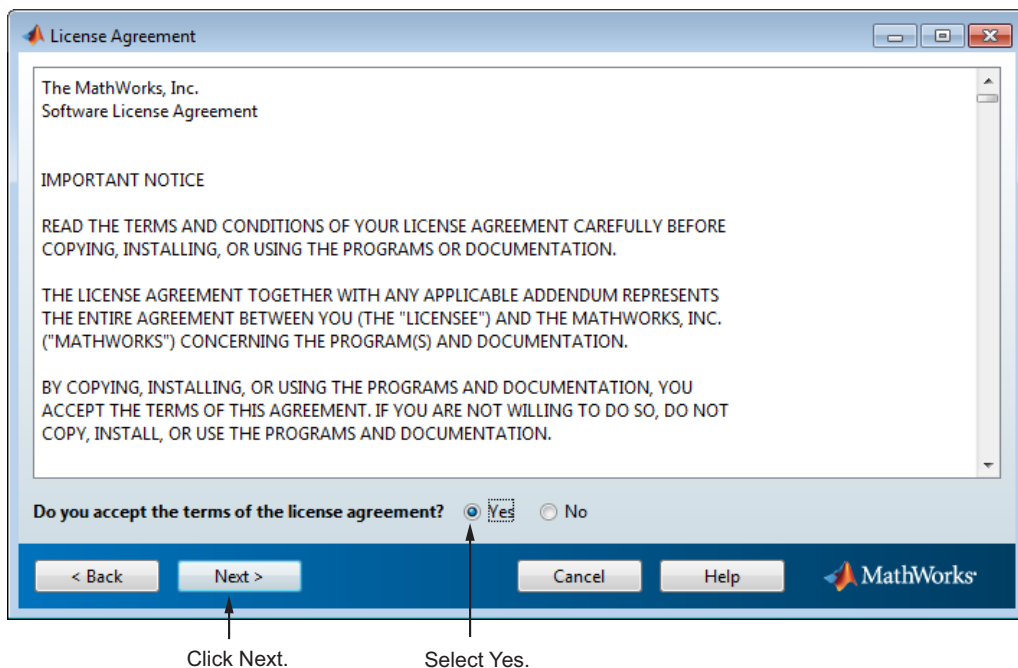
インターネットに接続していない場合は、[インターネットを使わずにインストールする] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。



ステップ 3: ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して、[次へ] をクリックします。

ライセンス許諾書の内容は、インストール後にインストール フォルダーにある license.txt ファイルでも確認できます。

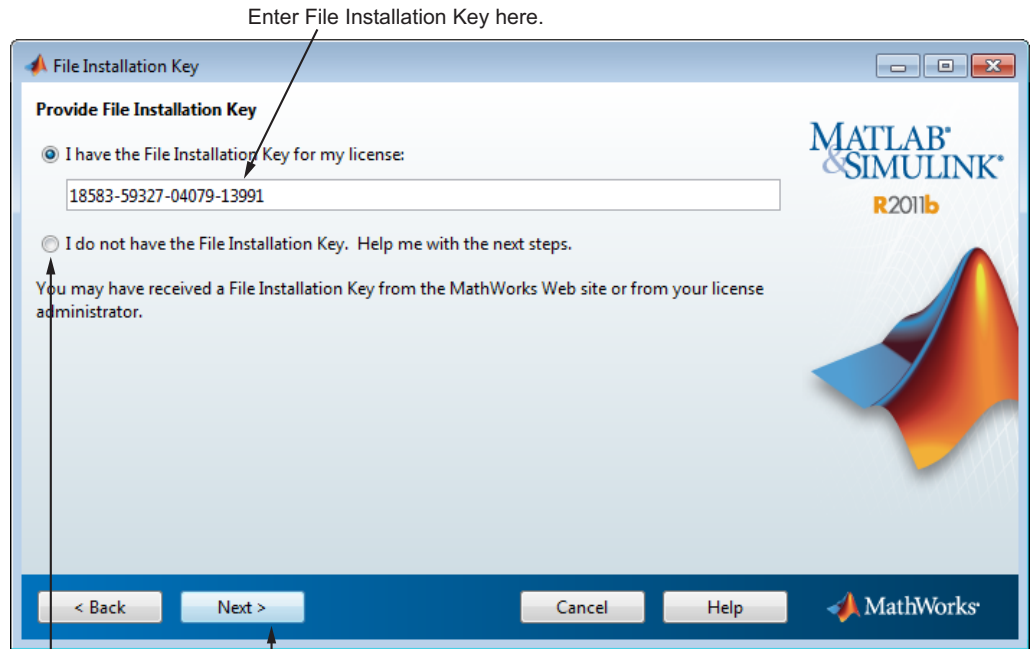


ステップ 4: ファイル インストール キーの指定

インターネットへの接続なしで、手動インストールを選択した場合、[ファイル インストール キー] ダイアログ ボックスが表示されます。ファイル インストール キーでは、インストール可能な製品が特定されます。

キーがある場合は、[ライセンスに対するファイル インストール キーをもっています] オプションを選択して、ファイル インストール キーを入力し、[次へ] をクリックします。ファイル インストール キーは、ライセンス管理者が MathWorks Web サイトのライセンス センターから取得できます。

キーがない場合は、[ファイル インストール キーがありません] オプションを選択して、[次へ] をクリックします。インストーラーによって、キーを取得するために必要な情報が提供されます。



Select this option to gather the information needed to get a File Installation Key.

Click Next.

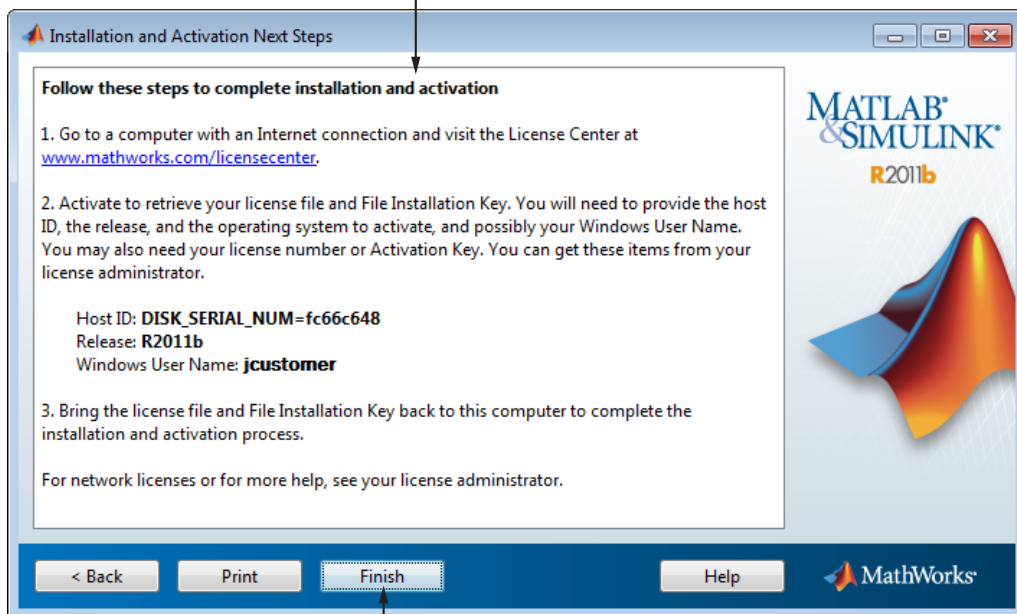
ファイル インストール キーがない場合

[インストールとアクティベーションの次のステップ] ダイアログ ボックスには、MathWorks Web サイトのライセンス センター (License Center) からファイル インストール キーを取得するために必要な情報が表示されます。この情報は、次の項目を含みます。

- ・ ホスト ID
- ・ リリース番号 (例: R2011b)

- ・ オペレーティング システムのユーザー名（アクティベーション時にはユーザー名の
大文字と小文字が区別されます）

Perform this procedure to complete activation.



ファイル インストール キーを取得するには、次の手順に従います。

- 1 このダイアログ ボックスに表示される情報を覚えておき、[終了] をクリックしてインストーラーを終了します。Windows および Linux システムでは、[印刷]/[Print] をクリックして情報を印刷できます。
- 2 インターネットに接続しているコンピューターに移動し、MathWorks Web サイトのアカウントにログインします。
- 3 ライセンス センターにアクセスし、このダイアログ ボックスの情報を入力します。MathWorks では、この情報を使用してファイル インストール キーとライセンス用のライセンス ファイルを生成します。

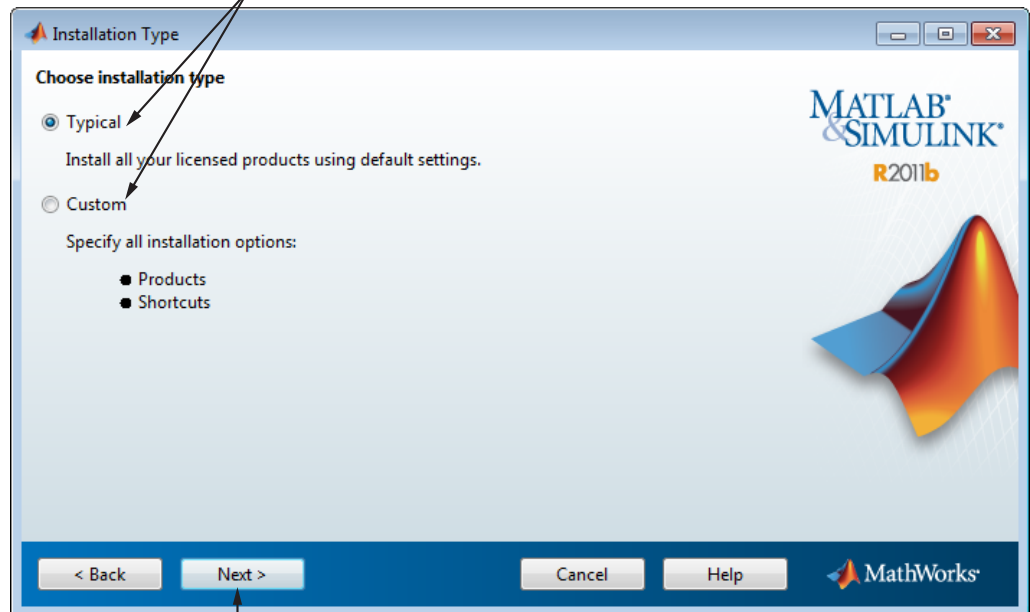
- 4 自分のコンピュータに戻り、インストーラーを再実行します。ファイル インストール キーとライセンス ファイルを入手したので、インターネット接続がなくてもソフトウェアをインストールし、アクティベートできるようになりました。

ステップ 5: インストール タイプの選択

[インストール タイプ] ダイアログ ボックスで、標準インストール、またはカスタム インストールのいずれを実行するかを指定して、[次へ] をクリックします。

- ・ インディビデュアル ライセンスまたはグループ ライセンスをおもちで、インストールする製品を指定する必要がなく、インストール オプションにアクセスする必要がない場合は、[標準] を選択します。
- ・ インストールする製品の指定が必要な場合、インストール オプションへのアクセスが必要な場合、またはライセンス マネージャーのインストール (ネットワーク ライセンス オプションのみ) が必要な場合は、[カスタム] を選択します。

Select Typical or Custom.



Click Next.

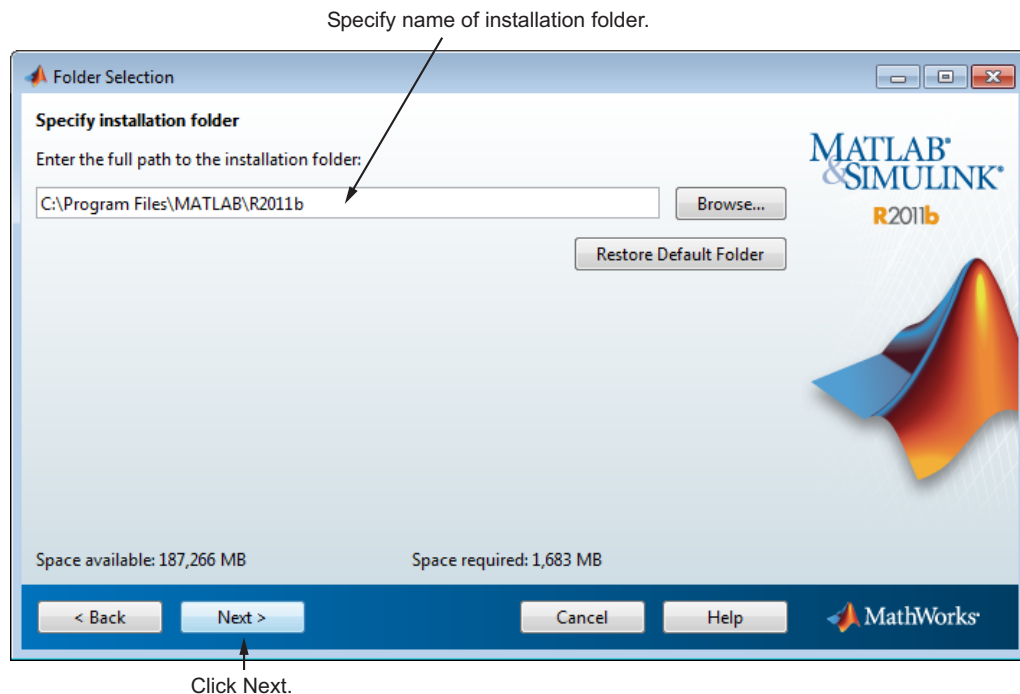
標準インストールを選択すると、インストーラーでは製品の選択とインストールオプションのステップが省略されます。

ステップ 6: インストール フォルダの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダの名前を指定します。既定のインストール フォルダを受け入れるか、[参照] をクリックして別のフォルダを選択します。指定したフォルダが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

Macintosh システムでは、インストーラーによって MATLAB アプリケーション パッケージ、MATLAB_R2011b.app が既定により Applications フォルダに配置されます。

フォルダ名を指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。指定したフォルダ名に許可されていない文字が含まれている場合は、インストーラーによって通知されます。フォルダ名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダに戻す] をクリックします。選択を行ったら、[次へ] をクリックします。



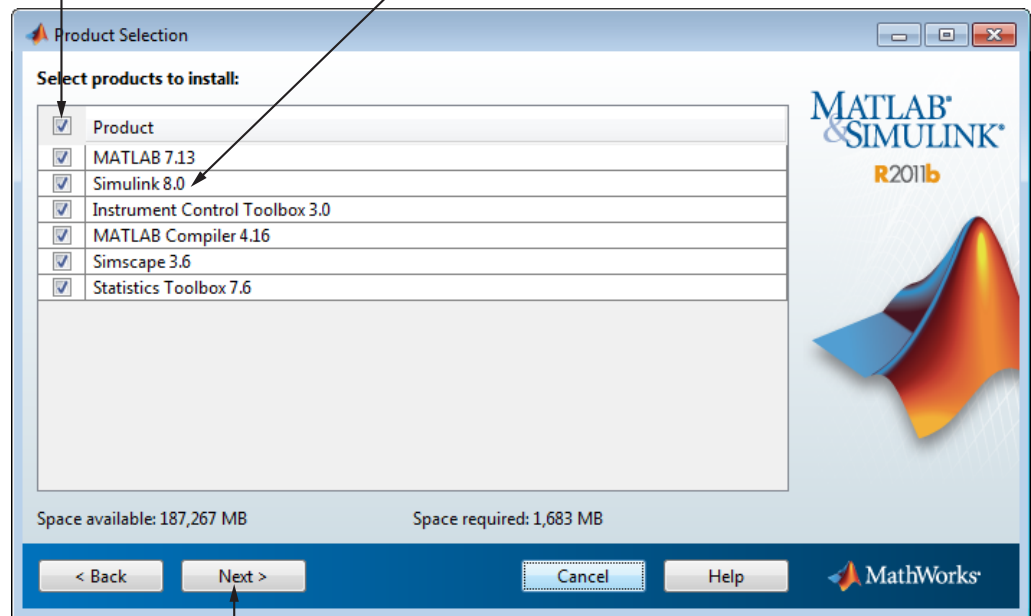
ステップ 7: インストールする製品の指定 (カスタム インストールのみ)

カスタム インストールを行う場合は、[製品選択] ダイアログ ボックスでインストールする製品を指定できます。このダイアログ ボックスには、選択したライセンス、または指定したアクティベーション キーに関連付けられているすべての製品が一覧表示されます。ダイアログ ボックスでは、すべての製品があらかじめ選択された状態になっています。インストールしない製品がある場合は、製品名の横のチェック ボックスをオフにします。

インストールする製品の選択が完了したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

Click here to select or clear all product check boxes.

Select the products you want to install.



Click Next.

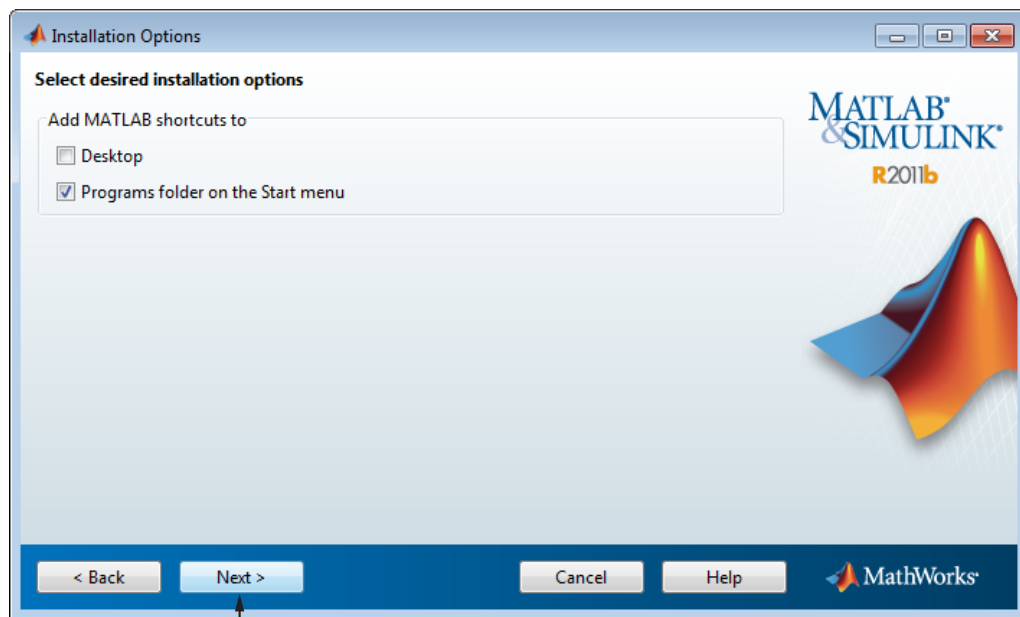
ステップ 8: インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ)

カスタム インストールでは、プラットフォームに応じて次のようないくつかのインストール オプションを指定できます。

Windows システム

Windows では、[インストール オプション] ダイアログ ボックスで、[スタート] メニューとデスクトップに MATLAB ソフトウェアの起動用ショートカットを配置するかどうかを選択できます。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



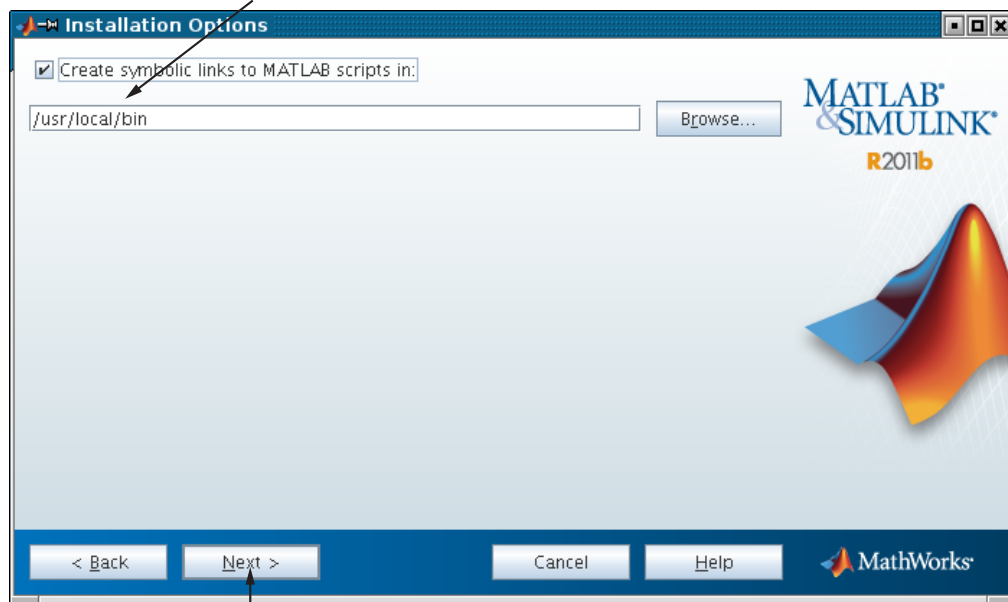
Click Next.

Linux システム

Linux システムでは、matlab および mex スクリプトへのシンボリックリンクを作成するかどうかを指定できます。書き込み権限があり、ユーザーのパスすべてに共通している、/usr/local/bin などのフォルダーを指定してください。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

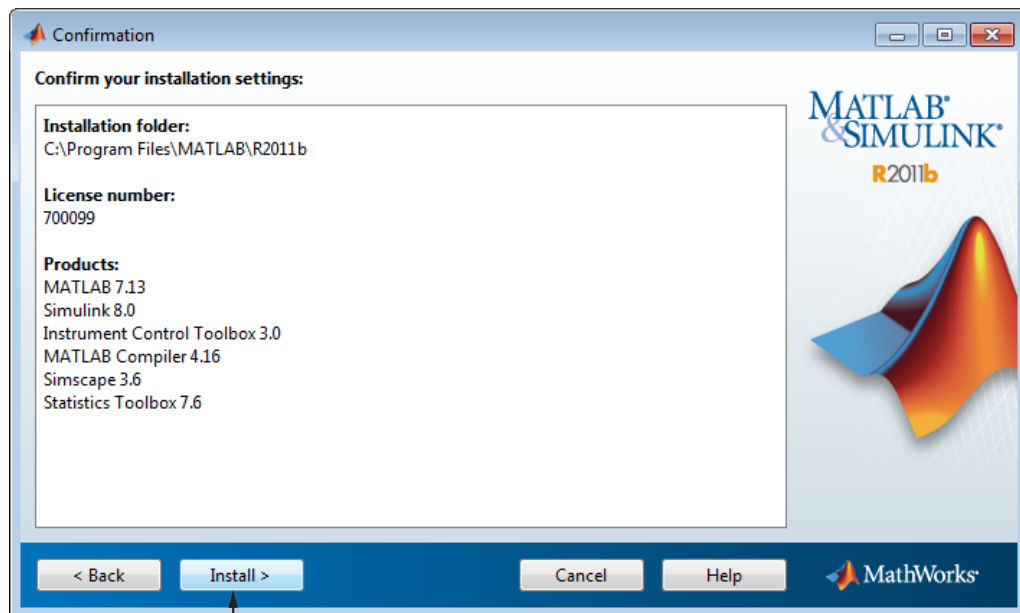
Select this option and specify
the location of symbolic links.



Click Next.

ステップ 9: 選択内容の確認とファイルのコピーの開始

ファイルをハード ディスクにコピーする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには [インストール] をクリックします。



Click Install.

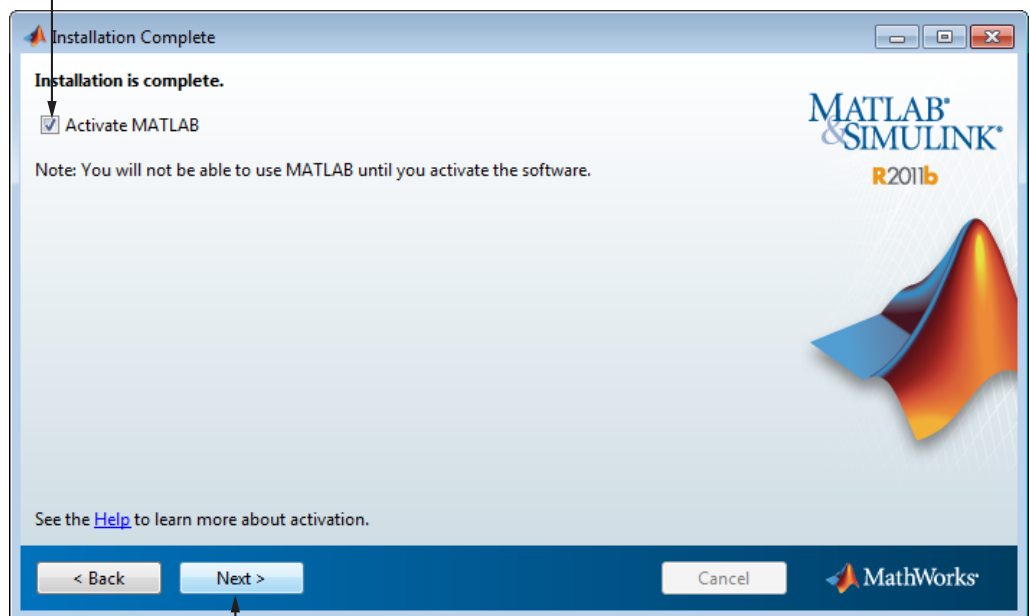
ファイルをハードドライブにコピーしている間は、インストールの進捗状況を示すダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 10: インストールの完了

インストールが正常に終了すると、[インストール完了] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスでは、インストールしたソフトウェアのアクティベーションを選択することができます。インストールしたソフトウェアは、アクティベーションを行うまで使用できません。MathWorks では、インストール後すぐにアクティベーションを行うことを推奨しています。[次へ] をクリックして、アクティベーションを実行します。

アクティベーションを行わずにインストーラーを終了する場合は、[MATLAB のアクティベーション] オプションをオフにして [終了] をクリックします (ボタンのラベルが変わります)。アクティベーション アプリケーションを使用して、後でアクティベーションを行うことができます。

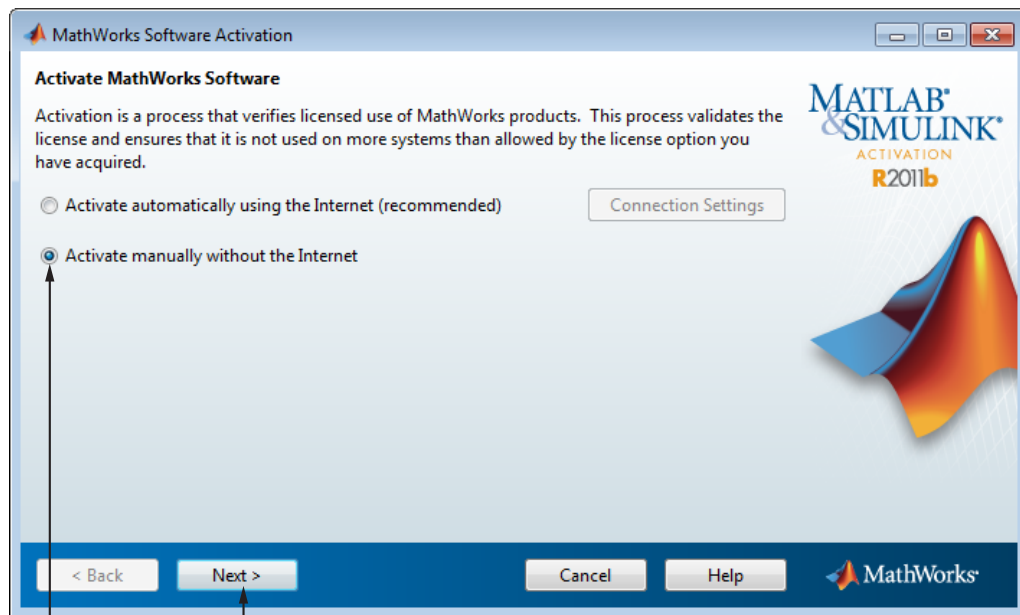
To activate your software, leave this selected.



Click Next to proceed to activation. If you cleared the check box, button label changes to Finish.

ステップ 11: インストールのアクティベーション

インストール中に MathWorks アカウントにログインしなかった場合、またはアクティベーション アプリケーションを単独で起動した場合は、アクティベーションを自動または手動のいずれで実行するかを選択します。[インターネットを使わずに手動でアクティベーションを行う] オプションを選択して、[次へ] をクリックします。



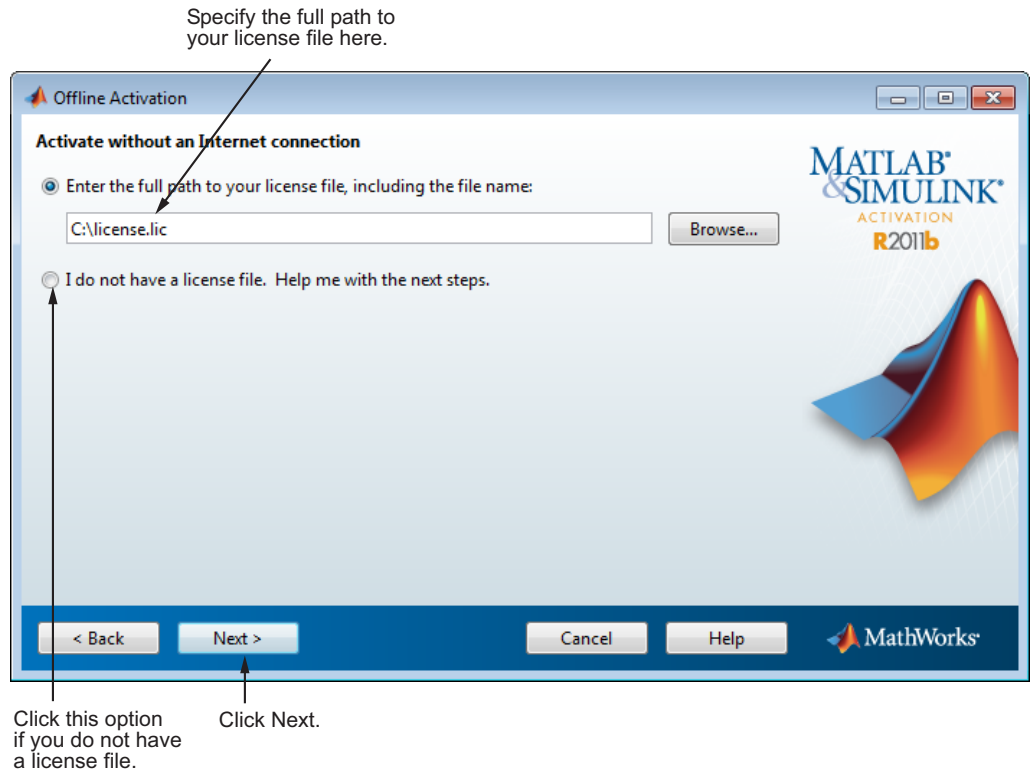
Select this option to activate without an Internet connection.

Click Next.

ステップ 12: ライセンス ファイルのパスの指定

インターネットに接続しないでアクティベーションを行うには、ライセンス ファイルが必要です。ライセンス ファイルでは、実行できる製品が識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからライセンス ファイルを取得できます。[ライセンス ファイルへのパスを入力] オプションを選択し、ライセンス ファイルの絶対パスをテキスト ボックスに入力するか、ファイルをドラッグ アンドドロップして、[次へ] をクリックします。

ライセンス ファイルがない場合は、[ライセンス ファイルをもっていません] オプションを選択し、[次へ] をクリックして、ライセンス ファイルの取得方法に関する情報を入手します。



ライセンス ファイルがない場合

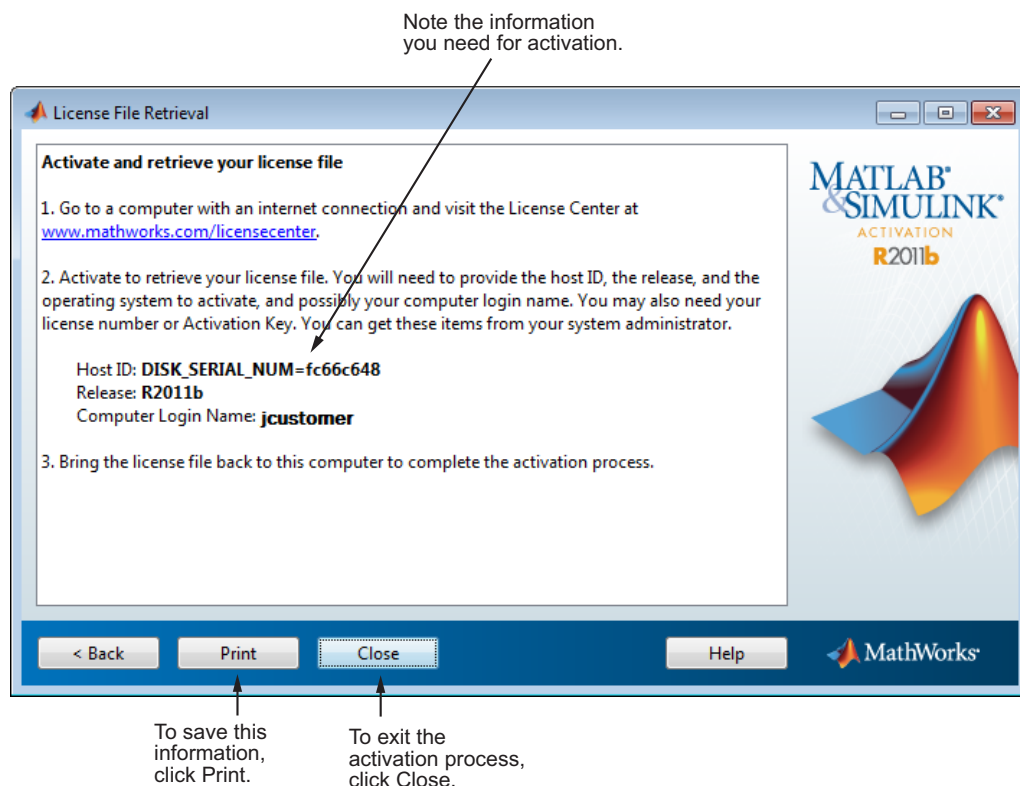
手動でアクティベーションを行い、ライセンス ファイルがない場合は、[ライセンス ファイルの取得] ダイアログ ボックスにライセンス ファイルの取得方法とアクティベーションの完了方法についての説明が表示されます。このダイアログ ボックスには、ライセンス ファイルの取得に必要な以下の情報が表示されます。

- ・ ホスト ID
- ・ リリース番号 (例: R2011b)
- ・ オペレーティング システム ユーザー名 (アクティベーションではユーザー名の大文字と小文字が区別されることに注意してください)

このダイアログ ボックスに表示されている情報を保存します。たとえば、[印刷] ボタンをクリックして情報を印刷することができます。この情報を使用して、インターネット

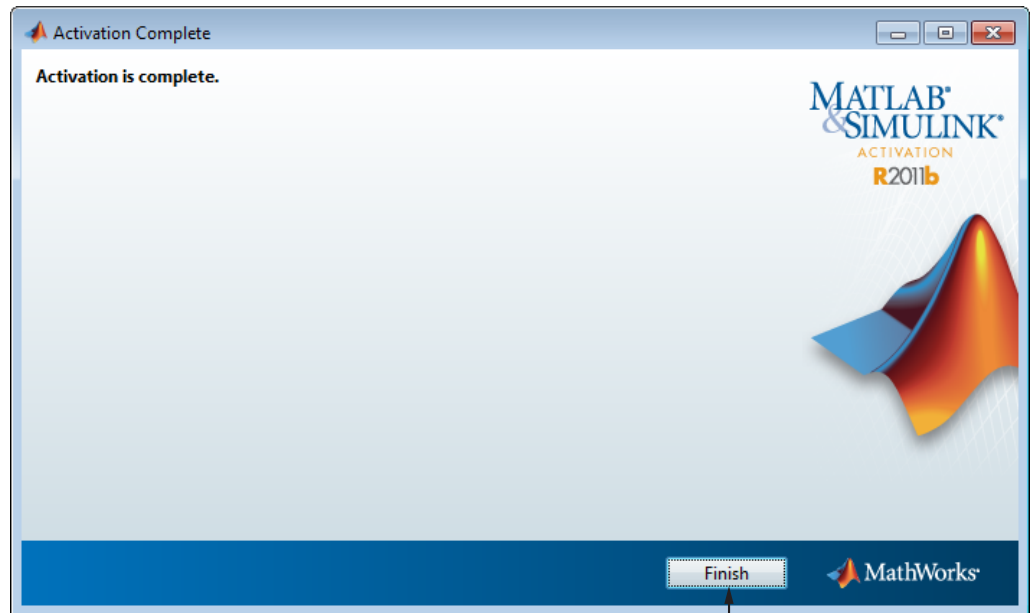
に接続されているコンピューターで、MathWorks Web サイトのライセンス センター (License Center) にアクセスします。MathWorks では、この情報を使用してファイル インストール キーとライセンス ファイルが生成されます。またこの情報は、ソフトウェアをインストールしてアクティベートするコンピューターでも必要になります。アクティベーション アプリケーションを終了するには、[終了] をクリックします。

メモ: インストールのアクティベーションは行われません。ライセンス ファイルを取得するまでは MATLAB を実行することはできません。



ステップ 13: アクティベーションの完了

インストールをアクティベートした後、[終了] をクリックしてアクティベーション プロセスを完了します。



Click Finish.

インストール後の作業

この節の内容...

MATLAB ソフトウェアの起動 (p. 1-58)
ライセンスの更新 (p. 1-59)
MATLAB 起動フォルダーの設定 (p. 1-59)
MATLAB 環境オプションの設定 (p. 1-59)
MATLAB ソフトウェアに関する情報ソース (p. 1-59)

MATLAB ソフトウェアの起動

MATLAB ソフトウェアの起動に使用する方法は、プラットフォームによって異なります。

- Windows システム:
 - Windows 7 を実行しているシステムでは、Windows の [スタート] メニューをクリックしてから [MATLAB R2011b] を選択します。
 - Windows XP を実行しているシステムでは、Windows の [スタート] メニューをクリックし、[プログラム]、[MATLAB]、[R2011b] を選択し、[MATLAB R2011b] をクリックします。
 - [インストール オプション] ダイアログ ボックスでデスクトップにショートカットを作成する場合は、MATLAB アイコンをダブルクリックします。



- matlabroot/bin* に移動します。ここで、*matlabroot* は MATLAB をインストールしたフォルダーです。*matlab.exe* をダブルクリックします。
- Linux システム
 - matlab* コマンドをシステム プロンプトで入力します。インストール中に [インストール オプション] ダイアログ ボックスでシンボリック リンクを設定しなかった場合は、絶対パス名 *matlabroot/bin/matlab* を入力しなければなりません。ここで、*matlabroot* は MATLAB インストール フォルダーの名前です。
- Macintosh システム

- － インストール フォルダーに移動し、MATLAB アイコンをダブルクリックします。



ライセンスの更新

ライセンス契約期間中、MATLAB インストールは定期的に MathWorks と通信して、ライセンスが最新のものであることを確認します。ライセンスが最新のものである場合、ユーザーは検証の過程に気が付きません。検証プロセスによってライセンスの更新が必要であると判断されると、ライセンス更新のオプションを提供するダイアログ ボックスが表示されます。

この検証プロセスは、MathWorks Web サイトのライセンス センターで無効にすることができます。ステップごとの説明は、ライセンス センターのヘルプを参照してください。

MATLAB 起動フォルダーの設定

デスクトップのショートカットを使用して MATLAB を起動する場合、初期の現在のフォルダー（または起動フォルダー）は My Documents¥MATLAB になります（ステップ 9: インストール オプションの選択（カスタム インストールのみ）（p. 1-22）でインストーラーによってこのショートカットを作成することを選択できます）。起動フォルダーの指定方法の詳細は、MATLAB の『デスクトップ ツールと開発環境』ドキュメンテーションを参照してください。

MATLAB 環境オプションの設定

ようこそメッセージや既定の定義、または MATLAB の起動時に毎回実行する MATLAB 式を設定するには、`matlabroot\toolbox\local` フォルダーに `startup.m` というファイルを作成します。MATLAB を起動するたびに、`startup.m` ファイルのコマンドが実行されます。`local` フォルダーに `startupsav.m` という名前のサンプルのスタートアップ ファイルがあります。このファイルの名前を変更して、自分のニーズにあったスタートアップ ファイルを作成する開始点として使用することができます。

MATLAB ソフトウェアに関する情報ソース

MATLAB を正常にインストールした後は、MATLAB をすぐに使用したいと思われることでしょう。次の表には、MATLAB を初めて使用する際に役立つ、さまざまな情報源や機能説明のソースをまとめてあります。

タスク	説明
MATLAB とその機能に関する概要を確認する	MATLAB の『ご利用の前に』を参照してください。
本リリースの新機能を確認する	『リリース ノート』を参照してください。
製品を起動する、または、製品のデモ プログラムにアクセスする	MATLAB デスクトップの [スタート] ボタンを使用します。
MATLAB の特定の機能に関する情報を取得する	MATLAB メニュー バーの [ヘルプ] を選択し、HTML 形式でハイパーリンクされた参照先やチュートリアルを表示します。
ドキュメンテーションでは回答が見つからない特定の質問に役立つヘルプを取得する	MathWorks Web サイト (www.mathworks.co.jp) で [サポート] をクリックし、テクニカル サポートの検索エリア (ソリューション) を使用して情報を検索します。

MathWorks 製品の削除（アンインストール）

MathWorks ソフトウェアをコンピューターから削除する方法は、プラットフォームによって異なります。

メモ: ライセンスのアクティベーションの停止とソフトウェアの削除は、2 つの独立した操作です。コンピューターからソフトウェアを削除せずに、ライセンスのアクティベーションを停止することができます。ソフトウェアのアクティベーション停止の詳細は、ライセンスのアクティベーションの停止 (p. 1-66) を参照してください。

Windows システム上の製品の削除

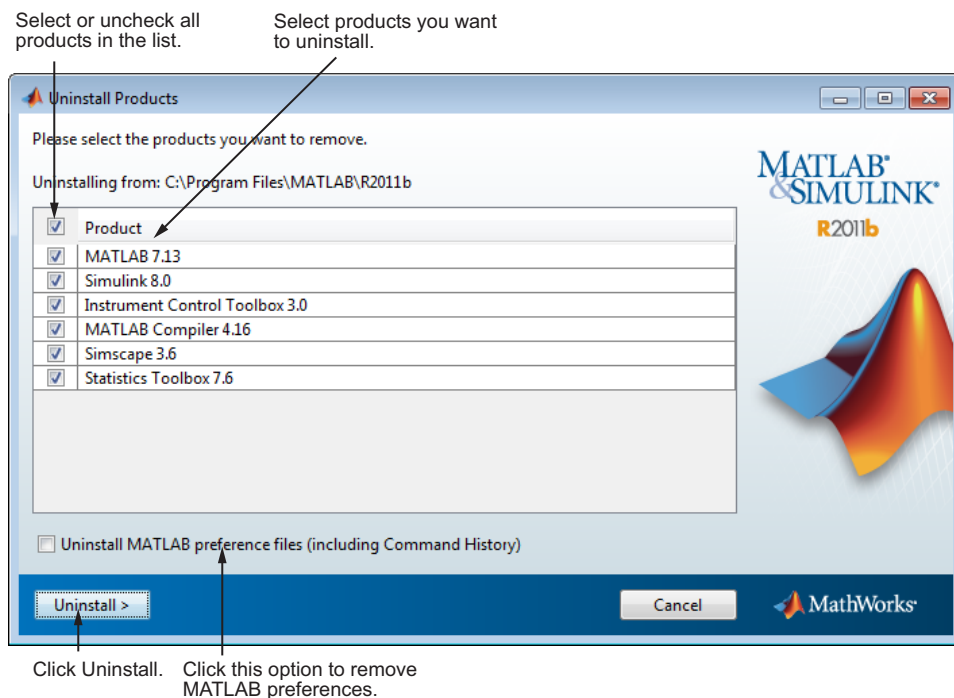
MathWorks 製品をシステムから削除（アンインストール）するには、以下の手順に従います。

- 1 MATLAB ソフトウェアを終了します。
- 2 以下のいずれかの方法を使用して、アンインストーラーを起動します。
 - ・ Windows 7 を実行しているシステムでは、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル] を選択します。[コントロール パネル] で [プログラムと機能] を選択します。表示されている製品の一覧で [MATLAB R2011b] をクリックします。
 - ・ Windows XP を実行しているシステムでは、[スタート] ボタンをクリックし、[設定]、[コントロール パネル]、[プログラムの追加と削除] を選択します。製品の一覧から [MATLAB R2011b] を選択し、[変更/削除] をクリックします。
 - ・ matlabroot/uninstall/bin/\$ARCH フォルダーに移動します。ここで、matlabroot は MATLAB をインストールしたフォルダーで、\$ARCH は win32 などのプラットフォーム固有のサブフォルダーです。アンインストーラーの実行可能ファイル、uninstall.exe をダブルクリックします。

アンインストーラーのプロパティ ファイルを使用してアンインストーラーを非対話モードで実行する方法は、を参照してください。

- 3 [製品のアンインストール] ダイアログ ボックスで、削除する製品を選択し、[アンインストール] をクリックします。

MATLAB を選択すると、他のすべての MathWorks 製品が自動的に削除されます。



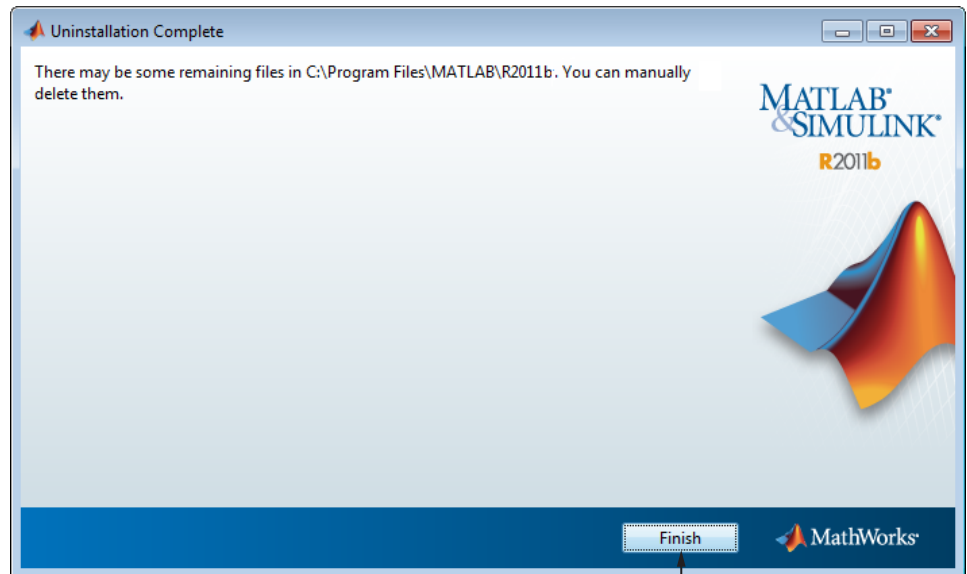
アンインストールしようとしている製品に、別の製品が依存していることを知らせるメッセージが表示される場合があります。たとえば、すべての MathWorks 製品には MATLAB 製品が必要です。メッセージを閉じて製品のアンインストールを続行するには [OK] をクリックします。削除する製品を変更する場合は、[キャンセル] をクリックします。詳細は、製品の依存関係 (p. 3-5) を参照してください。

MATLAB 設定ファイルも削除する場合は、[MATLAB 設定ファイルのアンインストール] チェック ボックスをオンにします。既定では、アンインストーラーはこれらの設定ファイルを削除しません。MATLAB 設定ファイルには、コマンド履歴やヘルプのお気に入りなどの環境設定が含まれています。MATLAB 設定ファイルの保存場所を見つけるには、次に示すように MATLAB プロンプトで `prefdir` コマンドを使用します。

```
prefdir
ans =
C:\WINNT\Profiles\%username%\Application Data\MathWorks\MATLAB\R2011b
```

username の部分には、アンインストーラーを実行するユーザーの名前が入ります。

- 4 (オプション) ダウンロードのアーカイブ ファイルを削除するかどうかを選択します。MATLAB インストール フォルダーにダウンロードした製品のアーカイブ ファイルが含まれる場合は、これらのアーカイブ ファイルを削除するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。これらのアーカイブ ファイルは *matlabroot/archives* フォルダーに格納されています。これらのファイルを削除するには、[はい] をクリックします。
- 5 削除を続行するには [アンインストール] ボタンをクリックします。アンインストーラーでは、操作の進捗状況が表示され、操作が完了するとダイアログ ボックスが表示されます。[終了] をクリックしてアンインストーラーを終了します。MATLAB をアンインストールする場合は、ダイアログ ボックスにインストールのアクティベーションの停止を勧めるメッセージが表示されます。アクティベーションの停止の詳細は、ライセンスのアクティベーションの停止 (p. 1-66)を参照してください。



Click Finish.

Linux システム上の製品のアンインストール

メモ: ライセンスのアクティベーションを停止してソフトウェアを削除する場合は、ソフトウェアを削除する前に、アクティベーションを停止してください。ソフトウェアを削除すると、ソフトウェアのアクティベーションを停止するために使用するアプリケーションも削除されます。アクティベーションの停止の詳細は、ライセンスのアクティベーションの停止 (p. 1-66)を参照してください。

- 1 MATLAB プログラムを終了します。
- 2 ライセンス マネージャーを停止します。ライセンス マネージャーを停止するには、*matlabroot/etc* フォルダーに含まれている *lmdown* ユーティリティを使用します。
- 3 次のコマンドを Linux プロンプトで入力します。

```
rm -rf matlabroot
```

ここで、*matlabroot* は最上位の MATLAB インストール フォルダーの名前を表します。

Macintosh システム上の製品のアンインストール

メモ: MATLAB インストールを削除すると、アクティベーション停止アプリケーションも削除されるため、インストールを削除する前にアクティベーションを停止するのが最適です。ソフトウェアのアクティベーションの停止の詳細は、を参照してください。

MATLAB のインストールを削除するには、次の手順に従います。

- 1 Macintosh システム上の管理者アカウントのユーザー名とパスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアをインストールした場所に応じて、削除するには管理者権限が必要な場合があります。
- 2 MATLAB を終了し、MATLAB のインストールを削除する前にライセンス マネージャーを停止します。*lmdown* コマンドを使用してライセンス マネージャーを停止します。

- 3 MATLAB インストール フォルダーに移動します。たとえば、インストール フォルダーは Applications フォルダー内で MATLAB_R2011a.app という名前が付けられています。
- 4 MATLAB インストール フォルダーをゴミ箱にドラッグし、[Finder] メニューから [ゴミ箱を空に] を選択します。

ライセンスのアクティベーションの停止

ライセンスのアクティベーションを停止すると、特定のコンピューターで MathWorks ソフトウェアが使用できなくなります。アクティベーションの停止は、複数のコンピューターにおけるソフトウェアの使用を管理するために有効な方法です。たとえば、新しいコンピューターにソフトウェアをインストールしてアクティベートする際に、ライセンスで許可されているアクティベーションが既にすべて実行済である場合、1 台のコンピューターで既存のアクティベーションを停止すれば、新しいコンピューターでアクティベーションを実行できるようになります。

アクティベーションを停止するには、2 つの段階があります。まずお使いのコンピューターでライセンスのアクティベーションを停止し、次に MathWorks のシステムでライセンスのアクティベーションを停止します。インターネットに接続している場合は、MathWorks のアクティベーション停止アプリケーションによって、両方の操作が処理されます。インターネットに接続していない場合は、アクティベーション停止アプリケーションによってコンピューターのソフトウェアが無効になり、アクティベーション停止文字列が提示されます。アクティベーション停止処理を完了するには、MathWorks Web サイトにアクセスしてアカウントにログインし、アクティベーション停止文字列を入力しなければなりません。ライセンスのアクティベーションを停止すると、特定のコンピューターで、このライセンスのすべてのインストールに対するアクティベーションが停止されます。

メモ: ライセンスのアクティベーションの停止とソフトウェアの削除は、2 つの独立した操作です。コンピューターからソフトウェアを削除せずに、ライセンスのアクティベーションを停止することができます。インストールの削除の詳細は、MathWorks 製品の削除 (アンインストール) (p. 1-61) を参照してください。

コンピューター上のライセンスのアクティベーションを停止するには、以下の手順に従います。

- 1 以下のいずれかの方法を使用して、アクティベーション停止アプリケーションを起動します。
 - ・ アンインストーラーの実行後に、アクティベーション停止の開始を選択します。
 - ・ 認証確認でインストールが有効でないことが検出された後に、アクティベーション停止の開始を選択します。

- ・ MATLAB デスクトップの [ヘルプ]、[ライセンス] メニューから、アクティベーション停止のオプションを選択します。
- ・ MATLAB インストール フォルダーに移動します。*matlabroot* を実行し、アクティベーション停止アプリケーションの実行可能ファイルを起動します。

Windows システム:

```
matlabroot\uninstall\bin\win32\deactivate_matlab.exe
```

Linux システム

```
matlabroot/bin/deactivate_matlab.sh
```

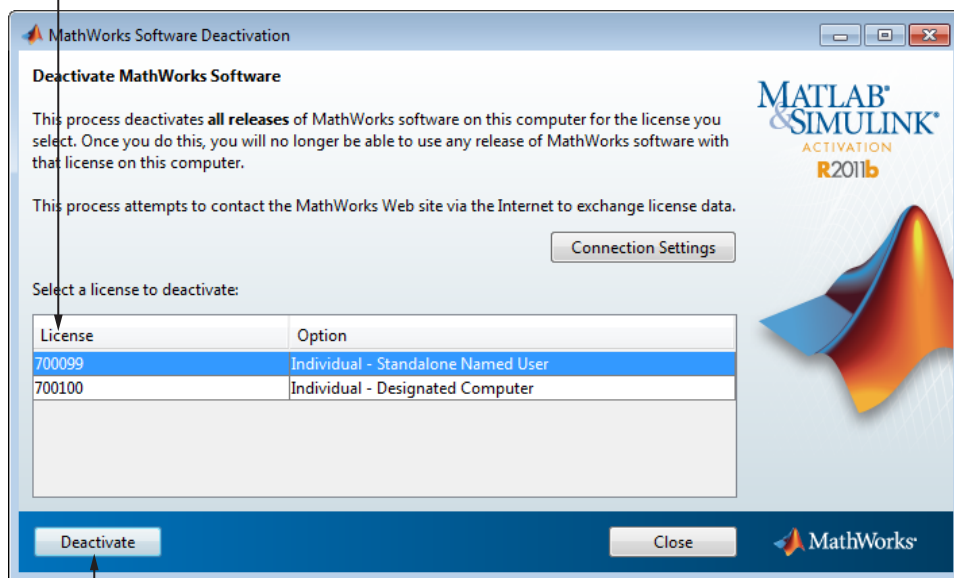
Macintosh システム

```
/Applications/MATLAB_R2011b.app/bin/deactivate_matlab.sh
```

- ・ Windows 7 を実行しているシステムでは、[スタート] ボタンをクリックし、MATLAB を検索します。アクティベーション停止アプリケーションがリストに表示されます。
 - ・ Windows XP を実行しているシステムでは、[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム]、[MATLAB]、[R2011b]、[MATLAB R2011b のアクティベーション停止] を選択することもできます。
- 2 アクティベーションを停止するライセンスを選択して、[アクティベーション停止] をクリックします。

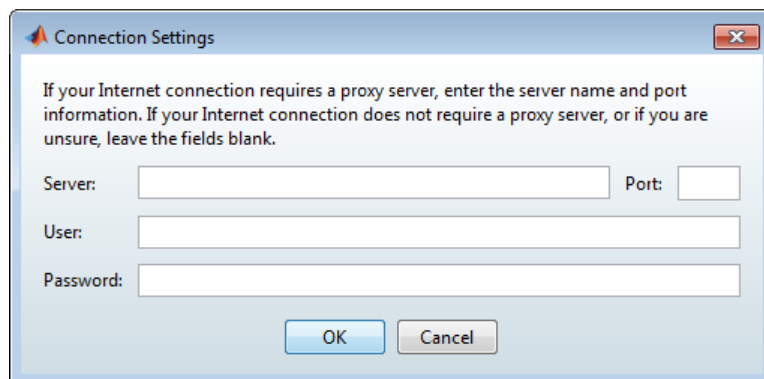
アクティベーション停止アプリケーションが起動すると、現在システムにインストールされていて、アクティベートされているライセンスが表示されます。MATLAB 内からこのアプリケーションを起動すると、使用しているライセンスがあらかじめ選択されています。

Select the license that you want to deactivate.

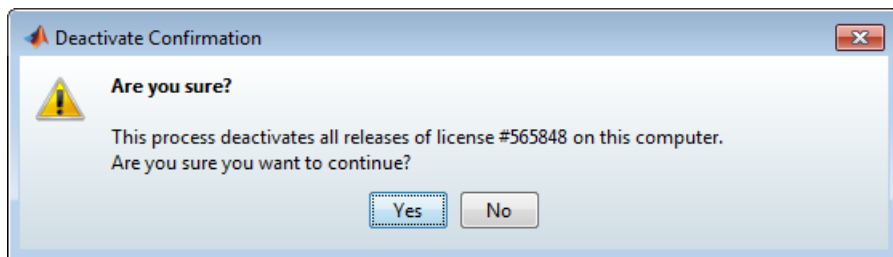


Click Deactivate.

インターネット接続でプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックしてサーバー名とポート情報を入力します。[OK] をクリックして、[MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスに戻ります。

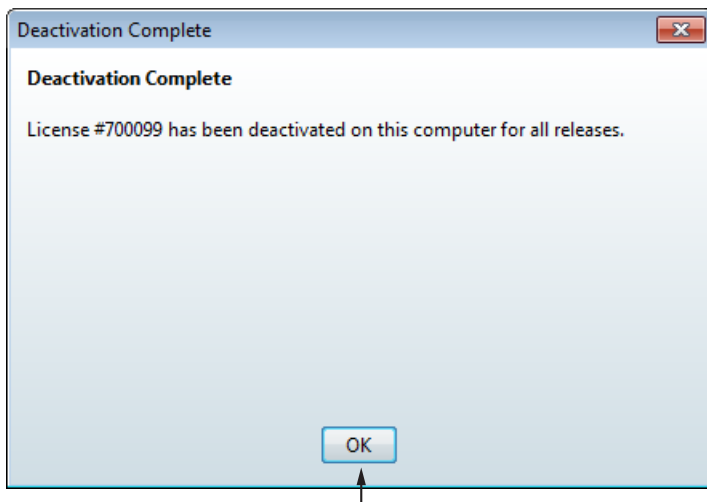


- 3 アクティベーションの停止を確認します。[はい] をクリックすると、アクティベーション停止アプリケーションによって MathWorks への連絡が行われます。



- 4 アクティベーションの停止を完了します。[OK] をクリックします。

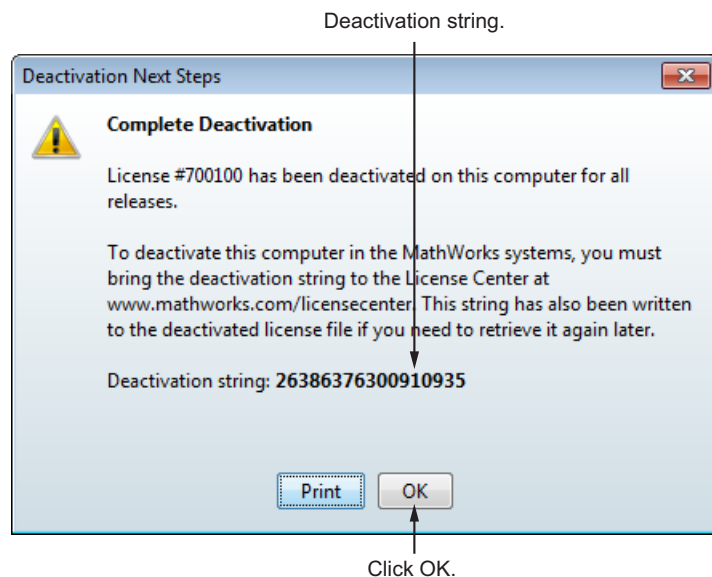
アクティベーション停止アプリケーションによって、コンピューターと MathWorks システムのライセンスのアクティベーションを停止できた場合は、[アクティベーション停止完了] ダイアログ ボックスが表示されます。[OK] をクリックして [MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスに戻ります。必要であれば、このダイアログ ボックスで他のライセンスを選択して、アクティベーションを停止することができます。



Click OK.

アクティベーション停止アプリケーションによってコンピューターのライセンスのアクティベーションが停止でき、MathWorks システムのライセンスのアクティベーショ

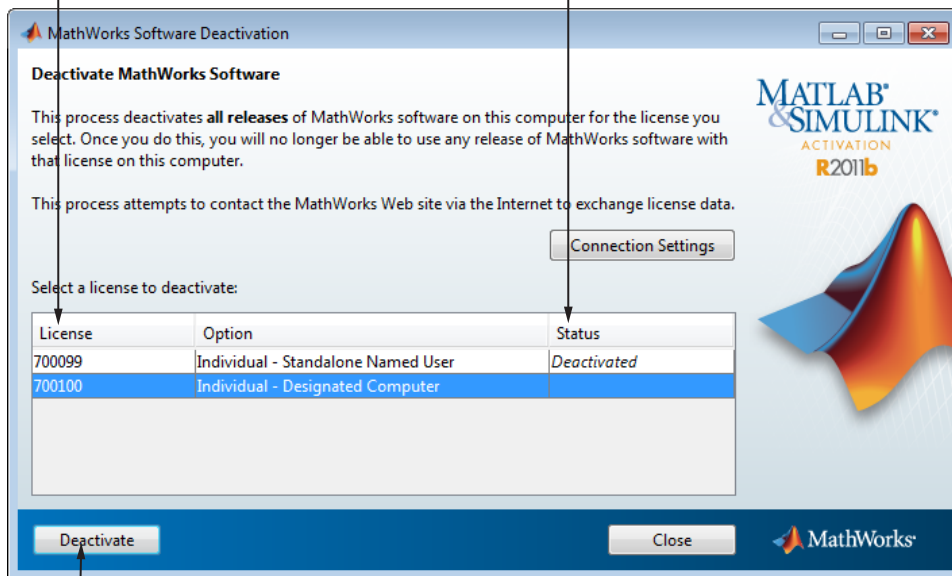
ンは停止できない場合は、[アクティベーション停止の次の手順] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスには、アクティベーション停止文字列が記載されています。アクティベーションの停止を完了するには、MathWorks Web サイトにアクセスしてアカウントにログインし、アクティベーション停止文字列を使用してアクティベーションを停止しなければなりません。詳細は、ライセンス センターのヘルプを参照してください。[OK] をクリックして、[MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスに戻ります。



- 5 ライセンスのアクティベーションの停止後、[MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスには新しい列が追加され、ライセンスの状態が表示されます。別のライセンスのアクティベーションを停止するには、一覧からそのライセンスを選択し、[アクティベーション停止] をクリックします。完了したら、[閉じる] をクリックしてアクティベーション停止アプリケーションを終了します。

Select another license
to deactivate.

Status of license.



Click Close.

システム要件

メモ: システム要件に関する最新情報は、MathWorks Web サイト (www.mathworks.com) を参照してください。

ネットワーク ライセンス オプションのインストール

このトピックでは、[コンカレント] や [ネットワーク ネームド ユーザー] などのネットワーク設定のコンピューターに MathWorks 製品をインストールし、アクティベートする方法を説明します。コンピューターは、次のオペレーティング システムのいずれかを実行できます。

- ・ Microsoft Windows オペレーティング システム (32 ビットまたは 64 ビット)
- ・ Linux オペレーティング システム (32 ビットまたは 64 ビット)
- ・ Mac OS X オペレーティング システム

MathWorks 製品のスタンドアロン インストールの詳細は、1 章, 標準インストールとアクティベーションの手順を参照してください。

- ・ ネットワークの設定 (p. 2-2)
- ・ サーバーへのライセンス マネージャーのインストール (p. 2-4)
- ・ 製品とライセンス情報のクライアントへの提供 (p. 2-26)
- ・ ネットワーク設定におけるクライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール (p. 2-27)
- ・ インストール後の作業 (p. 2-49)
- ・ 非対話モードのインストール (サイレント インストール) (p. 2-60)
- ・ アンインストール プログラムの非対話モードでの実行 (p. 2-62)

ネットワークの設定

ネットワーク設定によっては、複数のインストールを実行しなければならないことがあります。

- ・ サーバーへのライセンス マネージャーのインストール – ネットワーク インストールの場合、製品へのアクセスをコントロールするために FLEXnet[®] ライセンス マネージャーをインストールしなければなりません。ライセンス マネージャーは、すべてのネットワーク ユーザーが利用できるサーバーにインストールします。このドキュメンテーションでは、このサーバーを「ライセンス サーバー」と呼びます。

自分の環境で既に FLEXnet ライセンス マネージャーを実行していて、ライセンスの扱いに慣れている場合は、デーモンを適切なフォルダーにコピーし、既存のライセンス マネージャーを使用することができます。手順を追った説明は、サーバーへのライセンス マネージャーのインストール (p. 2-4)を参照してください。

- ・ MathWorks 製品のサーバーへのインストール – ネットワーク設定において、MathWorks 製品をローカル システムにインストールするのではなく、集中管理された場所から使用する場合は、製品ファイルをサーバーにインストールしなければなりません。このサーバーはライセンス サーバーと同じシステムである必要はありませんが、同じシステムである場合は、MathWorks 製品をライセンス マネージャーと同時にインストールできます。
- ・ 各クライアントシステムへの MathWorks 製品のインストール – ネットワーク設定において、MathWorks 製品を各ユーザーのシステムにインストールし、ネットワークを通じてライセンス サーバーにアクセスする必要がある場合は、製品ファイルを各システムにインストールします。クライアントシステムは、ネットワークを通じてライセンス サーバーに接続できなければなりません。ネットワーク設定におけるクライアントシステムへの MathWorks ソフトウェアのインストール (p. 2-27)を参照。

各ダイアログ ボックスで必要な情報を入力してインストールを対話的に実行する代わりに、インストーラーを非対話モードで実行することができます。このモードでは、通常、インストーラーのダイアログ ボックスを使用して対話形式で入力するすべての情報をプロパティ ファイルに入力します。詳細は、非対話モードのインストール (サイレント インストール) (p. 2-60)を参照してください。

メモ: ネットワークライセンス オプションを使用する場合は、ソフトウェアをアクティベートするためにアクティベーション アプリケーションを実行する必要はありません。代わりに、インストールの前に MathWorks Web サイトのライセンス センターでライセンス サーバーのアクティベーションを行います。クライアント インストールではアクティベーションの必要はありません。

サーバーへのライセンス マネージャーのインストール

この節の内容...

インストール前の準備 (p. 2-4)

ステップ 1: インストーラーの起動 (p. 2-7)

ステップ 2: インターネットを使用してインストールするかどうかの選択 (p. 2-8)

ステップ 3: ソフトウェア ライセンス 許諾書の確認 (p. 2-10)

ステップ 4: MathWorks アカウントへのログイン (p. 2-11)

ステップ 5: インストールするライセンスの選択 (p. 2-14)

ステップ 6: カスタム インストールの選択 (p. 2-15)

ステップ 7: MATLAB をインストールするフォルダーの指定 (p. 2-16)

ステップ 8: インストールする製品の指定 (p. 2-17)

ステップ 9: ライセンス ファイルの場所の指定 (p. 2-19)

ステップ 10: ライセンス マネージャーの設定 (p. 2-20)

ステップ 11: 選択内容の確認 (p. 2-22)

ステップ 12: インストールの完了 (p. 2-25)

メモ: ネットワーク構成において、ライセンス マネージャーと MATLAB ソフトウェアを同じサーバーで実行する必要がある場合は、両方のインストールを同時に実行できます。

インストール前の準備

インストーラーを実行する前に、次の手順を実行します。

- ・ 電子メール アドレスと MathWorks アカウントのパスワードをお手元にご用意ください。これらは、インストール中にユーザー アカウントにログインするために必要になります。ユーザー アカウントに複数のライセンスが関連付けられている場合は、インストールするライセンス番号を確認しておきます。

MathWorks アカウントを所有していない場合は、インストール中にアカウントを作成できます。ただし、アクティベーション キーが必要です。アクティベーション キーは、ライセンスを識別する固有のコードです。ライセンスのアクティベーションに使用します。また、アクティベーション キーを使用することで、ライセンスを受けたエンド ユーザーは MathWorks アカウントにライセンスを関連付けることができます。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。

- ・ ライセンス ファイルを用意します。ネットワーク設定では、サーバーでインストーラーを実行する前にライセンスのアクティベーションを行います。MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスして、ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのホスト ID を入力します。MathWorks によってライセンス ファイルが作成され、ライセンス センターからダウンロードできます。サーバーにライセンス マネージャーをインストールする際に、このライセンス ファイルを指定します。ソフトウェアをアクティベートできるのは、ネットワークライセンス オプションの管理者のみです。
- ・ ライセンス マネージャーを実行中の場合は、ライセンス マネージャーを停止します。詳細は、ライセンス マネージャーの起動 (p. 2-49)を参照してください。
- ・ インストールの実行に適した権限があることを確認してください。これに関する質問は、システム管理者に問い合わせてください。

メモ: 管理者アカウントまたはルート権限を使用してソフトウェアをインストールする場合、権限のあるユーザーに対してソフトウェアをアクティベートする必要は通常ありません。ソフトウェアをアクティベートするときは、ソフトウェアを使用する権限のないエンドユーザーを指定します。管理者権限またはルート権限をもつユーザーとして MATLAB を実行することは推奨しません。

- － Windows システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。インストーラーによってインストール中にシステム レジストリが変更されます。
- － Linux システム – ルート パスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリック リンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスが必要です。
- － Macintosh システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは、Macintosh システムの設

定時に設定したユーザー アカウントで、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを以下に示す [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力しなければなりません。



- ・ インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。

ライセンス マネージャーは、各環境で 1 回のみインストールします。MathWorks ソフトウェアのクライアントへのインストールの詳細は、ネットワーク設定におけるクライアントシステムへの MathWorks ソフトウェアのインストール (p. 2-27)を参照してください。

既存のインストールをアップグレードする場合

MATLAB を最新リリースにアップグレードする場合は、新しいインストール フォルダーに新しいバージョンをインストールすることをお勧めします。ソフトウェアのプレリリース バージョンのインストールをアップグレードする場合も新しいフォルダーにインストールしてください。このリリースをインストールする前に既存の MATLAB を削除する必要はありません。同一システムで MATLAB の複数のリリースを実行することができます。

メモ: ライセンス マネージャーを新しいフォルダーにインストールする場合は、インストーラーを起動する前にライセンス マネージャー サービスを削除するか、ライセンス マネージャーの設定を行わないように選択します。別々のフォルダーにインストールされている場合でも、2 つのライセンス マネージャーを同時に実行することはできません。

ステップ 1: インストーラーの起動

インストーラーの起動に使用する方法は、プラットフォームによって異なります。

- ・ Windows — システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入するか、MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラー ファイルをダブルクリックします。インストーラーが自動的に起動します。
- ・ Macintosh — システムに接続されている DVD ドライブに MathWorks DVD を挿入するか、製品ファイルを MathWorks Web サイトからダウンロードします。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、アイコンをダブルクリックして DVD の内容を表示し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



InstallForMacOSX

- ・ Linux — システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```

ダウンロードしたファイルからインストールする場合は、アーカイブ ファイルからインストーラーを抽出し、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。以下のように入力して、実行権限のあるシステムでマウントしてください。DVD ドライブの名前はお使いのシステムで異なる場合があります。

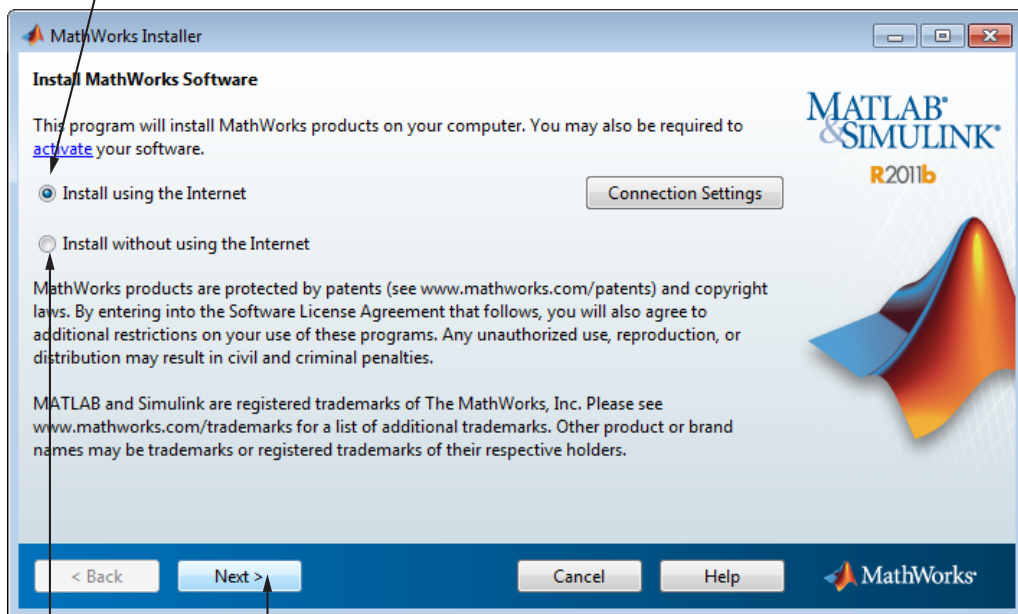
```
mount -o exec /media/cdrom0
```

ステップ 2: インターネットを使用してインストールするかどうかの選択

インターネット接続を使用してインストールするか、使用しないでインストールするかを選択します。インターネットに接続している場合は、既定の [インターネットを使ってインストール] オプションを選択した状態のままで、[次へ] をクリックします。インストール中には、MathWorks アカウントにログインし、インストールするライセンスを選択し、インストーラーの他のダイアログ ボックスの指示に従います。これが、最も簡単なインストール方法です。

インストール中にインターネットに接続していない場合は、[インターネットを使わずにインストール] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。

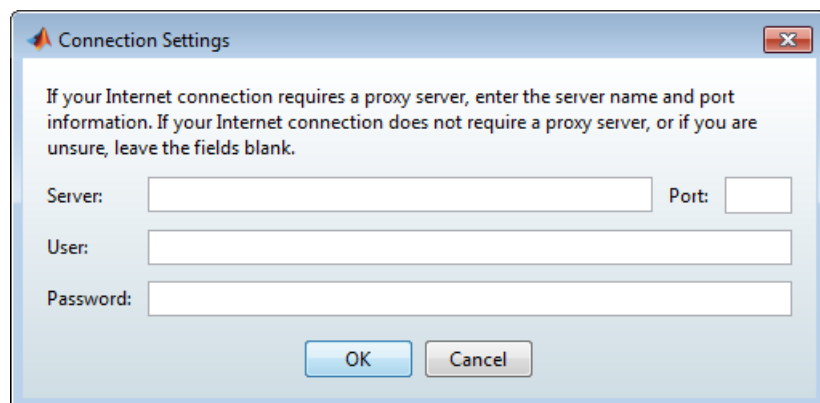
Select this option to install products (recommended).



Select this option if you do not have an Internet connection. Click Next.

メモ: Windows システムでは、インストーラーは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。プロキシ サーバーがログインを要求する場合、インストーラーは、ログイン情報の入力を指示するプロンプトを表示します。

インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックします。[接続設定] ダイアログ ボックスでは、サーバー名、ポート、パスワードを入力することができます。MathWorks では、基本認証とダイジェスト認証のプロキシ設定をサポートしています。



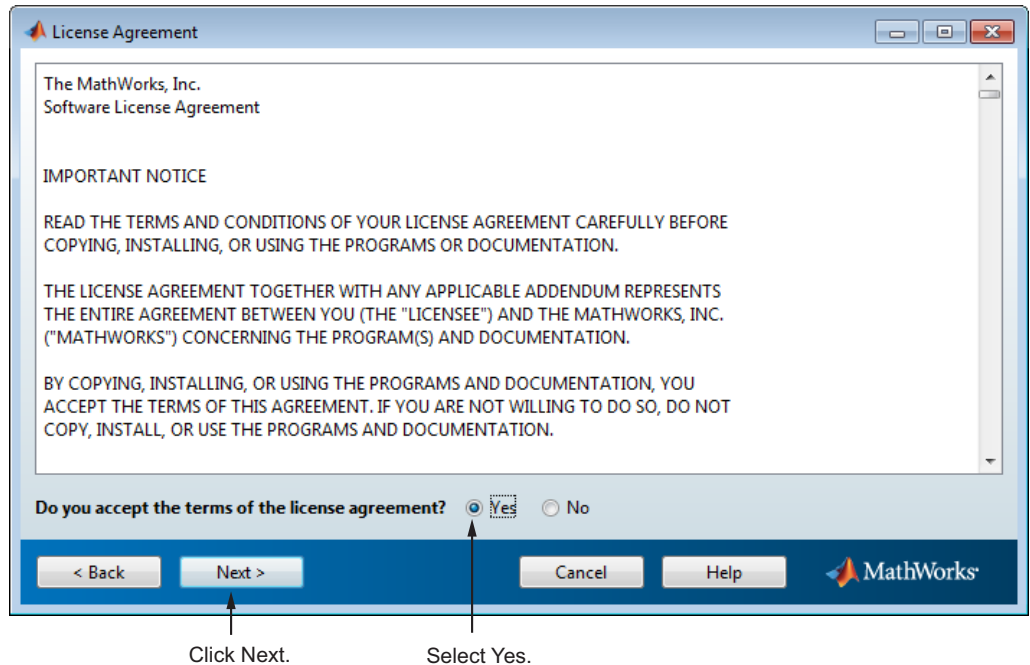
関連するトピック

インストール中にインターネットに接続できない場合は、インターネット接続なしのインストールとアクティベーション (p. 1-40)を参照してください。ネットワーク インストールでは、追加のステップを実行する必要があります。

ステップ 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して、[次へ] をクリックします。

ライセンス許諾書の内容は、インストール後にインストール フォルダーにある license.txt ファイルでも確認できます。



ステップ 4: MathWorks アカウントへのログイン

メモ: ネットワーク ライセンスをアクティベートできるのは、ライセンス管理者のみです。

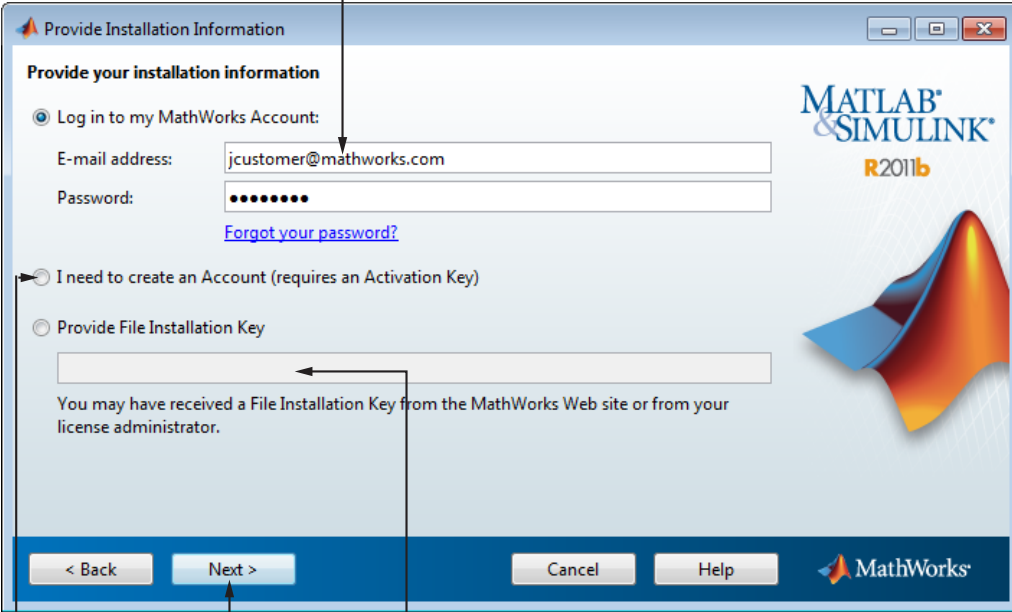

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ]をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。

MathWorks アカウントを所有していない場合は、[MathWorks アカウントを作成する] オプションを選択して [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータを入力することができます。

ファイル インストール キーを所有している場合は、[ファイル インストール キーを指定] オプションを選択して、キーを入力します。ファイル インストール キーでは、インストール可能な製品が識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからファイル インストール キーを取得できます。ファイ

ル インストール キーを指定した場合、インストーラーではライセンスを選択するステップが省略されます。

If you have an account, enter your email address and password.



Log in to my MathWorks Account:

E-mail address: jcustomer@mathworks.com

Password:

[Forgot your password?](#)

☐ I need to create an Account (requires an Activation Key)

☐ Provide File Installation Key

You may have received a File Installation Key from the MathWorks Web site or from your license administrator.

< Back Next > Cancel Help MathWorks

If you need to create an account, select this option.

Click Next.

If you have a File Installation Key, enter it here.

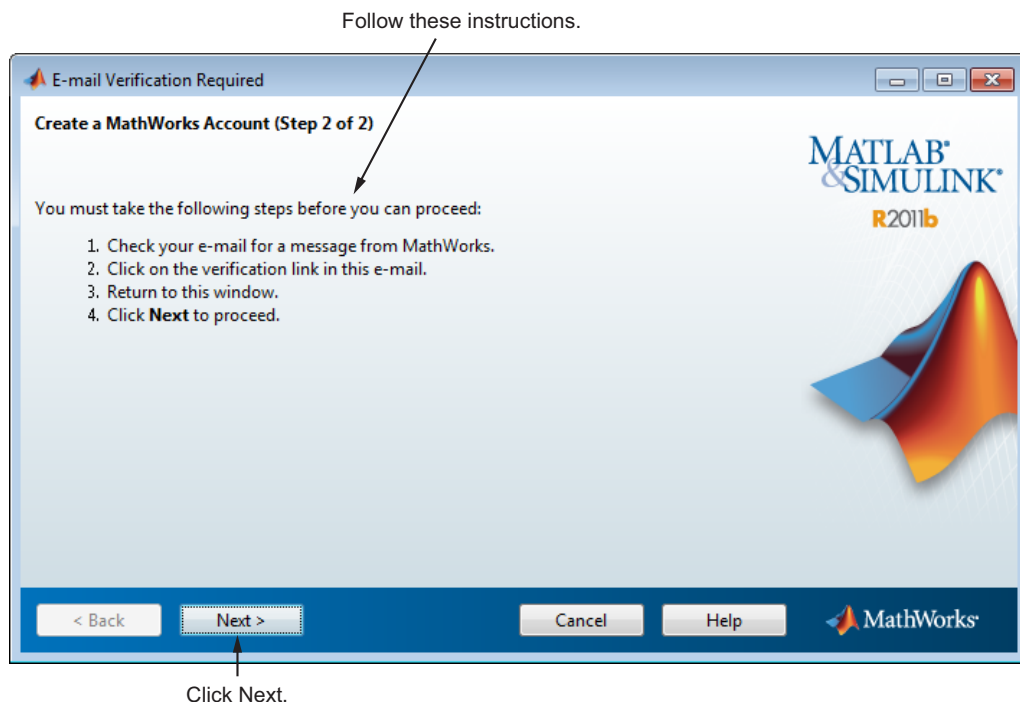
MathWorks アカウントの作成

アカウントを作成するには、電子メール アドレス、姓、名、およびパスワードを入力します。新しく作成したアカウントにはライセンスが関連付けられていないため、アクティベーション キーも入力しなければなりません。アクティベーション キーによって、インストールするライセンスが識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからキーを取得できます。[次へ] をクリックし、この情報を MathWorks に送信してアカウントを作成します。

Enter your e-mail address. Create a password for your account.

Click Next. Enter Activation Key. Enter first name and last name.

メモ: 新しい MathWorks アカウントを作成したら、インストールを続行する前に、電子メール アドレスを確認しなければなりません。[電子メールの確認が必要] ダイアログ ボックスの [次へ] をクリックする前に、電子メール プログラムに移動して MathWorks から送信されたメッセージを開き、確認リンクをクリックします。次に、このダイアログ ボックスに戻り、[次へ] をクリックします。



入力したアクティベーション キーによって特定のライセンスが指定されるため、インストーラーではライセンスを選択するステップが省略されます。

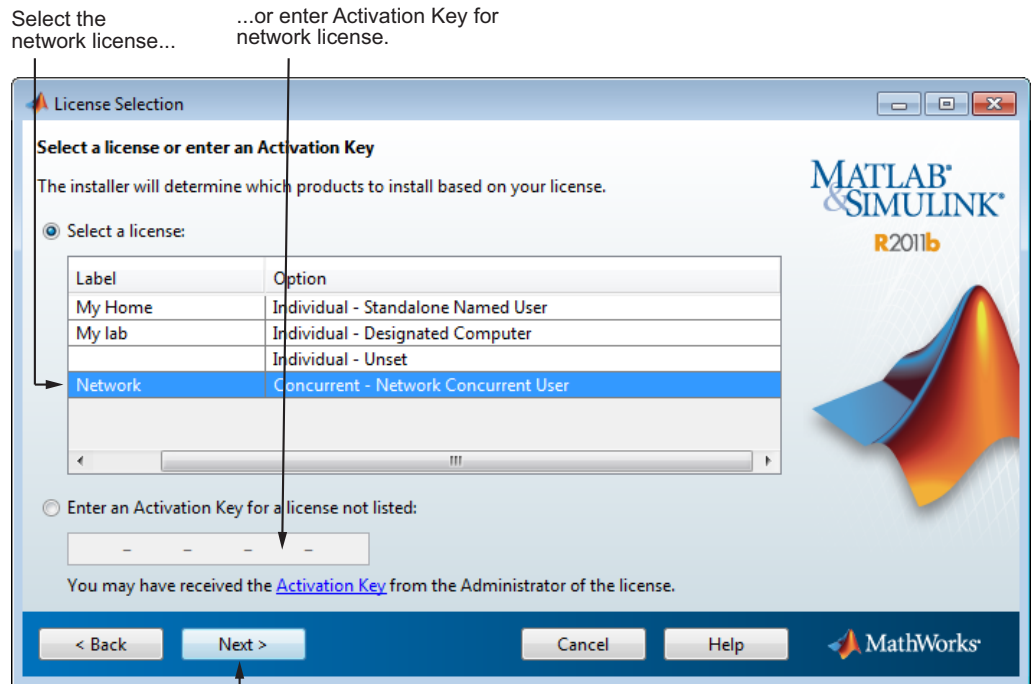
ステップ 5: インストールするライセンスの選択

MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスとネットワーク ライセンス オプションの一覧から、目的のライセンスを選択して [次へ] をクリックします。この一覧には、次のようなライセンスに関する情報が含まれています。

- ・ ライセンス番号
- ・ ライセンスの特定に役立つ、ライセンスの内容を説明するオプションのテキストラベル。ライセンスにラベルを付けるには、MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスします。詳細は、ライセンス センターのヘルプを参照してください。
- ・ ライセンス オプションとアクティベーション タイプを特定する情報。サーバー インストールの場合は、ネットワーク ライセンス オプションが指定されたライセンス

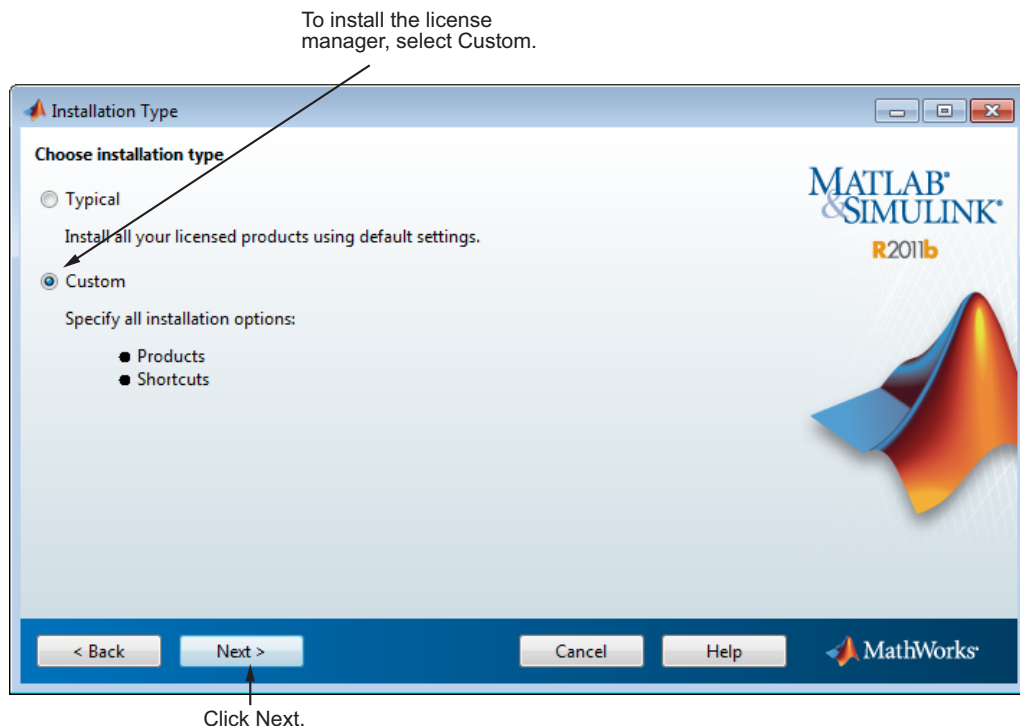
を選択します。アクティベーション タイプが設定されていない場合は、[Unset] と表示されます。

自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスの製品をインストールする場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションを選択し、アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。“アクティベーション キー”とはライセンスを識別する固有のコードです。



ステップ 6: カスタム インストールの選択

ライセンス マネージャーをインストールするには、[カスタム] オプションを選択して、[次へ] をクリックします。

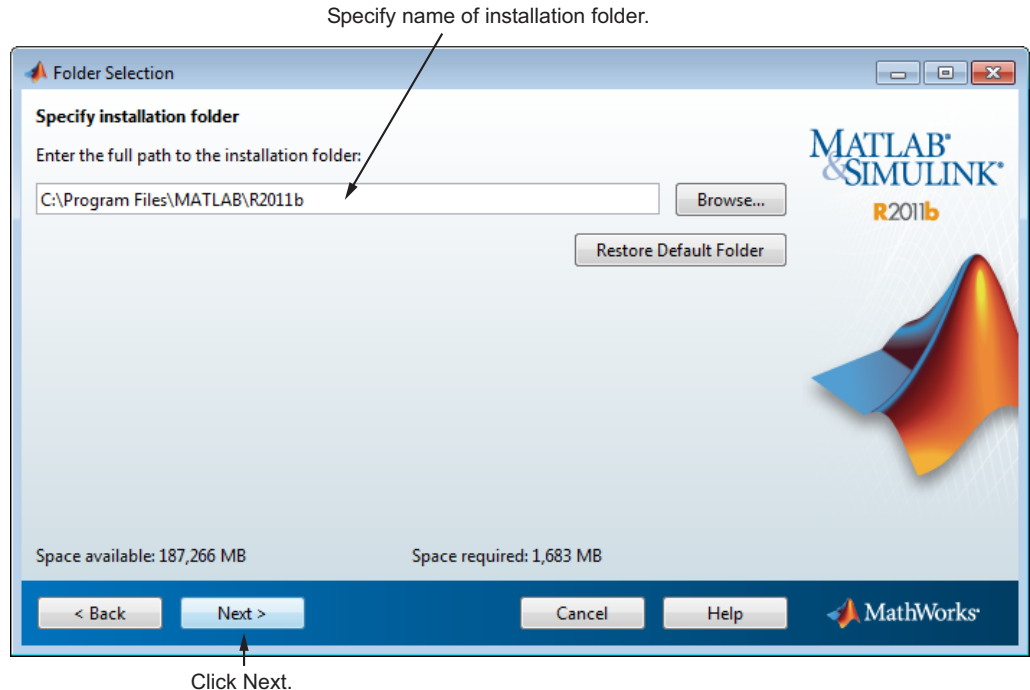


ステップ 7: MATLAB をインストールするフォルダーの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストール フォルダーを受け入れるか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

Macintosh システムでは、インストーラーによって MATLAB アプリケーション パッケージ、MATLAB_R2011b.app が既定により Applications フォルダーに配置されます。

フォルダー名を指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。指定したフォルダー名に許可されていない文字が含まれている場合は、インストーラーによって通知されます。フォルダー名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダーに戻る] をクリックします。選択を行ったら、[次へ] をクリックします。



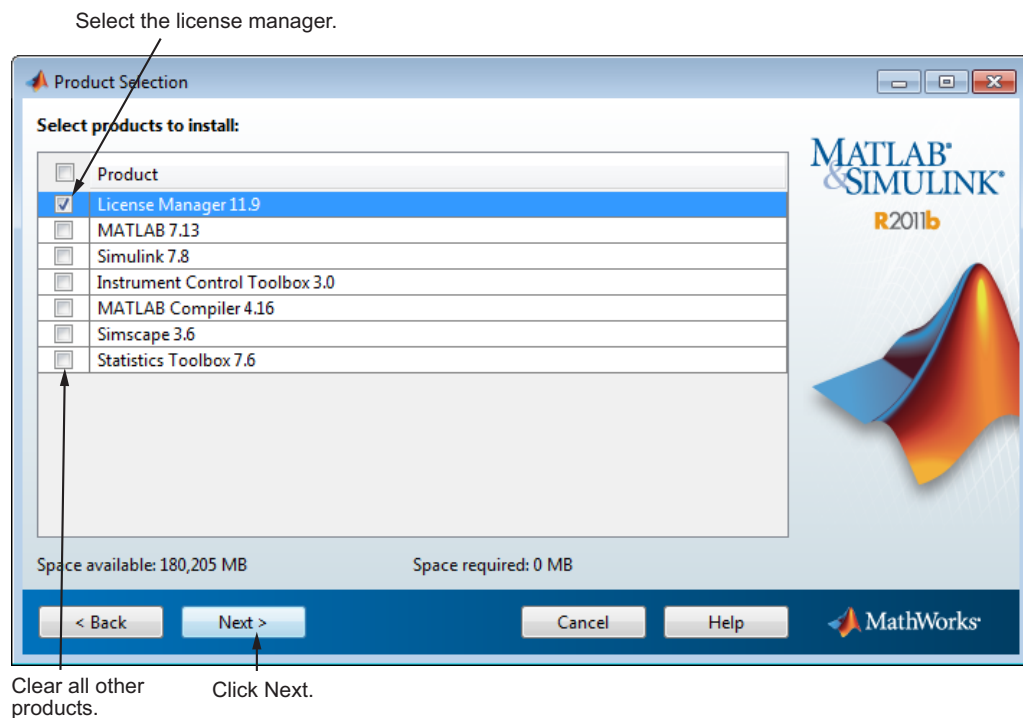
ステップ 8: インストールする製品の指定

ライセンス マネージャーをインストールするには、製品リストでライセンス マネージャーを選択しなければなりません。既定では、ライセンス マネージャーはインストール用に選択されていません。

サーバーにライセンス マネージャーのみをインストールする場合は、他の製品の横にあるチェック ボックスをクリアします。共有サーバー上でユーザーが MathWorks 製品を実行するためのリモートアクセスを設定する場合（さらにこの共有サーバーがライセンス サーバーである場合）には、インストールする製品を選択する一覧のほかのすべての製品は選択されたままの状態にしておきます。

選択が完了したら [次へ] をクリックして続行します。[次へ] をクリックした後、選択した製品の一部が他の製品に依存しているという旨の警告メッセージが表示されることがあります。詳細は、製品の依存関係 (p. 3-5) を参照してください。

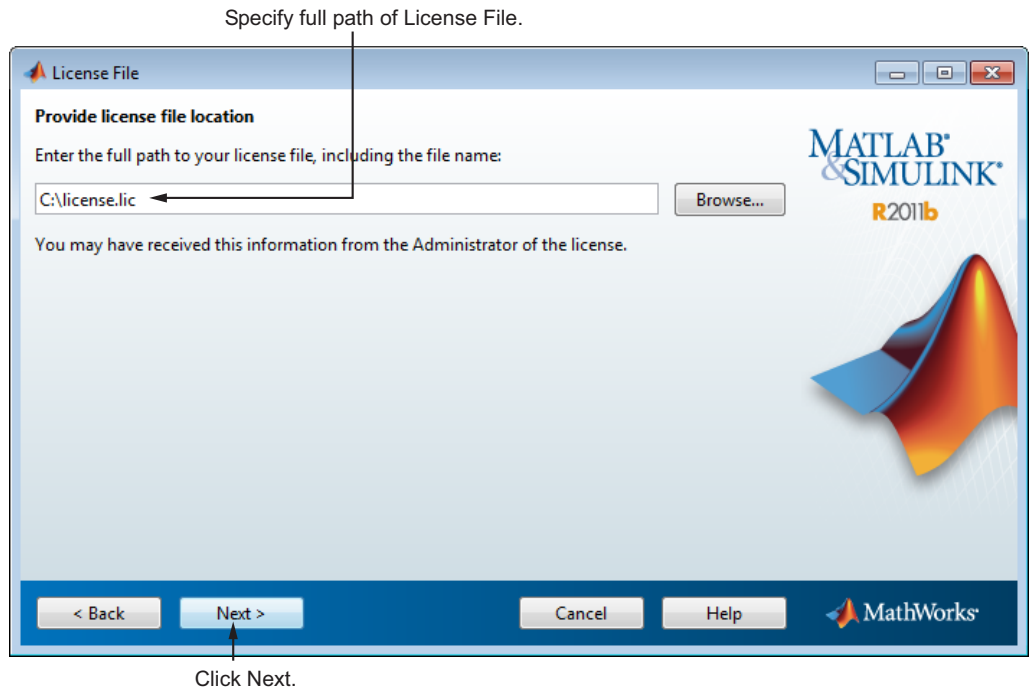
2 ネットワーク ライセンス オプションのインストール



ステップ 9: ライセンス ファイルの場所の指定

テキスト ボックスにライセンス ファイルの絶対パスを入力するか、ファイルをドラッグ アンドロップして、[次へ] をクリックします。

ライセンス マネージャーをサーバーにインストールする場合は、MathWorks Web サイトのライセンス センターから取得したライセンス ファイルを指定します。



サーバーでのライセンス ファイルの処理

ライセンス マネージャーをサーバーにインストールする場合は、MathWorks Web サイトのライセンス センターから取得したライセンス ファイルの場所を指定しなければなりません。インストーラーでは、このライセンス ファイルについて以下の処理が実行されます。

- ・ ライセンス ファイルのコピーを作成して、license.dat という名前を付け、MATLAB インストール フォルダーの ¥etc フォルダーにこのコピーを配置します。

- ・ ファイルに SERVER 行と DAEMON 行を追加します。SERVER 行はサーバー (ホストとポート番号) を識別します。DAEMON 行は、ライセンス マネージャー デーモンの名前を特定します。
- ・ 処理したライセンス ファイルは *matlabroot/etc* に格納します。ここで、*matlabroot* は MATLAB をインストールしたフォルダーです。

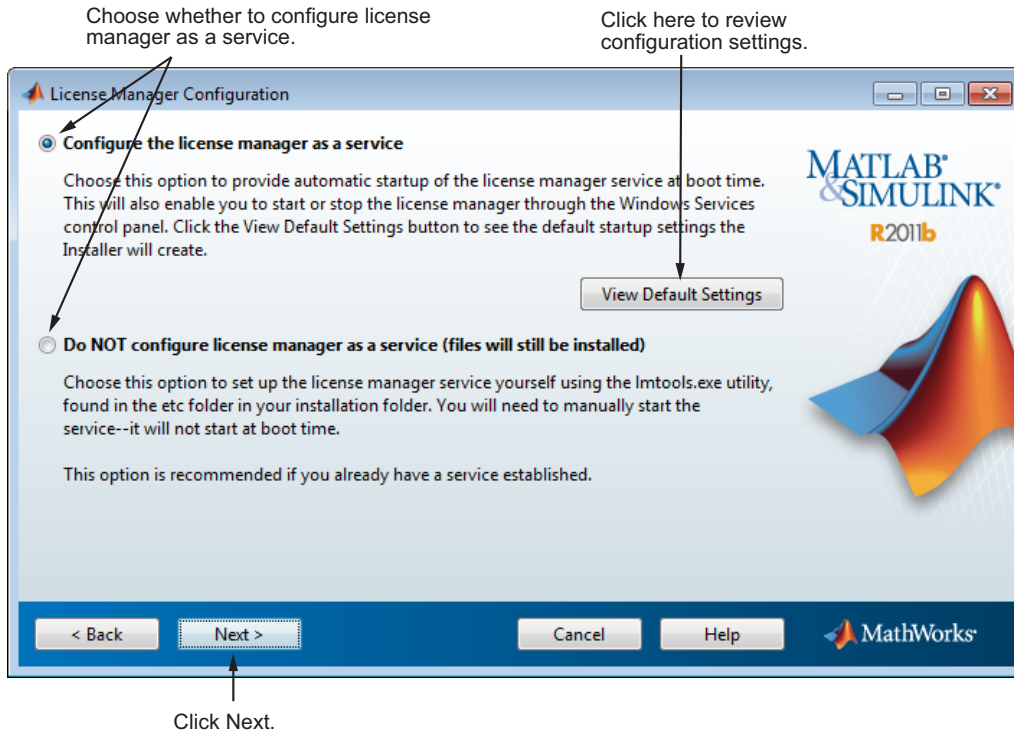
ステップ 10: ライセンス マネージャーの設定

ライセンス マネージャーは、インストールするプラットフォームに応じて異なる方法で設定します。

Windows システム

MathWorks では、ライセンス マネージャー サービスを設定するように推奨します。これにより、システム起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動され、Windows のサービス コントロール パネルでライセンス マネージャーを集中管理できます。既定のライセンス マネージャー設定を確認するには、[既定の設定の表示] をクリックします。ライセンス マネージャー サービスを設定しないように選択した場合は、後から設定することができます。

メモ: 新しいライセンス マネージャーをインストールするまで、既存のライセンス マネージャー継続して使用する場合は、[ライセンス マネージャー サービスを設定しない] オプションを選択します。この場合でも、ライセンス マネージャー ファイルはインストールされます。インストールが完了したら、既存のライセンス マネージャーを停止して、新しいライセンス マネージャーを起動します。

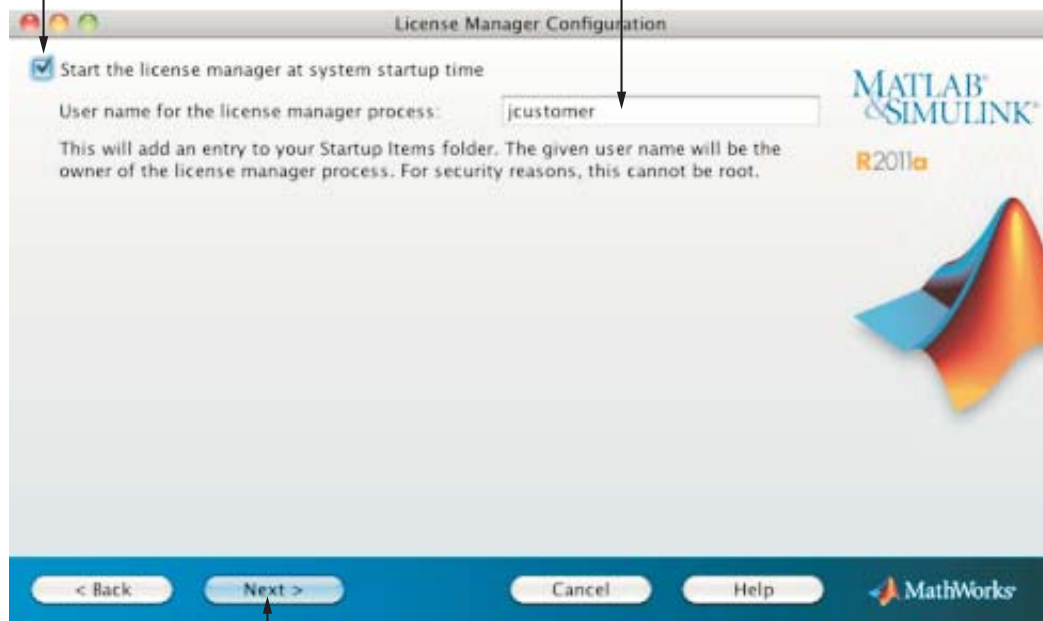


Macintosh システム

ライセンス マネージャーのエントリをシステムの起動項目フォルダーに追加するには、オプションが選択されたまま [Next] をクリックします。ライセンス マネージャープロセスを所有するユーザーの名前を指定します。セキュリティ上の理由で、この名前をルートにすることはできません。

Choose whether to configure the license manager to start automatically at startup time.

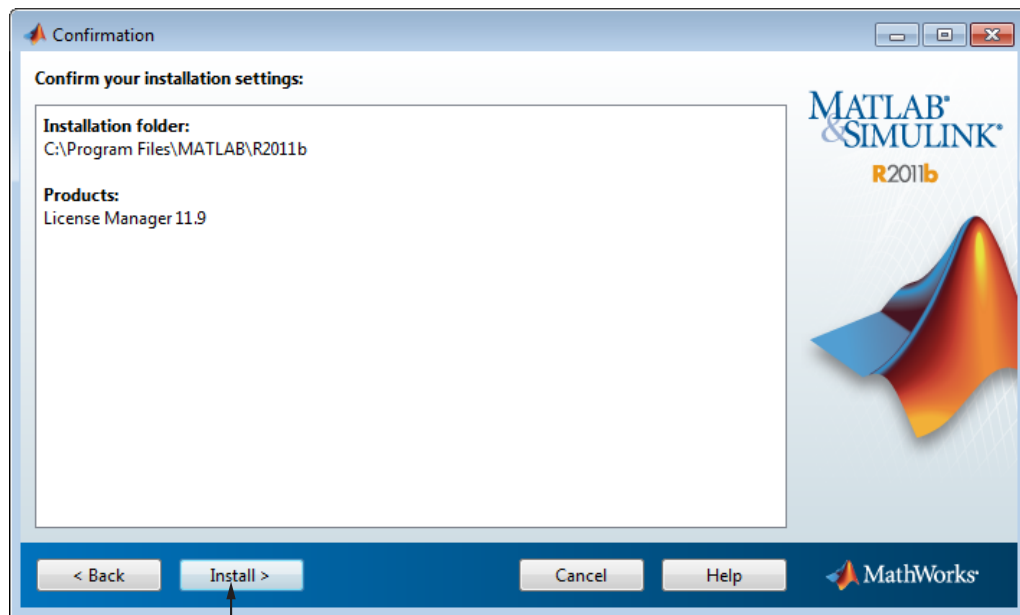
Enter the user name that owns the license manager process.



Click Next.

ステップ 11: 選択内容の確認

ファイルをハード ディスクにコピーする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには [インストール] をクリックします。



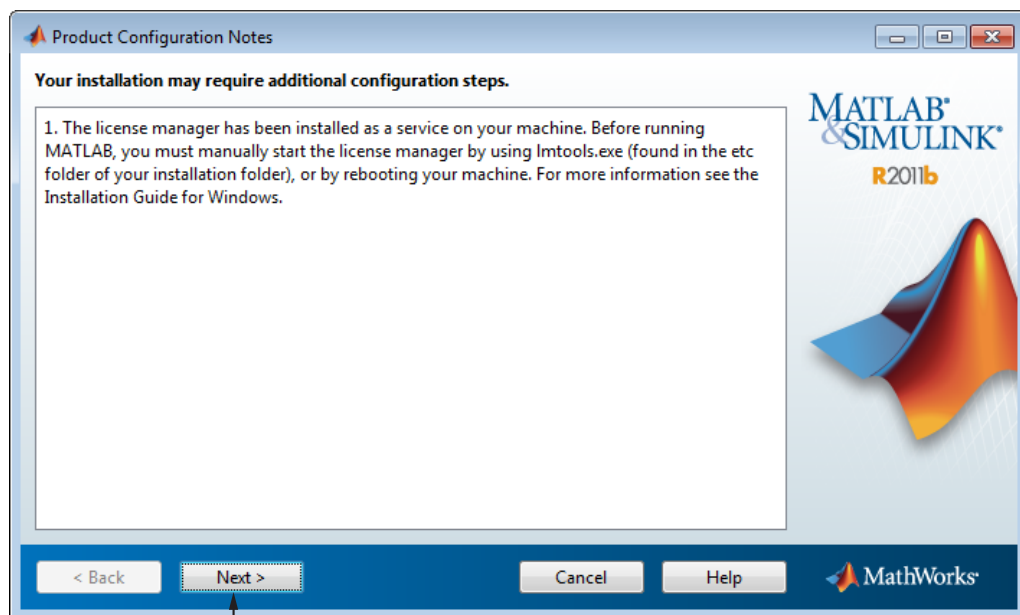
Click Install.

ファイルをハードドライブにコピーしている間は、インストールの進捗状況を示すダイアログ ボックスが表示されます。

製品設定に関するメモの確認

インストーラーに、サーバーでライセンス マネージャーを起動する方法の情報が表示されます。他の製品をインストールした場合は、この他の製品設定や製品更新に関する情報が表示されることもあります。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

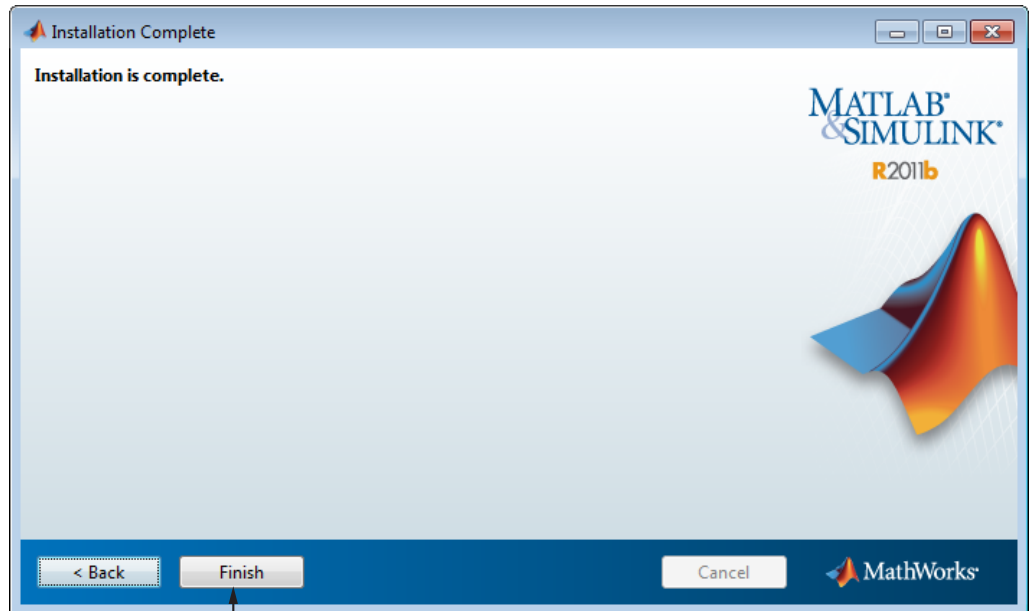


Click Next.

ステップ 12: インストールの完了

インストーラーが終了すると、[インストールの完了] ダイアログ ボックスが表示されます。[終了] をクリックしてインストーラーを終了します。

ライセンス マネージャーをサービスとしてインストールした場合は、ここでコンピューターを再起動することを推奨します。クライアントシステムで MATLAB を起動するには、ライセンス マネージャーが実行中でなければなりません。ライセンス マネージャーはサービスなので、システムの起動時に自動的に開始されます。



Click Finish.

製品とライセンス情報のクライアントへの提供

ライセンス マネージャーをサーバーにインストールした後、MathWorks 製品のインストールを希望するユーザーに以下のものを提供します。

- ・ ライセンス情報 - サーバーでのライセンス マネージャーのインストール時に処理したライセンス ファイルのコピーを、ユーザーに提供します。このライセンス ファイルの詳細は、サーバーでのライセンス ファイルの処理 (p. 2-19)を参照してください。

メモ: クライアントへのインストールを行うユーザーには、ライセンス電子メールから作成したオリジナルのライセンス ファイルのコピーは提供しないでください。これらのユーザーは、この形式のライセンス情報を使用することができません。また、MathWorks から受信したライセンスを付与する電子メールをユーザーに転送することも避けてください。

製品ファイルへのアクセスをどのように提供するかによって、クライアントへのインストールを行うユーザーに、ライセンスのファイル インストール キーか、ライセンスのアクティベーション キーを提供しなければなりません。

- ・ 製品ファイルへのアクセス - クライアントへのインストールを行うユーザーが製品ファイルを利用できるようにするには、いくつかの方法があります。MathWorks 製品の DVD をユーザーと共有することができます。また、製品ファイルをダウンロードして、すべてのクライアントがアクセスできるサーバーで提供することもできます。これらの場合、ユーザーが製品をインストールするには、ファイルインストール キーが必要となります。

クライアントへのインストールを行うユーザーが MathWorks アカウントをもっている場合は、ライセンスのアクティベーション キーを提供して、ユーザーがインストールの際にアカウントにログインし、MathWorks から製品ファイルをダウンロードすることができます。

- ・ インストールの手順 - ユーザーにネットワーク設定におけるクライアントシステムへの MathWorks ソフトウェアのインストール (p. 2-27)に記載されている手順を提供します。混乱を避けるため、ライセンス マネージャーのインストールの説明は渡さないようにしてください。

ネットワーク設定におけるクライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール

この節の内容...

インストール前の準備 (p. 2-27)

ステップ 1: インストーラーの起動 (p. 2-29)

ステップ 2: インターネットを使用してインストールするかどうかの選択 (p. 2-31)

ステップ 3: ソフトウェア ライセンス 許諾書の確認 (p. 2-33)

ステップ 4: MathWorks アカウントへのログイン (p. 2-34)

ステップ 5: インストールするライセンスの選択 (p. 2-37)

ステップ 6: インストールのタイプの指定 (p. 2-39)

ステップ 7: MATLAB をインストールするフォルダーの指定 (p. 2-40)

ステップ 8: インストールする製品の指定 (p. 2-41)

ステップ 9: ライセンス ファイルの場所の指定 (p. 2-42)

ステップ 10: インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ) (p. 2-43)

ステップ 11: 選択内容の確認 (p. 2-45)

ステップ 12: インストールの完了 (p. 2-48)

インストール前の準備

ライセンス管理者から、必要なインストールとライセンスの情報を入手します。次の情報が必要です。

- 電子メール アドレスと MathWorks アカウントのパスワードをお手元にご用意ください。これらは、インストール中にユーザー アカウントにログインするために必要になります。ユーザー アカウントに複数のライセンスが関連付けられている場合は、インストールするライセンス番号を確認しておきます。

MathWorks アカウントを所有していない場合は、インストール中にアカウントを作成できます。ただし、アクティベーション キーが必要です。アクティベーション キーは、ライセンスを識別する固有のコードです。ライセンスのアクティベーションに使用します。また、アクティベーション キーを使用することで、ライセンスを受けたエ

エンド ユーザーは MathWorks アカウントにライセンスを関連付けることができます。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。

- ・ クライアントへのインストールでは、サーバーへのライセンス マネージャーのインストール時に処理されたライセンス ファイルを使用しなければなりません。このライセンス ファイルには、インストール中にクライアントに必要な情報が追加されています。ライセンス管理者が製品ファイルへのアクセスをどのように提供するかによって、ファイル インストール キーかアクティベーション キーのいずれかが必要になります。詳細は、ライセンス管理者にお問い合わせください。
- ・ ライセンス マネージャーを実行中の場合は、ライセンス マネージャーを停止します。詳細は、ライセンス マネージャーの起動 (p. 2-49) を参照してください。
- ・ インストールの実行に適した権限があることを確認してください。これに関する質問は、システム管理者に問い合わせてください。

メモ: 管理者アカウントまたはルート権限を使用してソフトウェアをインストールする場合、権限のあるユーザーに対してソフトウェアをアクティベートする必要は通常ありません。ソフトウェアをアクティベートするときは、ソフトウェアを使用する権限のないエンドユーザーを指定します。管理者権限またはルート権限をもつユーザーとして MATLAB を実行することは推奨しません。

- － Windows システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。インストーラーによってインストール中にシステム レジストリが変更されます。
- － Linux システム – ルート パスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリック リンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスが必要です。
- － Macintosh システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは、Macintosh システムの設定時に設定したユーザー アカウントで、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを以下に示す [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力しなければなりません。



- ・ インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。

多くのクライアントへのインストールを行う場合は、インストーラー初期化ファイルを作成して、インストーラーを非対話モードで実行することができます。非対話モードのインストール（サイレント インストール）(p. 2-60)を参照してください。

既存のインストールをアップグレードする場合

MATLAB を最新リリースにアップグレードする場合は、新しいインストール フォルダーに新しいバージョンをインストールすることをお勧めします。これは、ソフトウェアのプレリリース バージョンのインストールをアップグレードする場合も同様です。このリリースをインストールする前に既存の MATLAB を削除する必要はありません。同じシステムで複数のバージョンの MATLAB を実行できます。

ステップ 1: インストーラーの起動

インストーラーの起動に使用する方法は、プラットフォームによって異なります。

- ・ Windows — システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入するか、MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラー ファイルをダブルクリックします。インストーラーが自動的に起動します。
- ・ Macintosh — システムに接続されている DVD ドライブに MathWorks DVD を挿入するか、製品ファイルを MathWorks Web サイトからダウンロードします。DVD アイ

コンがデスクトップに表示されたら、アイコンをダブルクリックして DVD の内容を表示し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



InstallForMacOSX

- ・ Linux – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```

ダウンロードしたファイルからインストールする場合は、アーカイブ ファイルからインストーラーを抽出し、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。以下のように入力して、実行権限のあるシステムでマウントしてください。DVD ドライブの名前はお使いのシステムで異なる場合があります。

```
mount -o exec /media/cdrom0
```

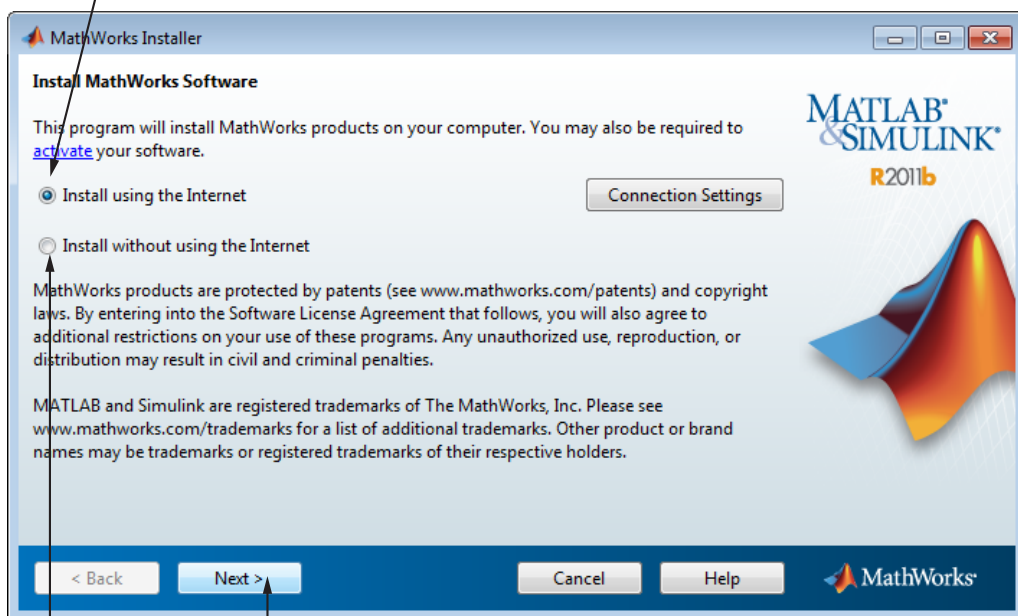
ステップ 2: インターネットを使用してインストールするかどう かの選択

インターネット接続を使用してインストールするか、使用しないでインストールするかを選択します。インターネットに接続している場合は、既定の [インターネットを使ってインストール] オプションを選択した状態のままで、[次へ] をクリックします。インストール中には、MathWorks アカウントにログインし、インストールするライセンスを選択し、インストーラーの他のダイアログ ボックスの指示に従います。これが、最も簡単なインストール方法です。

インストール中にインターネットに接続していない場合は、[インターネットを使わずにインストール] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。

2 ネットワーク ライセンス オプションのインストール

Select this option to install products (recommended).

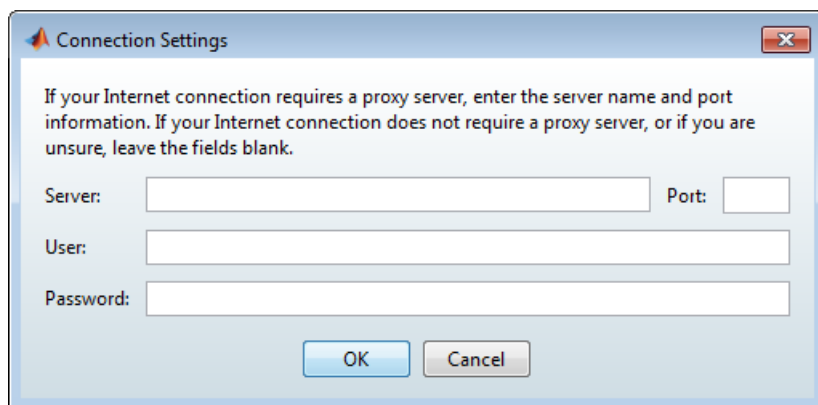


Select this option if you do not have an Internet connection.

Click Next.

メモ: Windows システムでは、インストーラーは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。プロキシ サーバーがログインを要求する場合、インストーラーは、ログイン情報の入力を指示するプロンプトを表示します。

インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックします。[接続設定] ダイアログ ボックスでは、サーバー名、ポート、パスワードを入力することができます。MathWorks では、基本認証とダイジェスト認証のプロキシ設定をサポートしています。



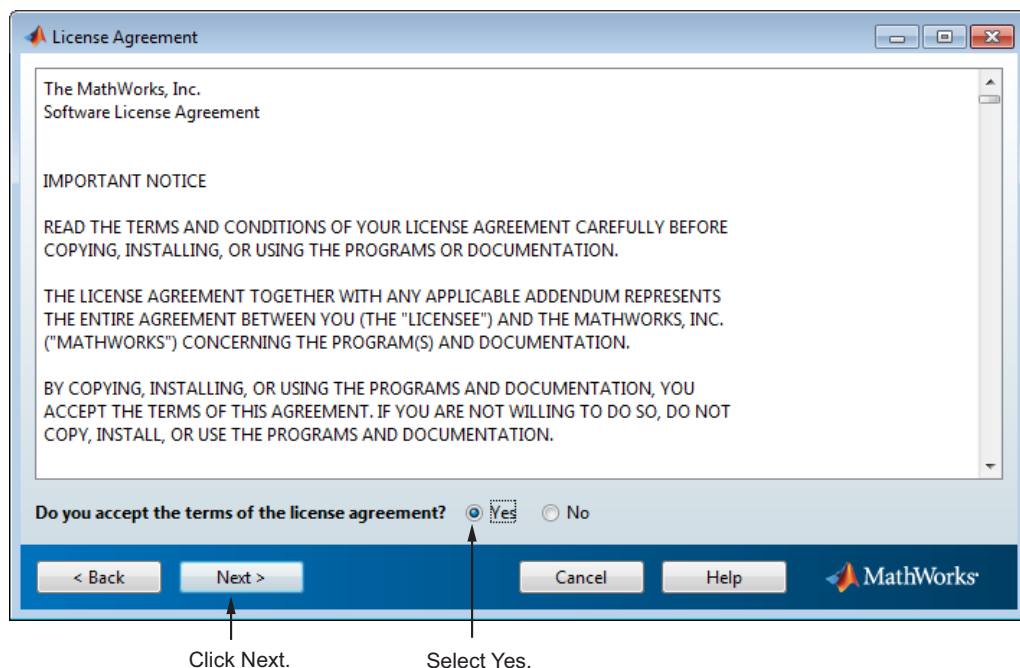
関連するトピック

インストール中にインターネットに接続できない場合は、インターネット接続なしのインストールとアクティベーション (p. 1-40)を参照してください。ネットワーク インストールでは、追加のステップを実行する必要があります。

ステップ 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して、[次へ] をクリックします。

ライセンス許諾書の内容は、インストール後にインストール フォルダーにある license.txt ファイルでも確認できます。

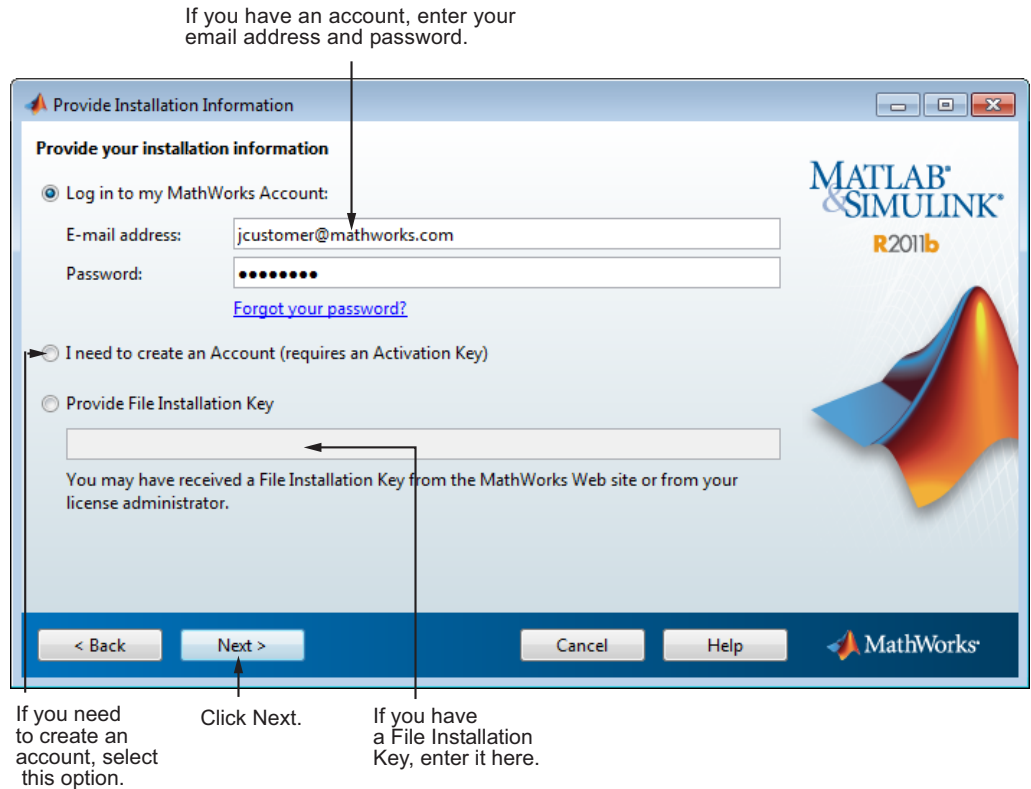


ステップ 4: MathWorks アカウントへのログイン

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ]をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。

MathWorks アカウントをおもちでない場合は、[MathWorks アカウントを作成する] オプションを選択して [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータを入力することができます。

ファイル インストール キーを所有している場合は、[ファイル インストール キーを指定] オプションを選択して、キーを入力します。ファイル インストール キーでは、インストール可能な製品が識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからファイル インストール キーを取得できます。ファイル インストール キーを指定した場合、インストーラーではライセンスを選択するステップが省略されます。



MathWorks アカウントの作成

アカウントを作成するには、電子メール アドレス、姓、名、およびパスワードを入力します。新しく作成したアカウントにはライセンスが関連付けられていないため、アクティベーション キーも入力しなければなりません。アクティベーション キーによって、インストールするライセンスが識別されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからキーを取得できます。[次へ] をクリックし、この情報を MathWorks に送信してアカウントを作成します。

Enter your e-mail address. Create a password for your account.

Account Creation

Create a MathWorks Account (Step 1 of 2)

Upon successful creation of your account, an e-mail will be sent to you. In Step 2, you will need to verify the e-mail address you provide, before you can proceed.

E-mail address: jcustomer@mathworks.com

Retype E-mail address: jcustomer@mathworks.com

Password:

Retype Password:

First name: Jane

Last name: Customer

Activation Key: 55555-55555-55555-55555-55555

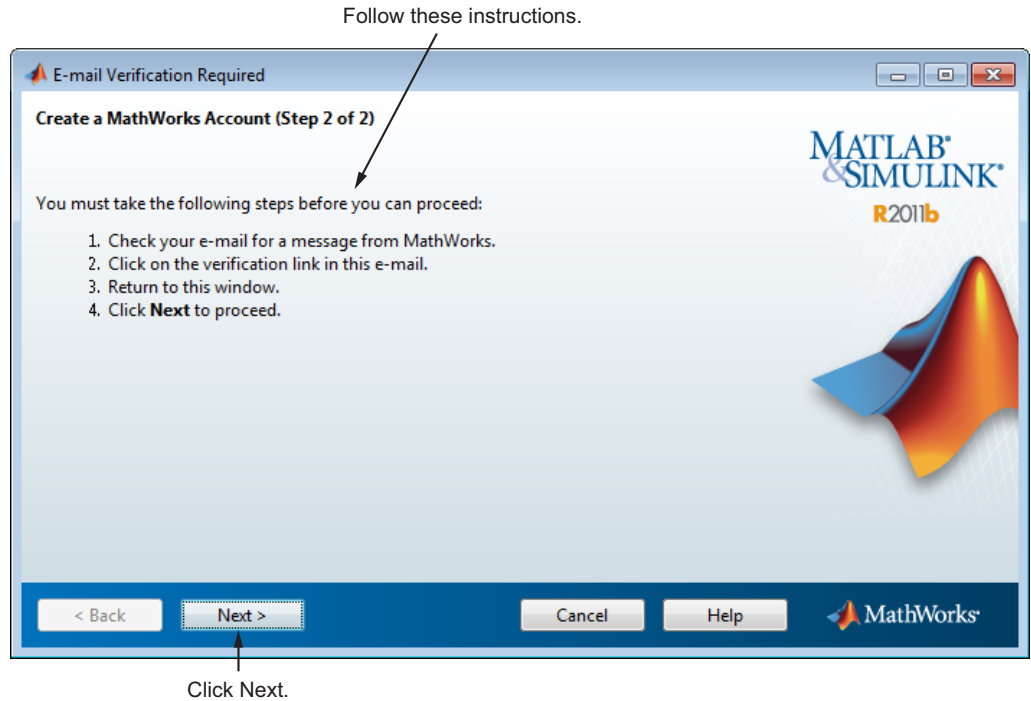
You may have received the Activation Key from the Administrator of the license.

[Privacy Policy](#)

< Back Next > Cancel Help MathWorks

Click Next. Enter Activation Key. Enter first name and last name.

メモ: 新しい MathWorks アカウントを作成したら、インストールを続行する前に、電子メール アドレスを確認しなければなりません。[電子メールの確認が必要] ダイアログ ボックスの [次へ] をクリックする前に、電子メール プログラムに移動して MathWorks から送信されたメッセージを開き、確認リンクをクリックします。次に、このダイアログ ボックスに戻り、[次へ] をクリックします。



入力したアクティベーション キーによって特定のライセンスが指定されるため、インストーラーではライセンスを選択するステップが省略されます。

ステップ 5: インストールするライセンスの選択

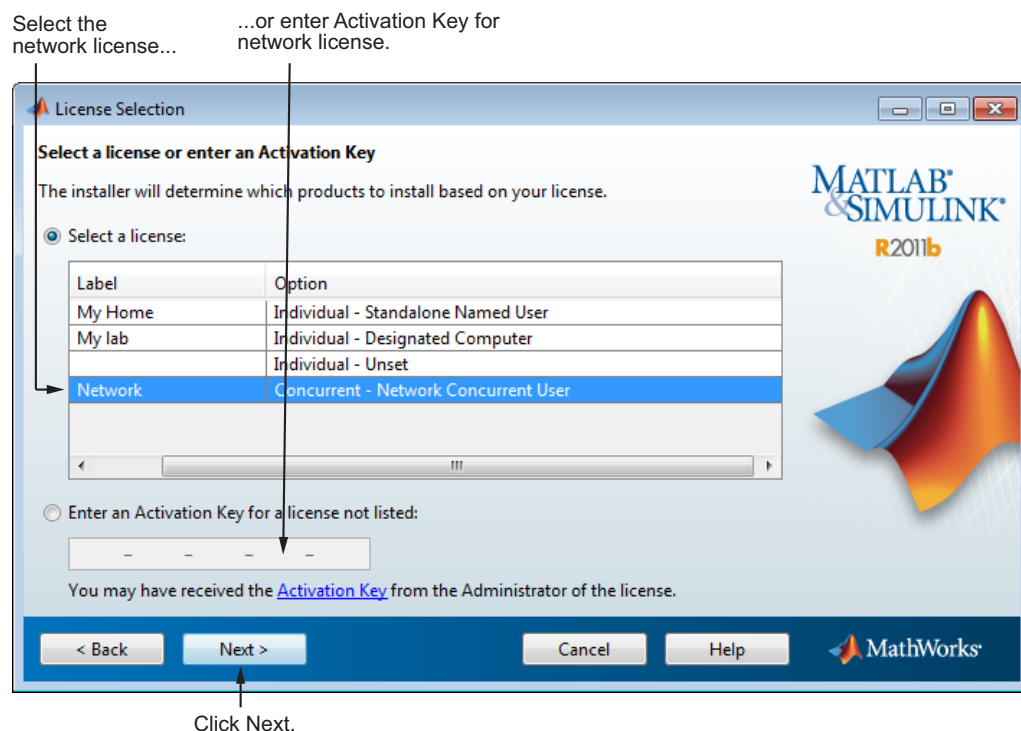
メモ: 前のステップでアクティベーション キーを指定した場合、インストーラーではこのステップが省略されます。

MathWorks アカウントに関連付けされたライセンスの一覧からライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。この一覧には、次のようなライセンスに関する情報が含まれています。

- ・ ライセンス番号

- ・ ライセンスの特定に役立つ、ライセンスの内容を説明するオプションのテキスト ラベル。ライセンスにラベルを付けるには、MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスします。詳細は、ライセンス センターのヘルプを参照してください。
- ・ ライセンス オプションとアクティベーション タイプを識別する情報。ライセンスでまだアクティベーション タイプが設定されていない場合は、[Unset] と表示されます。

一覧に目的のライセンスが表示されない場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションを選択して、アクティベーション キーを入力します。アクティベーション キーは、ライセンスを識別する固有のコードです。



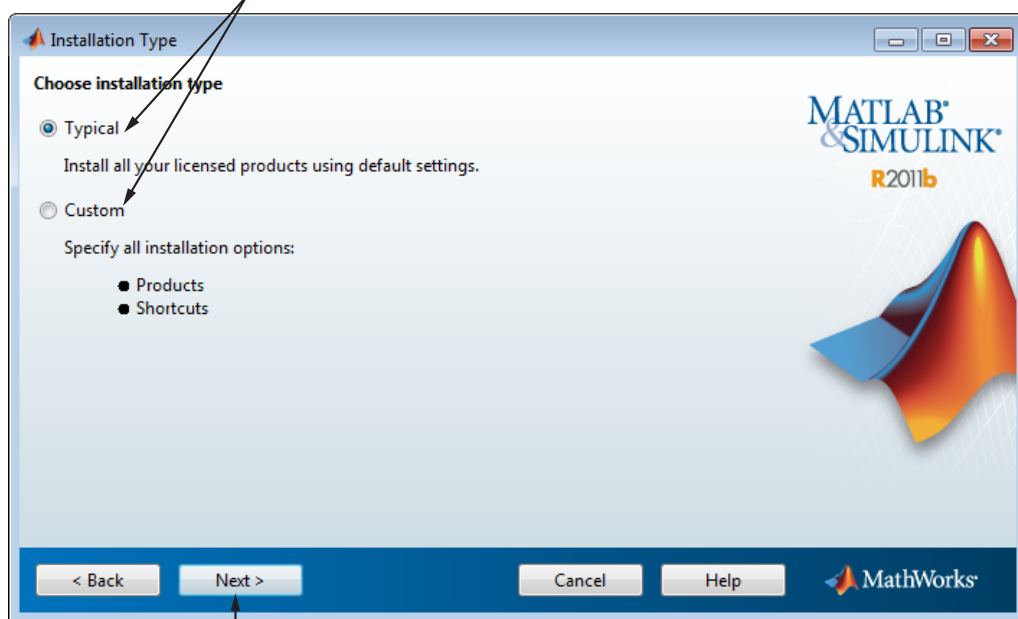
ステップ 6: インストールのタイプの指定

メモ: クライアントへのインストールでは、インストールに対してライセンス マネージャーがあらかじめ選択されていないため、[標準] オプションを選ぶことができます。

[インストール タイプ] ダイアログ ボックスで、標準インストール、またはカスタム インストールのいずれを実行するかを指定して、[次へ] をクリックします。

- ・ インディビデュアル ライセンスまたはグループ ライセンスをおもちで、インストールする製品を指定する必要がなく、インストール オプションにアクセスする必要がない場合は、[標準] を選択します。
- ・ インストールする製品の指定が必要な場合、インストール オプションへのアクセスが必要な場合、またはライセンス マネージャーのインストール (ネットワーク ライセンス オプションのみ) が必要な場合は、[カスタム] を選択します。

Select Typical or Custom.



Click Next.

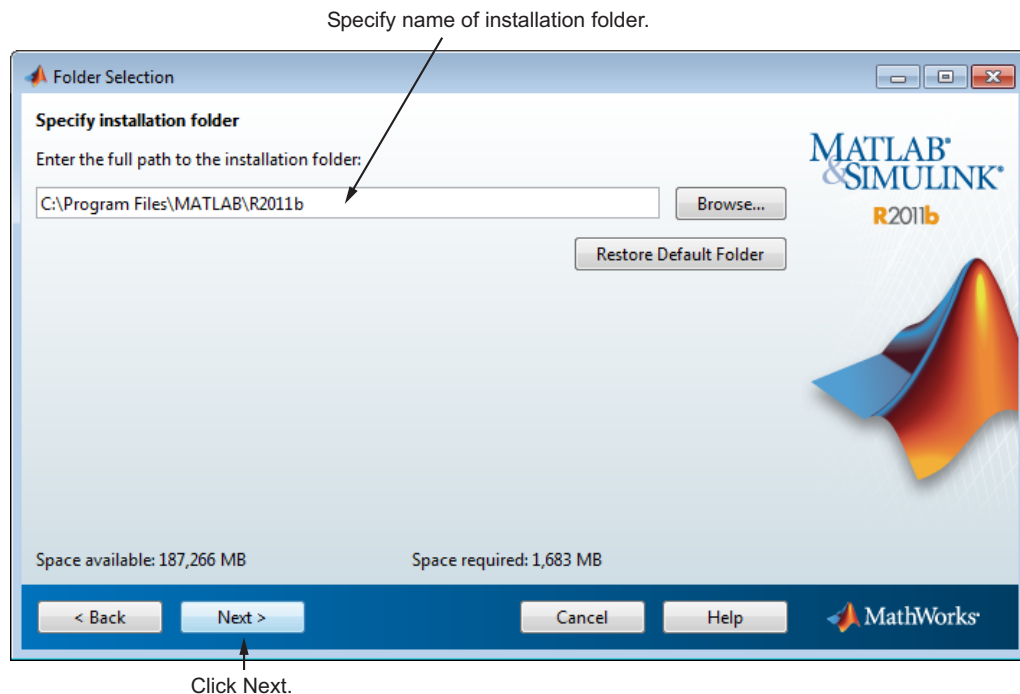
標準インストールを選択すると、インストーラーでは製品の選択とインストールオプションのステップが省略されます。

ステップ 7: MATLAB をインストールするフォルダーの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストール フォルダーを受け入れるか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

Macintosh システムでは、インストーラーによって MATLAB アプリケーション パッケージ、MATLAB_R2011b.app が既定により Applications フォルダーに配置されます。

フォルダー名を指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。指定したフォルダー名に許可されていない文字が含まれている場合は、インストーラーによって通知されます。フォルダー名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダーに戻す] をクリックします。選択を行ったら、[次へ] をクリックします。



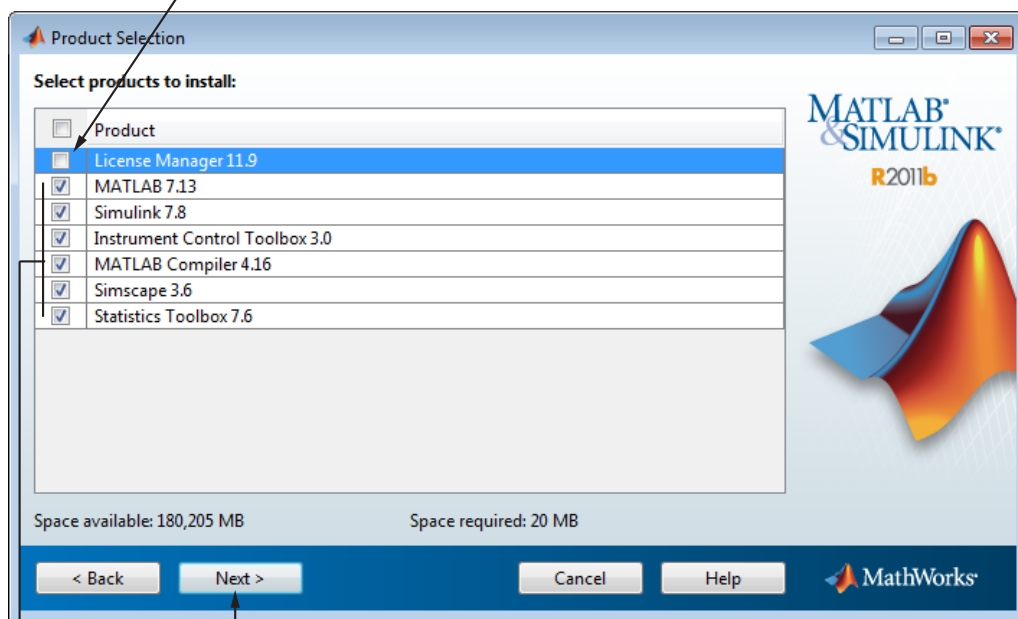
ステップ 8: インストールする製品の指定

カスタム インストールを選択した場合は、[製品選択] ダイアログ ボックスでインストールする製品を指定できます。このダイアログ ボックスには、ライセンスでインストールが許可されているすべての製品が一覧表示されます。一覧内の製品は、あらかじめインストールするように選択されています。

メモ: クライアント システムには、ライセンス マネージャーはインストールしないでください。

選択が完了したら [次へ] をクリックして続行します。[次へ] をクリックした後、選択した製品の一部が他の製品に依存しているという旨の警告メッセージが表示されることがあります。詳細は、製品の依存関係 (p. 3-5) を参照してください。

Leave the license manager unselected.



Select the products you want to install.

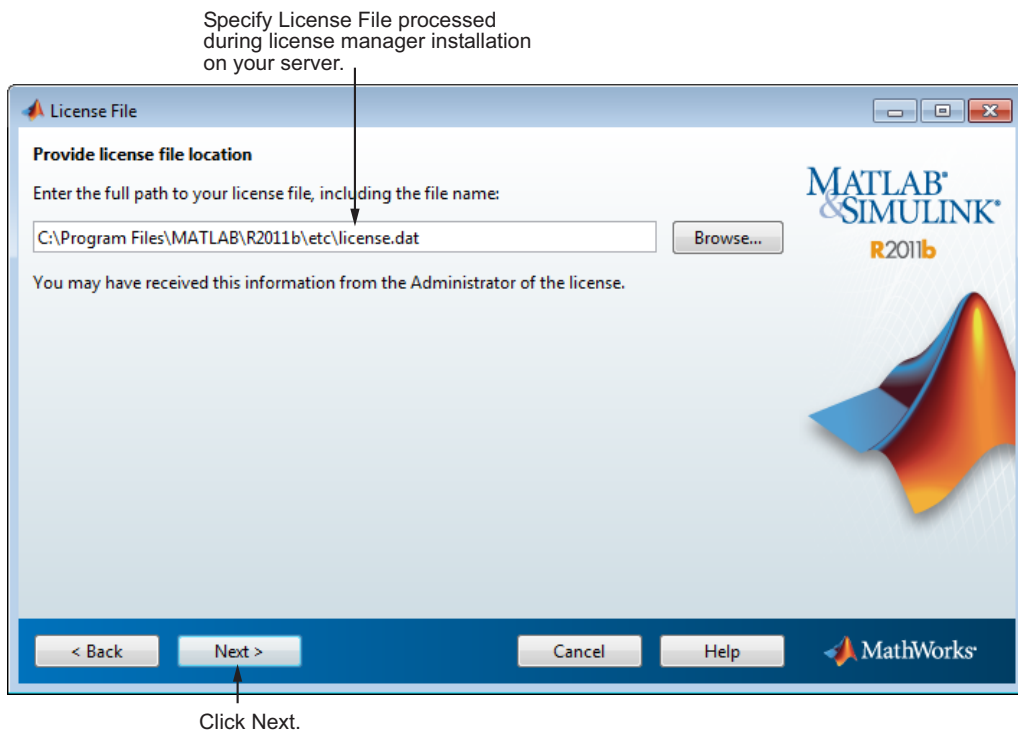
Click Next.

ステップ 9: ライセンス ファイルの場所の指定

テキスト ボックスにライセンス ファイルの絶対パスを入力するか、ファイルをドラッグ アンドロップして、[次へ] をクリックします。

クライアント システムでは、ライセンス マネージャーをサーバーにインストールしたときにインストーラーによって処理されたライセンス ファイルを指定しなければなりません。ライセンス マネージャーのインストール中に、インストーラーでは以下の処理が実行されます。

- ・ ライセンス ファイルの先頭に SERVER 行と DAEMON 行を追加します。
- ・ ライセンス ファイルの名前を `license.dat` に変更します。
- ・ 処理したこのライセンス ファイルのバージョンを `matlabroot/etc` フォルダーに保存します。ここで、`matlabroot` は MATLAB インストール フォルダーです。



クライアントにおけるライセンス ファイルの処理

インストーラーによって、クライアント システムでライセンス ファイルに以下の処理が行われます。

- ・ 指定したライセンス ファイルのコピーが作成され、network.lic という名前で MATLAB クライアントのインストール フォルダーにある licenses フォルダーに配置されます。
- ・ ライセンス ファイルの SERVER 行はそのまま、すべての INCREMENT 行と DAEMON 行が削除されます。ファイルに、ステートメント USE_SERVER が追加されます。

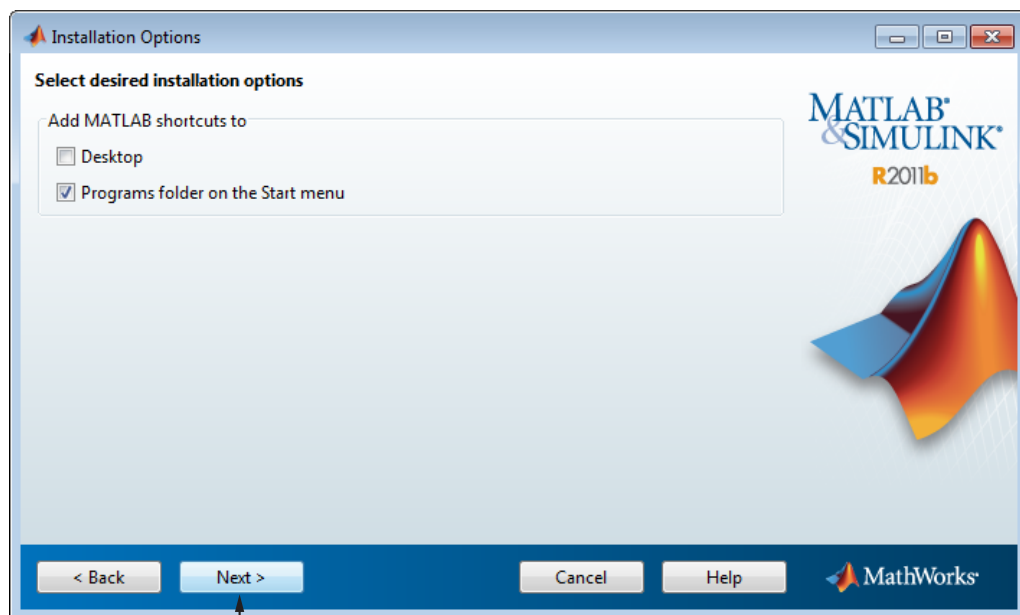
ステップ 10: インストール オプションの選択 (カスタム インストールのみ)

カスタム インストールでは、インストールするプラットフォームに応じて次のようないくつかのインストール オプションを指定できます。

Windows システム

Windows では、[インストール オプション] ダイアログ ボックスで、[スタート] メニューとデスクトップに MATLAB ソフトウェアの起動用ショートカットを配置するかどうかを選択できます。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

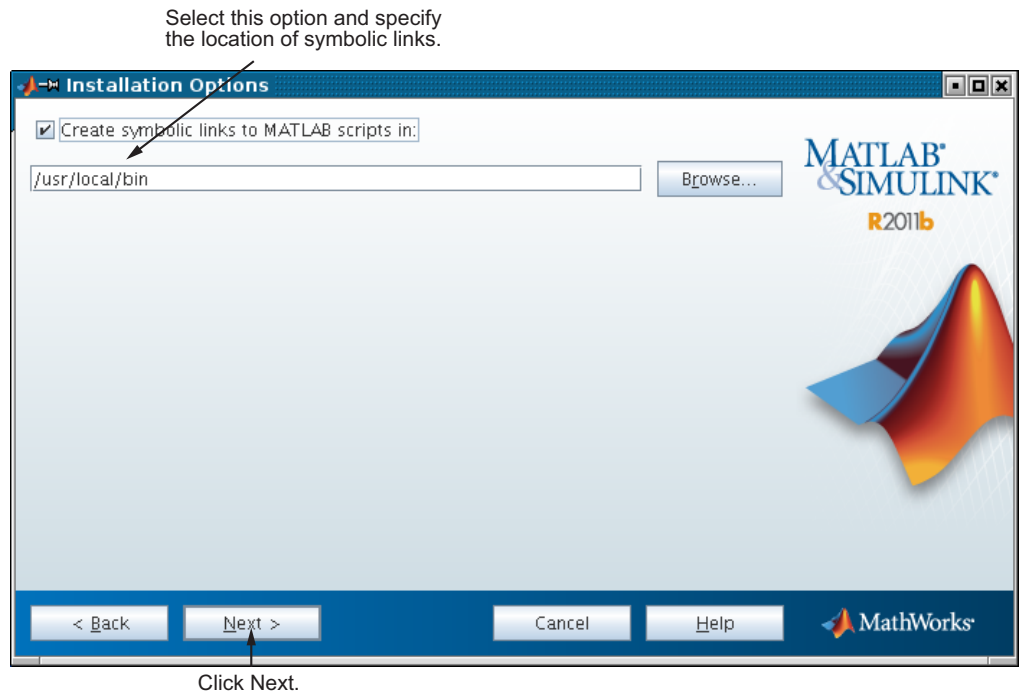


Click Next.

Linux システム

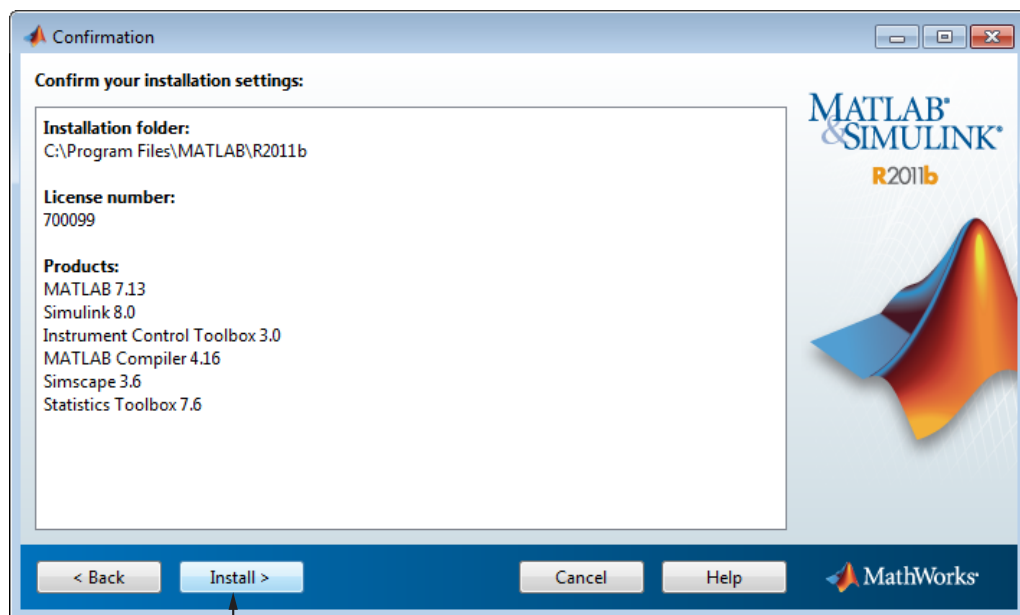
Linux システムでは、matlab および mex スクリプトへのシンボリックリンクを作成するかどうかを指定できます。書き込み権限があり、ユーザーのパスすべてに共通している、/usr/local/bin などのフォルダーを指定してください。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



ステップ 11: 選択内容の確認

ファイルをハード ディスクにコピーする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには [インストール] をクリックします。



Click Install.

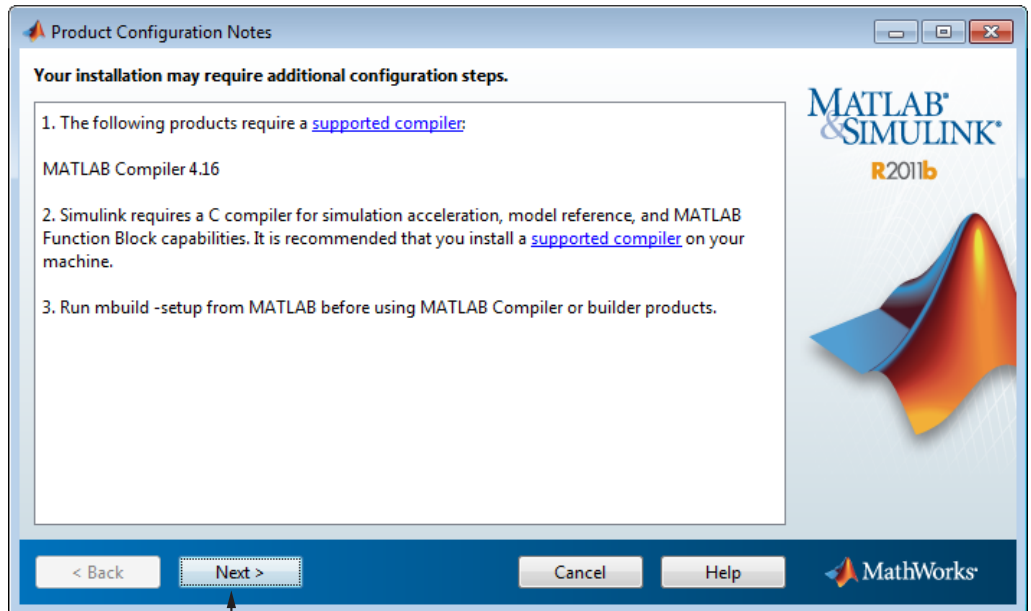
ファイルをハードドライブにコピーしている間は、インストールの進捗状況を示すダイアログ ボックスが表示されます。

製品設定に関するメモの確認

インストールする製品によっては、インストーラーで次のような情報を含むダイアログ ボックスが表示されることがあります。

- ・ 製品の設定情報 — 一部の製品では追加の設定が必要になります。これらの製品をインストールした場合は、このダイアログ ボックスに設定コマンドの一覧が表示されます。これらのコマンドは、システムのクリップボードにコピーして、インストールの完了後に使用することができます。
- ・ 使用可能な製品の更新 — ライセンスで指定されている製品が DVD に含まれておらず、現在インターネットに接続していないか、製品の更新をダウンロードしないように選択した場合は、このダイアログ ボックスに該当する製品の一覧が表示されます。これらの製品は、インストール完了後に MathWorks Web サイトからダウンロードできます。

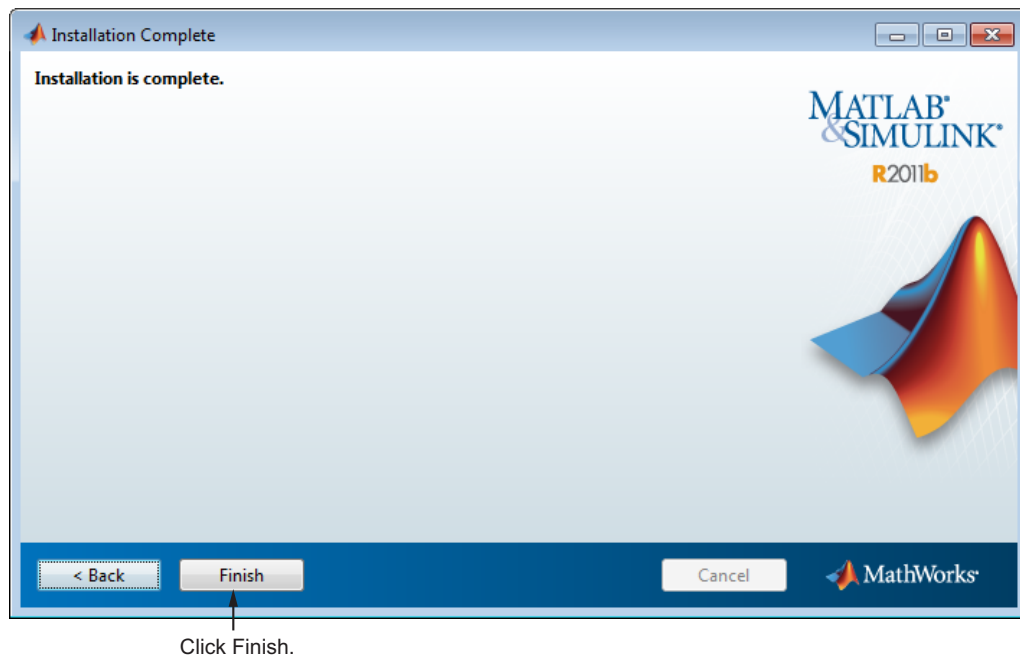
[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



Click Next.

ステップ 12: インストールの完了

MathWorks インストーラーが終了すると、[インストールの完了] ダイアログ ボックスが表示されます。[終了] をクリックしてインストーラーを終了します。



インストール後の作業

この節の内容...
ライセンス マネージャーの起動 (p. 2-49)
Linux システムでの起動スクリプトの編集 (p. 2-51)
Macintosh システムで自動的に起動させるためのライセンス マネージャーの設定 (p. 2-53)
ライセンス マネージャーの管理 (p. 2-54)

インストール後のタスクについての一般情報は、を参照してください。

ライセンス マネージャーの起動

MATLAB ソフトウェアをクライアント コンピューターで起動するには、ライセンス マネージャーがサーバーで実行されている必要があります。Windows および Macintosh システムでは、システムの起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動するようにインストーラーによって設定されます (Linux システムでは、システムの起動スクリプトを編集しなければなりません。Linux システムでの起動スクリプトの編集 (p. 2-51)を参照してください)。この既定の設定を受け入れた場合、ライセンス マネージャーを起動する最も簡単な方法は、ライセンス マネージャーがインストールされているコンピューターを再起動することです。ライセンス マネージャーを起動する方法は、プラットフォームに応じてほかにもいくつか存在します。次の節では、以下の方法について述べます。

- ・ Windows システム (p. 2-49)
- ・ Linux システム (p. 2-50)
- ・ Macintosh システム (p. 2-50)

Windows システム

Windows システムのライセンス マネージャーは次の方法を使用して起動できます。

- ・ インストール中にライセンス マネージャーをサービスとして設定した場合は、Windows の [サービス] コントロール パネルを使用してライセンス マネージャーを起動または停止します。Windows の [スタート] メニューから、[設定]、[コントロール パネル]、[管理ツール]、[サービス] を選択します。

- ・ `matlabroot\etc\win32` または `win64` フォルダの MATLAB インストールに含まれているライセンス管理ユーティリティ、`lmtools.exe` を使用します。`lmtools.exe` アプリケーションを起動し、[Start/Stop/Reread] タブを選択します。

Linux システム

ライセンス マネージャー デモンを Linux システムで起動するには、`lmstart` スクリプト (`matlabroot/etc` フォルダ内) を実行します。`lmstart` スクリプトは、現在実行されているデモンをすべて停止し、新しいデモンを起動します。

メモ: ルート以外のユーザーは、`lmstart` スクリプトを実行してください。ルート権限を必要としないプログラムをルートとして実行すると、セキュリティが脅かされる場合があります。ライセンス マネージャー (`lmgrd`) はルート権限を必要としません。ライセンス マネージャーをルートとして起動する必要がある場合は、`su` コマンドを使用して非権限ユーザーとして `lmgrd` を起動します。

```
su username -c "lmgrd -c license_file -l /var/tmp/LM_TMW.log"
```

ここで、`username` は非権限ユーザーです。

Macintosh システム

メモ: ライセンス マネージャー プロセスに関連付けられているユーザー名は、ネットワーク上で定義されているユーザーではなく、ローカルのシステム上で定義されているユーザーである必要があります。ライセンス マネージャーは、ネットワーク ユーザーが使用可能になる前に、起動プロセス中にユーザー名がコンピューターに見つかった場合にのみ正常に起動します。

ライセンス マネージャーを起動するには、次の手順に従います。

- 1 Terminal アプリケーション (`/Applications/Utilities`) を起動します。
- 2 ターミナル ウィンドウのコマンド プロンプトで、MATLAB インストール フォルダに移動します。

```
cd /Applications/MATLAB_R2011a.app/etc
```

- 3 ライセンス マネージャーを起動するには、次のコマンドを実行します。

```
./lmgrd
```

メモ: license.dat ファイルを変更するたびに、lmstart を実行してライセンス マネージャー デモンを再起動しなければなりません。lmstart スクリプトは、現在実行されているデモンをすべて停止し、新しいデモンを起動します。

Linux システムでの起動スクリプトの編集

Linux システムでの起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動するように設定するには、ライセンス マネージャーをインストールしたコンピュータでシステムの起動スクリプトを編集します。MathWorks には、ライセンス マネージャーの起動に必要な一連の Bourne シェル コマンドを含む、*matlabroot/etc/flexnet.boot.linux* という名前のファイルが用意されています。以下の節では、サポートされているすべてのプラットフォームに対してこれらの Bourne シェル コード部分を挿入する方法を説明します。

- 1 root としてログインします。
- 2 次のリンクを作成します（まだ存在しない場合）。

```
ln -s matlabroot/etc/lmboot /etc/lmboot_TMW
ln -s matlabroot/etc/lmdown /etc/lmdown_TMW
```

- 3 次の表に示す、32 ビットシステムと 64 ビットシステム用のプラットフォームに適したコマンドを使用して、起動スクリプト ファイルのコピーを作成します。

ディストリビューション	コマンド
Debian または SUSE	<code>cp matlabroot/etc/flexnet.boot.linux /etc/init.d/flexnet</code>
Red Hat または Fedora Core	<code>cp matlabroot/etc/flexnet.boot.linux /etc/rc.d/init.d/flexnet</code>

- 4 前の手順で作成した flexnet という名前の起動スクリプト ファイルのコピーを編集し、コード内の lmboot_TMW スクリプトの *username* 引数を root 以外の有効なユー

ザー名に置き換えます。セキュリティ上の理由から、スーパーユーザーがライセンス マネージャー デーモンを所有することはできません。

- 5 既定の実行レベルの場合は /etc/inittab 内を検索します。
- 6 既定の実行レベルに関連付けられている rc フォルダーにリンクを作成します。次の表は、32 ビットと 64 ビットの両方のシステムに対してサポートされている Linux のディストリビューションに適したコマンドを、実行レベル 5 を使用して示しています。

ディストリビューション	コマンド
Debian	cd /etc/rc5.d; ln -s ../init.d/flexnet S90flexnet
Red Hat または Fedora Core	cd /etc/rc.d/rc5.d; ln -s ../init.d/flexnet S90flexnet
SUSE	cd /etc/init.d/rc5.d; ln -s ../flexnet S90flexnet

- 7 ライセンス マネージャーの起動スクリプトが起動シーケンスの最後に始まることを確認します。ライセンス マネージャーを正しく起動するには、ネットワークが既に実行されていない必要があります。使用している Linux のバージョンに備わっているメカニズムを使用して、適切な起動シーケンスを保持してください。

たとえば、SUSE version 10 を実行しているシステムでは、/etc/init.d フォルダー内の .depend.start ファイルに起動シーケンスを指定します。ライセンス マネージャーがネットワーク実行後に起動するように、次の行を /etc/init.d/.depend.start ファイルの最後に追加します。

flexnet: network

一部のシステムでは、ステップ 6 で作成した S90flexnet symlink の名前を S99flexnet などのより高い番号に変更することで、ライセンス マネージャーがネットワークの実行後に起動するようになります。

Macintosh システムで自動的に起動させるためのライセンス マネージャーの設定

ライセンス マネージャーがシステムの起動時に自動的に起動するようにインストール時に設定しなかった場合は、以下の手順を実行して自分で設定できます。

- 1 最上位レベルの /Library フォルダーに移動します。
- 2 StartupItems という名前のフォルダーがこのフォルダー内に存在しない場合は、作成します。
- 3 *matlabroot/etc/MATLABMgr* フォルダーを StartupItems フォルダーにコピーします。
- 4 /etc/MATLABMgr フォルダーに含まれている *config_lm.sh* スクリプトを実行します。ターミナル ウィンドウを開き (/Applications/Utilities のターミナル プログラムを実行)、ターミナル ウィンドウ内で次のコマンドを入力します。

```
cd /Library/StartupItems/MATLABMgr
./config_lm.sh
```

- 5 MathWorks 製品がインストールされているフォルダーの名前を入力します。たとえば、MathWorks 製品を /Applications/MATLAB_R2011a にインストールした場合は、次のように入力します。

```
/Applications/MATLAB_R2011a
```

- 6 自分のユーザー名を入力します。スクリプトでは、whoami コマンドによって返されたユーザー名を既定値として使用します。既定値を受け入れるか、別のユーザー名を入力します。
- 7 スクリプトが完了したら、コンピューターを再起動します。

起動中に、“Starting MATLAB License Manager” というメッセージが画面に表示されません。ライセンス マネージャーが正しく起動しない場合は、3 章、トラブルシューティングで詳細を確認してください。

ライセンス マネージャーの自動起動の無効化

ライセンス マネージャーが起動時に自動的に起動しないようにするには、それを無効にします。MATLABMgr スクリプトを無効にするには、次の手順に従います。

- 1 [Finder] で、[移動] メニューの [フォルダーへ移動] を選択します。

- 2 [フォルダーへ移動] ダイアログ ボックスで、次のように入力します。

`/Library/StartupItems/MATLABMgr`

次に[移動]をクリックします。複数のファイルを含む、MATLABMgr という名前のウィンドウが表示されます。

- 3 ファイル `StartupParameters.plist` の名前を `StartupParameters_disabled.plist` に変更します。

起動時のライセンス マネージャーの起動を再び有効にするには、上記の 1 ~ 3 の手順に従い、`StartupParameters_disabled.plist` の名前を `StartupParameters.plist` に戻します。

Macintosh システムでのライセンス マネージャーの削除

- 1 [Finder] で、[移動] メニューの [フォルダーへ移動] を選択します。
- 2 [フォルダーへ移動] ダイアログ ボックスで、次のように入力します。

`/Library/StartupItems/MATLABMgr`

次に[移動]をクリックします。複数のファイルを含む、MATLABMgr という名前のウィンドウが表示されます。

- 3 MATLABMgr フォルダをゴミ箱にドラッグし、[Finder] メニューの [ゴミ箱を空に] を選択します。

ライセンス マネージャーの管理

この節では、ライセンス マネージャーの管理に使用できる、FLEXnet のライセンスによって提供されるいくつかのユーティリティについて説明します。これらユーティリティの詳細は、MATLAB のインストールに付属している PDF 形式の『ライセンス管理ガイド』(*matlabroot\etc\LicenseAdministration.pdf*) を参照してください。

- ・ LMTOOLS GUI の使用 (Windows システムのみ) (p. 2-55)
- ・ ライセンス マネージャーのコマンドライン ユーティリティの使用 (p. 2-56)

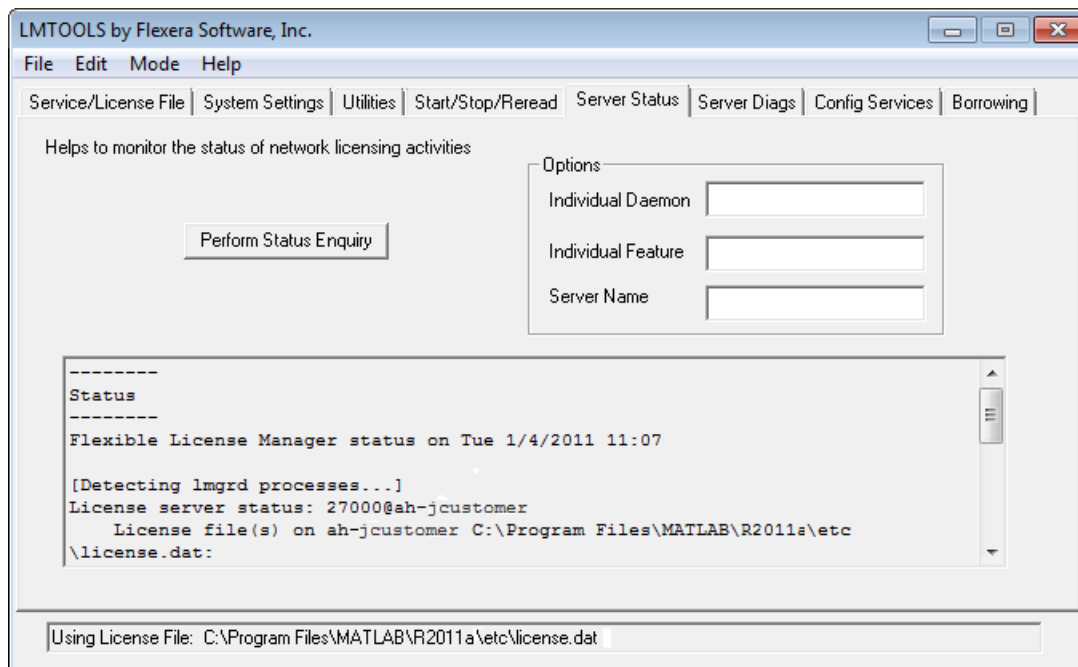
LMTTOOLS GUI の使用 (Windows システムのみ)

Windows システムでは、FLEXnet Publisher ライセンスには、LMTTOOLS というグラフィカル ユーザー インターフェイス (GUI) が含まれています。LMTTOOLS を使用すると、次のような数多くのライセンス管理タスクを実行できます。

- ・ ライセンス マネージャーのステータスの取得
- ・ ライセンス マネージャーの起動と停止
- ・ ライセンス マネージャーをサービスとして設定

以下の例では、LMTTOOLS GUI を使用して、ライセンス マネージャーの現在の状態を確認する方法を示します。

- 1 LMTTOOLS を起動するには、`matlabroot\etc\ARCH` フォルダにある `lmttools.exe` ファイルをダブルクリックします。ここで、`matlabroot` は MATLAB がインストールされているフォルダで、`ARCH` は win32 などのプラットフォーム固有のサブフォルダです。
- 2 [Server Status] タブをクリックします。
- 3 [Perform Status Enquiry] ボタンをクリックします。LMTTOOLS によって、コマンド `lmutil lmstat -a` を入力したときと同じ情報が表示されます。



ライセンス マネージャーのコマンドライン ユーティリティの使用

FLEXnet ライセンスには、ライセンス マネージャーの起動、停止、および監視に使用できる一連のライセンス管理ユーティリティが含まれています。

Windows システムでは FLEXnet によって、lmutil.exe と呼ばれる単一のコマンドライン実行可能ファイルにすべてのユーティリティがパッケージ化されます。このプログラムは *matlabroot\etc\ARCH* フォルダに含まれています。ここで、*matlabroot* は MATLAB をインストールしたフォルダーで、*ARCH* は win32 などのプラットフォーム固有のサブフォルダーです。たとえば、ライセンス マネージャーの状態チェックを実行するには、DOS コマンド ウィンドウを開き、lmstat を引数として指定して lmutil を実行します。

```
lmutil lmstat -a -c "C:\Program Files\MATLAB\R2011a\etc\license.dat"
```

-a オプションを指定すると、詳細なリストが表示されます。-c オプションを含めて、使用するライセンス ファイルを指定する必要もあります。これは lmutil オプションを指定するときに必ず使用しなければなりません。インストールのパスがスパー

スを含む場合は、パスを引用符で囲ってください。以下は、返された情報の一部を示したものです。

```
lmutil - Copyright (c) 1989-2010 Flexera Software Inc. All Rights Reserved.  
Flexible License Manager status on Tue 1/4/2011 10:11
```

```
[Detecting lmgrd processes...]  
License server status: 27000@ah-jcustomer  
License File(s) on customerj: C:\Program Files\MATLAB\R2011a\etc\license.dat:
```

```
customerj: license server UP (MASTER) v.11.9
```

```
Vendor daemon status (on ah-jcustomer):
```

```
MLM: UP v11.9
```

```
Feature usage info:
```

```
Users of MATLAB: (Total of 5 licenses available)
```

```
Users of SIMULINK: (Total of 5 licenses available)
```

```
Users of Control_Toolbox: (Total of 5 licenses available)
```

```
Users of Identification_Toolbox: (Total of 5 licenses available).
```

lmutil パッケージ内の全ユーティリティの一覧を表示するには、次のように入力します。

```
lmutil -h
```

特定のユーティリティのヘルプを取得するには、次に示すように、-h オプションを使用してユーティリティ名を入力します。

```
lmutil lmstat -h
```

Linux および Macintosh システムでは、これらのライセンス管理ユーティリティは個別の実行可能ファイルの形式で *matlabroot/etc* フォルダに含まれています。たとえば、ライセンス マネージャーの状態を表示するには、次のように lmstat ユーティリティを使用します。

```
lmstat -a

lmutil - Copyright (c) 1989-2010 Flexera Software Inc. All Rights Reserved.
Flexible License Manager status on Tue 1/4/2011 10:11

License server status: 27000@ah-jcustomer
License File(s) on customerj: /user/local/MATLAB/R2011a/etc/license.dat:

customerj: license server UP (MASTER) v.11.9

Vendor daemon status (on customerj):

MLM: UP v11.9

Feature usage info:

Users of MATLAB: (Total of 5 licenses available)

Users of SIMULINK: (Total of 5 licenses available)
```

特定のユーティリティのヘルプを取得するには、次のように -h オプションを使用します。

```
lmstat -h
```

次の表には、最も役立つライセンス管理ツールの名前が一覧表示されています。

ユーティリティ	説明
lmdiag	ライセンス チェックアウトの問題を診断します。
lmdown	ライセンス サーバー ノードですべてのライセンス デーモン (lmgrd とすべてのベンダー デーモン) を停止します。
lmhostid	システムのホスト ID を報告します。

ユーティリティ	説明
lmreread	<p>ライセンス マネージャーがライセンス ファイルの再読み取りを行い、新しいベンダー デモンを起動するようにします。</p> <p>メモ: lmreread を使用してユーザーベース ライセンスのライセンス ファイルを再処理する場合、関連する FLEXnet オプション ファイルにおける INCLUDE ステートメントへの変更は、15 分遅れで有効となります。</p>
lmstat	すべてのネットワーク ライセンス アクティビティの状態を表示します。
lmswitchr	レポート ログ ファイルを切り替えます。
lmver	ライブラリまたはバイナリ ファイルのバージョンを確認します。

非対話モードのインストール (サイレント インストール)

この節の内容...
非対話モードのインストールを使用する状況 (p. 2-60)
インストーラー プロパティ ファイルの使用 (p. 2-60)

非対話モードのインストールを使用する状況

メモ: 非対話モードでの MATLAB インストールの削除 (アンインストール) の詳細は、アンインストール プログラムの非対話モードでの実行 (p. 2-62)を参照してください。

MATLAB ソフトウェアの多くのインストールを実行する場合、各インストールに必要な情報が同じであれば、この情報をプロパティ ファイルで設定して、MathWorks インストーラーを非対話モードで実行することができます。プロパティ ファイルはインストーラーの起動時にコマンドラインで指定します。このファイルは、通常であればインストーラーのダイアログ ボックスで対話的に指定する情報をインストーラーに与えます。非対話モードのインストール (サイレント インストールとも呼ばれます) では、時間を節約し、間違いを防ぐことができます。

インストーラー プロパティ ファイルの使用

メモ: インストーラー プロパティ ファイルを使用するには、ファイル インストール キーが必要です。

インストーラーを非対話モードで実行するには、次の手順にしたがいます。

- 1 インストーラー プロパティ ファイルを作成します。

MathWorks DVD の最上位レベルフォルダーに含まれている、`installer_input.txt` という名前のインストーラー プロパティ ファイルのテンプレートのコピーを作成します。

たとえば、Windows システムでは次のコマンドを実行します。

```
copy Z:\installer_input.txt C:\temp\my_installer_input.txt
```

- 2 任意のテキスト エディターを使用してインストーラー プロパティ ファイルを開き、指定されているすべてのパラメーターの値を入力します。たとえば、製品をインストールする場所を指定するには、destinationFolder= パラメーターの値にインストール フォルダーの絶対パスを設定します。

```
destinationFolder=C:\Program Files\MATLAB\R2011a
```

インストーラー プロパティ ファイルのテンプレートには、各パラメーターの説明が有効な値と共に含まれています。ファイル インストール キーを fileInstallationKey= パラメーターの値として指定します。

- 3 ファイルへの変更を保存します。
- 4 -inputFile オプションを使用してインストーラーを起動し、インストーラー プロパティ ファイルの絶対パスをコマンドライン引数として指定します。

たとえば、Windows システムでは [スタート] メニューをクリックし、[ファイル名を指定して実行] オプションを選択します。[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスに次のように入力します。

```
setup.exe -inputFile C:\temp\my_installer_input.txt
```

Linux および Macintosh システムでのインストーラー プロパティ ファイルの指定の詳細は、インストーラー プロパティ ファイルのテンプレートに含まれている指示を参照してください。

アンインストール プログラムの非対話モードでの実行

メモ: 非対話モードでの MATLAB のインストールの詳細は、非対話モードのインストール (サイレント インストール) (p. 2-60)を参照してください。

インストーラーを非対話モードで実行するには、次の手順に従います。

- 1 アンインストーラーのプロパティ ファイルを作成します。

MATLAB インストール フォルダの `uninstall` フォルダには `uninstaller_input.txt` という名前のアンインストーラー プロパティ ファイルのテンプレートがあります。このファイルをコピーします。たとえば、Windows システムでは次のコマンドを実行します。

```
copy matlabroot\uninstall\uninstaller_input.txt C:\temp\my_uninstall.txt
```

- 2 任意のテキスト エディターを使用してアンインストーラー プロパティ ファイルを開き、指定されているすべてのパラメーターの値を入力します。たとえば、`outputFile=` パラメーターを使用して、出力ログ ファイルの名前を指定できます。テンプレートには、各パラメーターの詳細な説明が例と共に含まれています。

既定では、アンインストーラーによって特定の MATLAB インストール内の製品がすべて削除されますが、削除する製品を指定することもできます。テンプレートの製品一覧で、製品名の先頭にあるコメント文字を削除します。サイレント モードでは、インストールされている製品以外の製品を削除の対象として指定した場合、アンインストーラーは終了し、ログ ファイルにメッセージが書き込まれます。`mode=automated` を指定した場合、アンインストーラーは [製品選択] ダイアログ ボックスを表示し、製品選択を調整できるように一時停止します。

- 3 ファイルへの変更を保存します。
- 4 コマンド ラインの引数としてプロパティ ファイルを指定する `-inputFile` フラグを使用して、アンインストーラー (`uninstall.exe`) を実行します。

たとえば、[スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択して、[実行] ダイアログ ボックスで、コマンド `uninstall` を入力し、プロパティ ファイルの絶対パスをコマンド ライン引数として指定します。

```
uninstall.exe -inputFile C:\temp\my_uninstall.txt
```


トラブルシューティング

このトピックでは、MathWorks ソフトウェアをインストールする際に発生する可能性のある、一般的な問題の解決に役立つ情報を提供します。

- ・ インストール中の問題 (p. 3-2)
- ・ インストール後の問題 (p. 3-6)

自分の問題に該当する説明が見つからない場合は、MathWorks 製品に付属の MATLAB の『リリース ノート』を参照してください。このドキュメントには、製品やインストールの手順に関する最新情報が掲載されています。インストールのトラブルシューティングに関する情報は、MathWorks Web サイトのサポート ページ (www.mathworks.co.jp/support/) でもご利用いただけます。

インストール中の問題

この節の内容...
インストーラーが自動的に起動しない (p. 3-2)
アクティベーション オプションへのアクセス (p. 3-2)
製品の依存関係 (p. 3-5)

メモ: インストーラーが反応しなくなった場合は、システムで実行中のウイルス対策ソフトウェアをオフにして、インストーラーを再起動してください。

インストーラーが自動的に起動しない

インストーラーは、MathWorks DVD をDVD ドライブに挿入するか、MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラー ファイルをダブルクリックすると自動的に起動します。

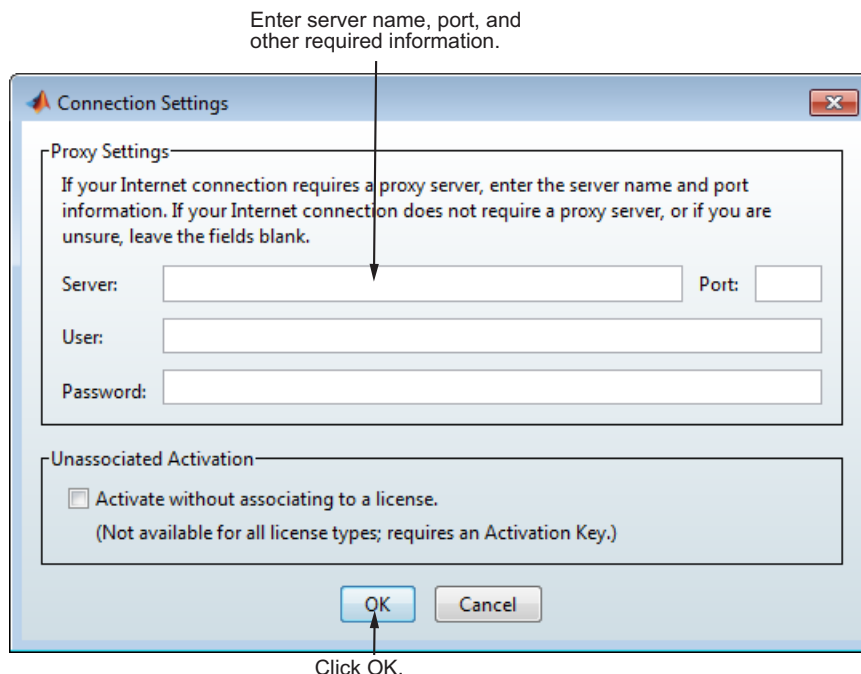
インストーラーが起動しない場合は、Microsoft Windows のエクスプローラー ウィンドウを開き、DVD ドライブを選択して、最上位フォルダーにある `setup.exe` プログラムをダブルクリックします。

アクティベーション オプションへのアクセス

プロキシ サーバーへの接続設定の指定

インターネット接続にプロキシ サーバーが必要な場合、インストール プロセスの開始時、またはアクティベーション プロセスの開始時に、プロキシ サーバーのサーバー名、ポート、およびパスワードを入力することができます。MathWorks では、基本認証、ダイジェスト認証など、いくつかの種類のプロキシ設定をサポートしています。

インストール中にプロキシ情報を指定するには、インストーラーで最初に表示されるダイアログ ボックスの [接続設定] ボタンをクリックします。アクティベーション中にプロキシ情報を指定するには、アクティベーション アプリケーションで最初に表示されるダイアログ ボックスの [詳細オプション] ボタンをクリックします (非関連付アクティベーションの詳細は、MathWorks アカウントがない場合のアクティベーション (p. 3-3)を参照してください)。



MathWorks アカウントがない場合のアクティベーション

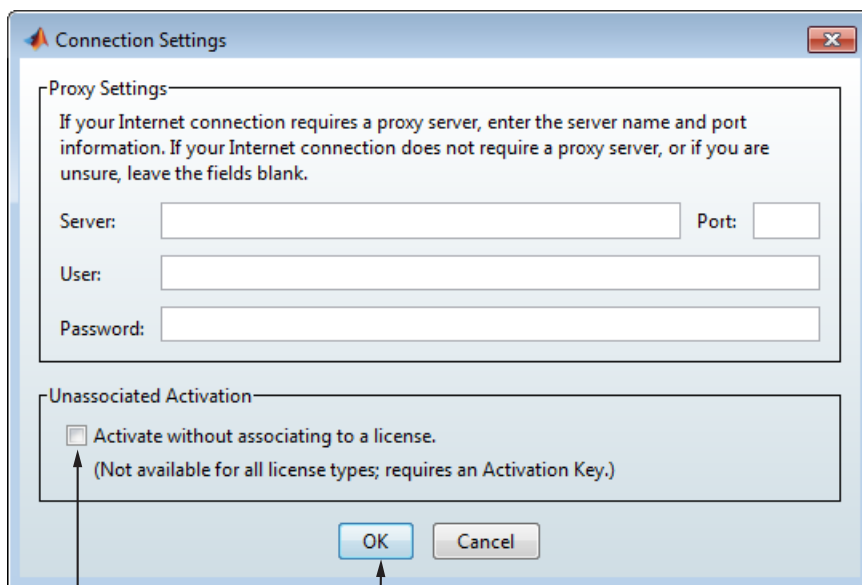
MathWorks アカウントがあると便利ですが、MathWorks アカウントなしでも MathWorks ソフトウェアをインストールして実行できます。たとえば、環境によっては、特定のユーザーがセキュリティ上の理由でアカウントを作成できないことがあります。

MathWorks アカウントの情報を提供せずにアクティベーションを行うには、以下の手順にしたがいます。

- 1 インストールするライセンスのファイル インストール キーを取得します。ライセンス管理者は、このキーを MathWorks ライセンス センターから入手することができます。
- 2 MathWorks インストーラーを起動します。DVD を DVD ドライブに挿入すると、インストーラーは自動的に起動します。
- 3 [インターネットを使ってインストール] オプションか、または[インターネットを使わずにインストール] オプションのいずれかを選択することができます。いずれの

場合も、ファイル インストール キーを指定できます。詳細は、1 章、標準インストールとアクティベーションの手順 を参照してください

- 4 インストールが終了し、インストーラーに [インストールの完了] ダイアログボックスが表示されたら、[MATLAB のアクティベーション] オプションを選択した状態で、[次へ] をクリックします。
- 5 [MathWorks ソフトウェアのアクティベーション] ダイアログ ボックスで、以下の操作を行います。
 - ・ [インターネットを使って自動的にアクティベーションを行う] を選択します。非関連付アクティベーションを行うには、インターネットを使用しなければなりません。
 - ・ [詳細オプション] をクリックします。[詳細オプション] ダイアログ ボックスで [ライセンスに関連付けずにアクティベーションを行います] オプションを選択し、[OK] をクリックします。



Select this option to activate without an account.

Click OK.

- ・ [MathWorks ソフトウェアのアクティベーション] ダイアログ ボックスに戻ったら、[次へ] をクリックします。

- 6 [アクティベーションキー] ダイアログ ボックスで、アクティベーション キーを入力し、[次へ] をクリックします。アカウントにログインしていないので、アクティベーション キーを入力してライセンスを識別しなければなりません。

メモ: 非関連付アクティベーションで利用可能なアクティベーションの種類は、[コンピューター指定] のみです。

- 7 [アクティベーション] をクリックします。

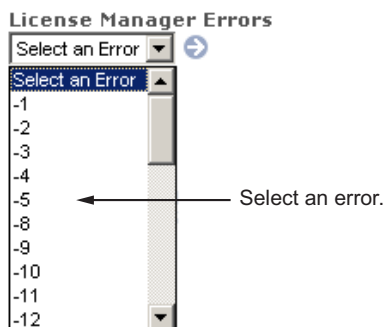
製品の依存関係

[製品選択] ダイアログ ボックスで [次へ] をクリックすると、インストールに選択した製品の一部分が、選択しなかった他の製品に依存していることを警告するメッセージが表示されることがあります。メッセージを閉じてインストールを続行するには、[OK] をクリックします。カスタム インストールで製品の選択を変更する場合は、[キャンセル] をクリックします。

インストール後の問題

インストールが正常に完了した後、MATLAB ソフトウェアの起動に問題が生じる場合があります。これらの問題の多くは、MathWorks 製品で使用する FLEXnet ライセンス マネージャーが原因となっています。問題が発生すると、ライセンス マネージャーによって画面のウィンドウにエラー メッセージが表示され、このメッセージが *matlabroot\etc\ARCH* フォルダー内の FLEXnet ログ ファイル、*lmlog.txt* に書き込まれます。エラー メッセージを確認します。エラー メッセージでは問題解決の手がかりになる情報が提供されています。ライセンス マネージャーのログ ファイルの表示は、ライセンス マネージャーの管理 (p. 2-54)を参照してください。

エラー メッセージに関する詳細な診断情報は、MathWorks Web サイト (www.mathworks.co.jp/support/) の [サポート] ページにアクセスしてください。「Support」ページには検索機能があり、エラー メッセージのエラー番号でサポート データベースを検索できます。また、[ライセンス マネージャーのエラー] メニューからエラー番号を選択することもできます。



ライセンス マネージャーのエラー メッセージの詳細は、*matlabroot\etc\LicenseAdministration.pdf* にある PDF 形式の FLEXnet Publisher Licensing Toolkit の『ライセンス管理ガイド』も参照してください。

ライセンス マネージャー デモンへのアクセスの許可

セキュリティ ファイアウォールで保護されているサーバー上でライセンス マネージャーを実行する場合、クライアント インストールが、ライセンス マネージャー デモンと通信できるように、ファイアウォールを開かなければなりません。これらのデーモンの詳細は、『ライセンス管理ガイド』を参照してください。

ライセンス マネージャー デーモンへのアクセスの許可

ファイアウォール プログラムで提供されているインターフェイスを使用して、ライセンス マネージャー デーモンに対してポート 27000 でのアクセスを許可します。これは、ライセンス マネージャーとの通信に使用される既定のポートです。このポート番号を変更した場合は、環境で使用しているポート番号を指定します。ライセンス マネージャー デーモンのポート番号の指定についての詳細は、『ライセンス管理ガイド』を参照してください。

ベンダー デーモンへのアクセスの許可

ベンダー デーモンで使用されるポートは、動的に割り当てられます。ファイアウォールでベンダー デーモンへのアクセスを許可するには、この動的なポート番号の割り当てを使用する代わりに、ベンダー デーモンとの通信に使用するポートを指定しなければなりません。次に、ファイアウォールで割り当てたポート番号へのアクセスを許可します。

ベンダー デーモンのポート番号を指定するには、ライセンス サーバー上のライセンス ファイルを編集して、DAEMON 行に port= <構文>を追加します。ベンダー デーモンのポート番号の指定についての詳細は、『ライセンス管理ガイド』を参照してください。

ライセンス ファイルについて

ライセンス ファイルとは特殊な形式の ASCII テキスト ファイルで、実行するライセンスのある各製品の暗号化されたパスコードが記載されています。各製品のパスコードは、該当する製品で使用可能なライセンス キーの数を指定します。ライセンス マネージャーによって、各製品に関連付けられているライセンス キーの使用状況に応じて、その製品へのアクセスを許可するか拒否するかが決定されます。

次の図は、ライセンス ファイルのサンプルを示しています。各 INCREMENT 行では、製品、製品に対して使用可能なキーの数、およびその他の情報が指定されます（この例に示されているすべての要素がライセンス ファイルの INCREMENT 行に含まれているとは限りません）。バックスラッシュまたは円記号 (¥) は、その行が次の行に続くことを示します。

シャープ記号 (#) で始まる行はコメント行です。MathWorks インストーラーは、インストール中にライセンス ファイルを処理するときに、これらのコメント行の情報（ライセンス サーバー ホストの ID またはインターネット アドレス）を使用します。

```
# BEGIN-----cut here-----CUT HERE-----BEGIN
# MATLAB license passcode file.
# LicenseNo: 12345          HostID: INTERNET=144.212.101.43
INCREMENT TMW_Archive MLM 18 01-sep-2010 0 ¥
BC9DE773A77D15AF8 VENDOR_STRING=83 HOSTID=DEMO SN=12345
INCREMENT MATLAB MLM 18 01-sep-2010 1 ¥
4C9D3348561BE9E3B USER_BASED DUP_GROUP=U SN=12345
INCREMENT SIMULINK MLM 18 01-sep-2010 1 ¥
1CD148466EF58DF8B USER_BASED DUP_GROUP=U SN=12345
INCREMENT Signal_Toolbox MLM 18 01-sep-2010 1 ¥
6CF74B458BA143DC3 USER_BASED DUP_GROUP=U SN=12345
# END-----cut here-----CUT HERE-----END
```

ライセンス ファイルの検索パス

MATLAB を起動するとライセンス ファイルが読み込まれ、製品のライセンス情報が確認されます。MATLAB では、次にあげる場所で特定の順番にライセンス ファイルが検索されます。ライセンス ファイルが見つかったら、検索は停止します。

- 1 MATLAB のスタートアップ コマンド ラインで、`-c` 引数を使用して指定されたライセンス ファイル。検索を行うパスの一覧を指定できます。`-c` オプションを使用すると、環境変数の検索を明示的に禁止することになります。`-c` オプションを使用する場合は、次のことに注意してください。
 - ・ ライセンス ファイルへのパスがスペースを含む場合は、パス名を引用符で囲みます。
 - ・ 複数のライセンス ファイルを指定する場合は、ライセンス ファイルの一覧全体を引用符で囲みます。
- 2 MATLAB コマンドでライセンス ファイルが指定されていない場合、MATLAB では次の表に示す 2 つの環境変数が検索されます。まず、ベンダーに特定の環境変数である `MLM_LICENSE_FILE` が検索されます。

環境変数	目的
MLM_LICENSE_FILE	ライセンス ファイルの場所を指定しますが、MathWorks 製品のみを対象とします (MathWorks 製品のみ影響するので推奨)。
LM_LICENSE_FILE	このサーバーで FLEXnet ライセンスを使用するすべてのアプリケーションのライセンス ファイルの場所を指定します。

- 3 環境変数を使用して指定されたライセンス ファイルが見つからない場合は、プログラムを起動したユーザーのプロファイル フォルダが検索されます。ライセンスが個々のユーザーにロックされている場合は、アクティベーション アプリケーションによってライセンス ファイルがユーザー プロファイルのフォルダに配置されます。
- 4 ライセンス ファイルが環境変数で指定されておらず、ユーザー プロファイルでも見つからない場合、MATLAB インストールの %licenses フォルダで license.dat という名前のファイルや、拡張子 .lic をもつすべてのファイルが検索されます。

A

- activating MATLAB software
 - choosing automatic or manual 1-28
 - choosing manual option 1-53
 - completing off-network activation
 - on systems running Windows 1-57
 - confirming settings 1-37
 - for someone else 1-36
 - procedure 1-27
 - selecting a license during activation 1-33
 - starting activation application 1-25 1-28
 - starting activation application after off-network installation 1-53
 - starting activation application after off-network installations 1-52
 - starting the activation application 1-27
 - without a MathWorks Account 3-3

- activation application

- starting 1-27

- Activation Key

- creating an account during network installations 2-12
 - creating an account during standalone installations 1-11
 - specifying 2-15 2-38
 - specifying during standalone installations 1-14 to 1-15
 - used to create MathWorks Account 1-31

- activation label

- viewing during activation 1-33

- activation type

- selecting during activation 1-35

- Advanced Options button

- activating without a MathWorks Account 3-3

B

- boot scripts

- use by installer 2-51

C

- client installation procedure
 - network client 2-27
- current folder
 - initial 1-59

D

- daemons
 - opening access in security firewalls 3-6
 - starting 2-50
- deactivating MATLAB installations 1-66
- deactivation string
 - deactivating without an Internet connection 1-66
 - retrieving 1-69
- Designated Computer activation type
 - selecting during activation 1-35

F

- file associations
 - specifying during installation 1-22
- File Installation Key
 - entering for off-network installation 1-44
 - obtaining 1-45
 - required for off-network installations 1-40
- firewalls
 - opening access to license manager daemons 3-6
- FLEXnet®
 - troubleshooting 3-6

H

- host ID
 - in License File 3-7

I

- INCREMENT lines
 - in License Files 3-7
- initial current folder 1-59

- install_input.txt 2-60
 - installation folder
 - specifying 1-18
 - specifying for off-network installations 1-48
 - specifying in network installations 2-40
 - on systems running Windows 2-16
 - installation options
 - specifying file associations 1-22
 - specifying in network installations 1-50 2-43
 - installation procedure
 - network 2-4
 - network client 2-27
 - noninteractive 2-60
 - installation type
 - choosing during standalone installations 1-17
 - choosing typical or custom 1-48
 - choosing typical or custom in network installations
 - on systems running Windows 2-15 2-39
 - installer
 - running noninteractively 2-60
 - starting 1-4 1-42 2-7 2-29
 - installer input file
 - specifying 2-60
 - installing
 - starting the installer manually 3-2
 - turning off virus-checking software during installation 3-2
 - installing MATLAB
 - choosing automatic or manual in network installations
 - on systems running Windows 2-8 2-31
 - choosing automatic or manual installation 1-6
 - choosing manual for off-network installations 1-43
 - in network configurations 2-1
 - in standalone environments 1-2
 - preparing for installation in standalone environments 1-2
 - preparing for off-network installations 1-40
 - preparing to install in a network configuration
 - on systems running Windows 2-4 2-27
 - standard installation procedures 1-1
 - installing MATLAB software
 - finishing network installation
 - on systems running Windows 2-25 to 2-26 2-48
- ## L
- ### License Files
- comment lines 3-7
 - getting the information you need to obtain 1-55
 - INCREMENT lines 3-7
 - processing in installation
 - on systems running Windows 2-19 2-43
 - required for off-network installations 1-40
 - search path 3-7
 - specifying during activation after off-network installation 1-54
 - specifying location in network installation 2-19 2-42
- ### license manager
- automating startup
 - on Macintosh systems 2-53
 - configuring in network installation 2-20
 - disabling 2-53
 - installing on server in network configurations 2-4
 - re-enabling 2-54
 - removing 2-54
 - starting automatically at boot time 2-51
 - starting daemons 2-50
 - startup problem 2-50
 - troubleshooting 3-6
 - using the LMTTOOLS GUI 2-55
 - utility programs 2-56
- ### license numbers
- selecting during activation 1-33
- ### license options
- viewing during activation 1-33
- ### licenses

- deactivating 1-66
- selecting during installation 1-14
- selecting in network installations
 - on systems running Windows 2-14 2-37
- validating
 - on systems running Windows operating system 1-59
- licensing
 - viewing the log file 3-6
- LM_LICENSE_FILE environment variable 3-7
- Imdiag
 - diagnosing license checkout problems 2-58
- Imdown
 - shutting down the license manager 2-58
- Imhostid
 - getting system host ID 2-58
- Imlog.txt
 - license manager log file 3-6
- Imreread
 - forcing license manager to reprocess the License File 2-59
- Imstat
 - viewing license manager status 2-59
- Imswitchr
 - specifying the report log file 2-59
- LMTTOOLS
 - licensing utility GUI 2-55
- Imtools.exe
 - licensing utilities GUI 2-55
- Imutil.exe
 - license manager utilities 2-56
- Imver
 - get FLEXnet® version number 2-59
- log files
 - license manager 3-6
- login name
 - specifying during activation 1-36

M

MathWorks Account

- creating during activation 1-31
- creating during installation 1-11
- creating during network installations 2-12
- creating for someone else during activation 1-36
- installing without an account 3-3
- logging in 1-10
- logging in during activation 1-30
- logging in during network installations
 - on systems running Windows 2-11 2-34

MATLAB

- getting started 1-59
- starting 1-58

MATLAB installation folder

- specifying 1-18
- specifying for off-network installations 1-48
- specifying in network installations 2-40
 - on systems running Windows 2-16

MATLABmgr script 2-53

MLM_LICENSE_FILE environment variable 3-7

N

- network client installation procedure
 - installing software on clients in network configurations 2-27

network configurations

- installing MATLAB software 2-1

network installation procedure

- installing MATLAB in network configurations 2-4
- post-installation tasks 2-49

O

- operating system user name
 - specifying during activation 1-36
- overwriting an existing installation
 - individual installation 1-4

P

- passcode
 - encrypted in license file 3-7
- port numbers
 - opening access in security firewalls 3-6
- preference files
 - removing 1-62
- products
 - downloading during standalone installations 1-19
 - selecting during installation 1-19
 - selecting for off-network installations
 - on systems running Windows 1-49
 - selecting in network installations
 - on systems running Windows 2-17 2-41
- proxy server
 - specifying 3-2
 - specifying during activation 1-29
- proxy server settings
 - setting 1-28

R

- removing a MATLAB installation 1-61
 - using uninstaller properties file 2-62
- requirements. *See* system requirements
- reviewing software license agreement 1-9
 - for network installations 2-10
 - on systems running Windows 2-33
 - on systems running Windows
 - off-network installations 1-44

S

- security firewalls
 - opening access to license manager daemons 3-6
- selecting licenses 1-14
 - in network installations
 - on systems running Windows 2-14 2-37
- selecting products
 - for off-network installations

- on systems running Windows 1-49
 - in network installations
 - on systems running Windows 2-17 2-41
 - on systems running Windows 1-19
- setup.exe
 - in noninteractive installations 2-60
 - starting 3-2
 - shortcut
 - MATLAB shortcut on desktop 1-58
 - shortcuts
 - specifying during installation 1-22
 - silent installations
 - running without screen displays 2-60
 - software license agreement
 - reviewing 1-9
 - reviewing for off-network installations 1-44
 - reviewing in network installations 2-10
 - on systems running Windows 2-33
 - Standalone Named User activation type
 - selecting during activation 1-35
 - specifying user name during activation 1-36
 - starting MATLAB 1-58
 - troubleshooting 3-6
 - starting MATLAB software
 - after activation is complete
 - on systems running Windows 1-38
 - startup folder 1-59
 - system requirements 1-72

T

- troubleshooting
 - during installation 3-2
 - FLEXnet® 3-6
 - starting MATLAB 3-6

U

- unassociated activation
 - defined 3-3

- uninstall.exe 2-62
- uninstalling 1-61
 - using uninstaller properties file 2-62
- upgrading an installation
 - network installations 2-6 2-29
 - standard installations 1-4
- user name
 - selecting during activation 1-36

V

- validating an installation
 - on systems running Windows operating system 1-59
- virus checking software
 - disabling during network installations 2-6 2-29
- virus-checking software
 - turning off during installation 3-2